MITSUBISHI ELECTRIC

業務用

三菱電機空調冷熱総合管理システム

形名
AE-200J
AE-50J
EW-50J

取扱説明書

– 管理者用 Web ブラウザ操作編 –

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 「取扱説明書」は大切に保管してください。
- 添付別紙の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」は大切に保管してください。
- お客様ご自身では据付けないでください。（安全や機能の確保ができません。）
- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
  This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

もくじ

1. ご使用の前に ……3
1-1. はじめに……3
1-2. 本書の表記について……3
1-3. 動作環境……3
1-4. 統合ソフト（TG-2000）利用時の注意点……4
2. PC 環境設定 ……5
2-1. PC の IP アドレスの設定……5
2-2. Web ブラウザ設定……7
2-3. JAVA の設定……9
2-4. 管理者用 Web ブラウザへのログイン……12
3. 使用方法 ……16
3-1. 運転状態のモニタ／操作……16
3-2. エネルギー管理……34
3-3. スケジュール設定……49
3-4. 異常履歴のモニタ……61
3-5. システム設定……62
3-6. メンテナンス……64
3-7. オプション機能のライセンス登録……79
4. 保証とアフターサービス ……80
4-1. 保証について……80
4-2. 機器予防保全の目安・消耗部品の交換周期目安……80
4-3. 交換について……80
4-4. 移設について……80
4-5. お問い合わせ……81
5. Web ブラウザ接続時の注意点 ……82
5-1. 一時ファイルを削除する……82
5-2. Internet Explorer をリセットする……84

WT07135X02

- お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

もくじ

1. ご使用の前に……3
1-1. はじめに……3
1-2. 本書の表記について……3
1-3. 動作環境……3
1-4. 統合ソフト（TG-2000）利用時の注意点……4
2. PC 環境設定……5
2-1. PC の IP アドレスの設定……5
2-2. Web ブラウザ設定……7
2-2-1. インターネット接続しない場合……7
2-2-2. 既設LANを利用したプロキシサーバー経由でインターネット接続する場合……8
2-3. JAVA の設定……9
2-3-1. JAVA の例外サイト・リストを登録する。……9
2-3-2. JAVA コンテンツを有効にする……11
2-4. 管理者用 Web ブラウザへのログイン……12
2-4-1. HTTPS 接続……14
3. 使用方法……16
3-1. 運転状態のモニタ／操作……16
3-1-1. 全グループの運転状況の確認……16
3-1-2. アイコンの表示……18
3-1-3. グループ名称の表示……20
3-1-4. ブロック単位のモニタ……21
3-1-5. 空調機・ロスナイ・汎用機器の操作を行う……23
3-1-6. 全グループ一括の操作……29
3-1-7. 計測状態のモニタ……30
3-1-8. 異常発生中ユニット……31
3-1-9. フィルターサイン発生中ユニット……33
3-2. エネルギー管理……34
3-2-1. エネルギー利用状況……34
3-2-2. ランキング……41
3-2-3. 目標値設定……45
3-2-4. ピークカット制御状況……47
3-3. スケジュール設定……49
3-3-1. 週間スケジュール設定……51
3-3-2. 年間スケジュール設定……56
3-3-3. 当日スケジュール設定……59
3-4. 異常履歴のモニタ……61
3-4-1. ユニット異常・通信異常……61
3-5. システム設定……62
3-5-1. 現在時刻の設定……62
3-5-2. ユーザー登録……63
3-6. メンテナンス……64
3-6-1. 異常メールの送信履歴……64
3-6-2. 緊急停止解除……65
3-6-3. 室外機運転状態のモニタ……66
3-6-4. 室内機フリー接点のモニタ……67
3-6-5. CSV 出力……68
3-7. オプション機能のライセンス登録……79
4. 保証とアフターサービス……80
4-1. 保証について……80
4-2. 機器予防保全の目安・消耗部品の交換周期目安……80
4-3. 交換について……80
4-4. 移設について……80
4-5. お問い合わせ……81
5. Web ブラウザ接続時の注意点……82
5-1. 一時ファイルを削除する……82
5-1-1. JAVA の一時ファイルを削除する……82
5-1-2. Internet Explorer の一時ファイルを削除する……83
5-2. Internet Explorer をリセットする……84

1. ご使用の前に

1-1. はじめに

本書では、AE-200J/AE-50J/EW-50J に接続されたユニットを Web ブラウザから状態監視／操作する手順について説明します。初期設定や機能設定については、取扱説明書（初期設定用 Web ブラウザ操作編）を参照してください。

お知らせ

- AE-200J の管理者用 Web では AE-200J に接続された AE-50J/EW-50J 以下のユニットの監視操作はできません。AE-200J、AE-50J、EW-50J 各々の管理者用 Web に接続してください。

1-2. 本書の表記について

- 本書では、AE-200J/AE-50J/EW-50J 本体の CN7 に、計量用のパルス信号を入力する方式を「計量用パルス入力」と呼びます。
- 本書では、「外気処理ユニット（LGH-N**RDF)」は「加熱加湿付ロスナイ」と呼びます。
- 本書で使用している画面イメージは、Windows 7® および Internet Explorer 9.0 からのものです。

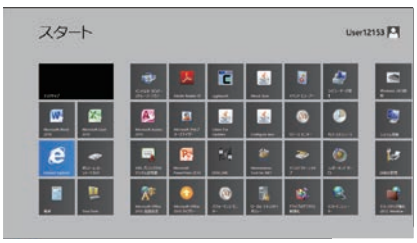
お知らせ

- Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

1-3. 動作環境

項目	要件
CPU	1GHz 以上
メモリ	512MB 以上
画面解像度	1366 × 768 以上推奨
対応ブラウザ	Microsoft® Internet Explorer 8.0 Microsoft® Internet Explorer 9.0 Microsoft® Internet Explorer 10.0 Microsoft® Internet Explorer 11.0 * Java 実行環境が必要です。 （Oracle® Java プラグインバージョン 1.8.0_25 で動作確認をしています。） * お使いのオペレーティングシステムに適した Oracle® Java プラグインをインストールしてください。64 ビット版 Internet Explorer を使用する場合は、64 ビット版 Java プラグインをインストールしてください。 * Oracle® Java プラグインのバージョンは、コントロールパネルの **[Java]** をクリックして確認できます。
内蔵 LAN ポートまたは LAN カード	100BASE-TX
ポインティングデバイス	マウスなど

Windows の OS に指定はありませんが、Windows8.1 のスタート画面で Web ブラウザを立ち上げた場合は、動作できません。スタート画面で IE を起動した場合は一度 Web ブラウザを閉じて、デスクトップ画面に切替えた上で再度 Web ブラウザを起動してください。
画面の切替え方法については Windows8.1 のヘルプ機能を参照ください。



スタート画面

デスクトップ画面

お知らせ

- Microsoft は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Oracle および Java は、米国 Oracle Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

WT07135X02

1-4. 統合ソフト（TG-2000）利用時の注意点

統合ソフト（以下 TG-2000）が接続されているシステムの場合、TG-2000 と AE-200J/AE-50J/EW-50J の保持データが一致するよう、設定および変更は TG-2000 から行ってください。

お願い

- TG-2000 Ver.6.61 以降を使用してください。

2. PC 環境設定

この章では、空調機を状態監視／操作するためのパソコン設定および Web ブラウザ設定について説明します。

2-1. PC の IP アドレスの設定

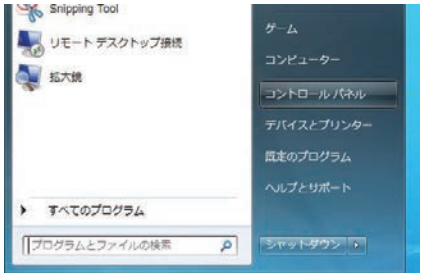
AE-200J/AE-50J/EW-50J に Web ブラウザで接続できるように、パソコンの IP アドレスを設定します。
パソコンのIPアドレスは、AE-200J/AE-50J/EW-50JのIPアドレスと同一系統のネットワークアドレスを設定します。
（例えば、AE-200J の IP アドレス："192.168.1.1"、パソコンの IP アドレス："192.168.1.101"）
既設 LAN に AE-200J/AE-50J/EW-50J を接続する場合は、システム管理者に相談し、IP アドレスを決定してください。

お知らせ

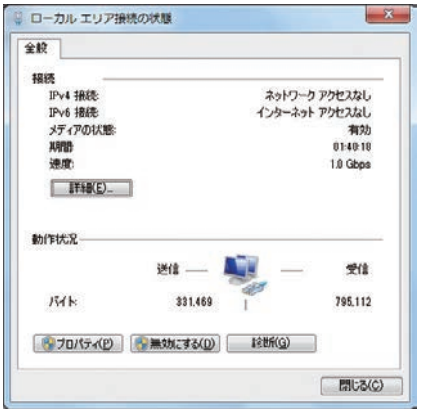
- AE-200J/AE-50J/EW-50J 専用 LAN を使用する場合は、AE-200J 本体に "192.168.1.1" ～ "192.168.1.40" の IP アドレス、AE-50J/EW-50J 本体に "192.168.1.211" ～ "192.168.1.249" の IP アドレス、を割り当て、AE-200J/AE-50J/EW-50J に接続したパソコンに "192.168.1.101" ～ "192.168.1.150" の IP アドレスを割り当てることを推奨します。

手順

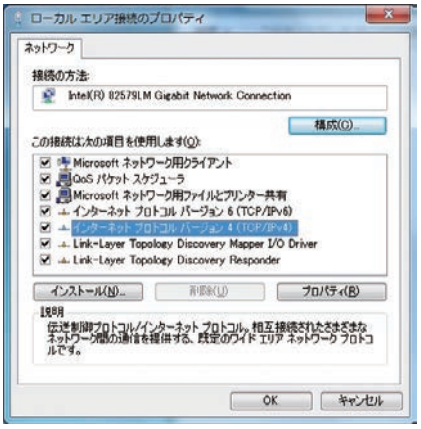
1. スタートメニューの **[コントロールパネル]** をクリックし、コントロールパネルを開きます。



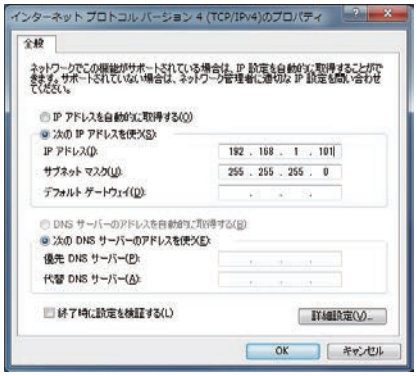
2. **[ネットワークと共有センター]** – **[ローカルエリア接続]** をクリックします。
ローカルエリア接続の状態画面で、**[プロパティ]** をクリックします。



3. **[インターネットプロトコルバージョン 4（TCP/IPv4）]** をクリックして選択し、**[プロパティ]** をクリックします。



4. インターネットプロトコルバージョン４（TCP/IPv4）のプロパティ画面で、**[次の IP アドレスを使う]** のラジオボタンをチェックし、「IP アドレス」にパソコンの IP アドレス（例えば、"192.168.1.101"）を入力します。「サブネットマスク」欄には "255.255.255.0"（特に指定のない場合）を入力します。
「デフォルトゲートウェイ」欄には、必要に応じてゲートウェイアドレスを入力します。



お願い

- 設定する IP、サブネットマスク、およびゲートウェイアドレスは、システム管理者にご確認ください。
- 変更前の IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイはメモしておいてください。

5. **[OK]** または **[閉じる]** をクリックして、すべての画面を閉じてネットワークの設定を完了します。

2-2. Web ブラウザ設定

Web ブラウザ設定は、インターネット接続方法によって異なります。インターネット接続方法により下節を参照して Web ブラウザの設定を行ってください。

お願い

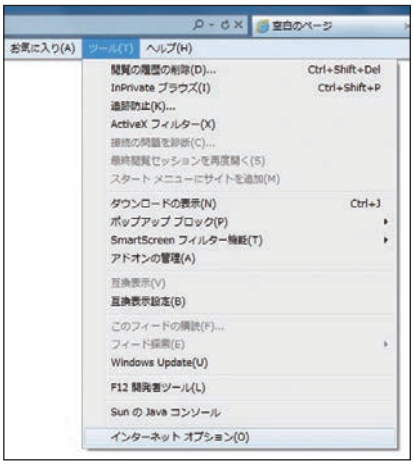
- AE-200J/AE-50J/EW-50J をインターネットに接続するときは、不正アクセスを防ぐため、必ず VPN ルーターなどのセキュリティ装置を使用してください。

2-2-1. インターネット接続しない場合

インターネット接続なしでパソコンから空調機を状態監視／操作するには、以下の手順に従って Web ブラウザの環境を設定します。

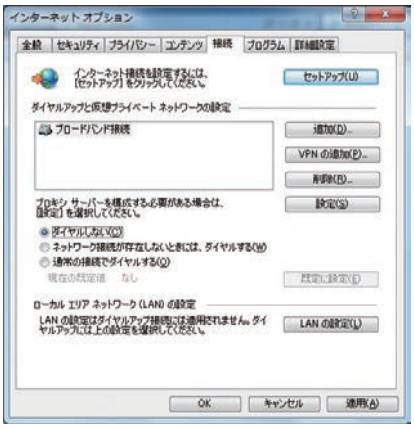
手順

1. メニューバーの [**ツール**] − [**インターネットオプション**] をクリックします。



2. インターネットオプション画面で、[**接続**] タブをクリックします。

3. 画面中央にある [**ダイヤルしない**] のラジオボタンをチェックし、[OK] をクリックして設定を完了します。

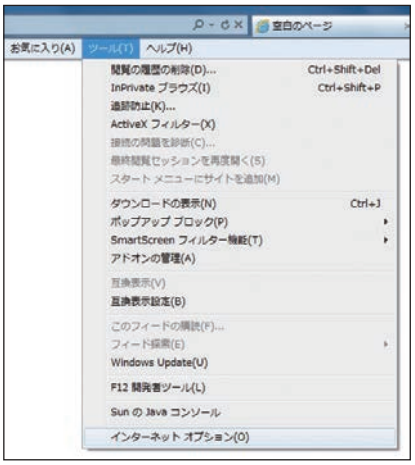


2-2-2. 既設LANを利用したプロキシサーバー経由でインターネット接続する場合

社内 LAN などの既設 LAN に接続し、プロキシサーバー経由でインターネットに接続したパソコンから空調機を状態監視／操作するには、以下の手順に従って Web ブラウザの環境を設定します。

手順

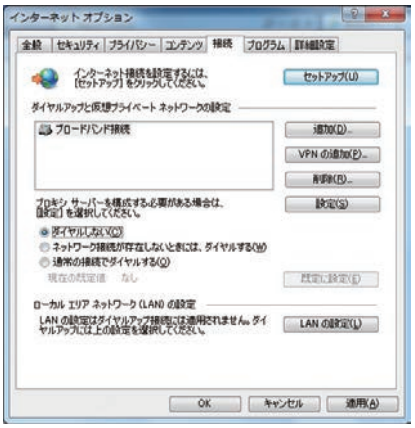
1. メニューバーの **[ツール]** − **[インターネットオプション]** をクリックします。



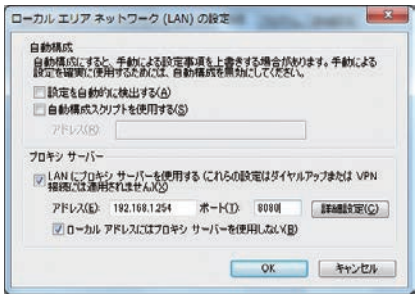
2. インターネットオプション画面で、**[接続]** タブをクリックします。

3. 画面中央にある **[ダイヤルしない]** のラジオボタンをチェックします。

4. 「ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定」の **[LAN の設定]** をクリックします。

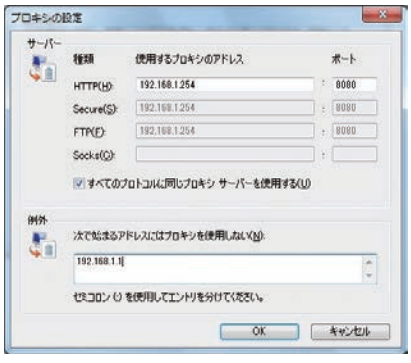


5. ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定画面で、**[ローカルアドレスにはプロキシサーバーを使用しない]** をチェックし、**[詳細設定]** をクリックします。



6. プロキシの設定画面で、「例外」に AE-200J/AE-50J/EW-50J の IP アドレス（例えば、"192.168.1.1"）を入力し、**[OK]** または **[閉じる]** をクリックして、すべての画面を閉じて設定を完了します。

   なお、複数の AE-200J/AE-50J/EW-50J を接続する場合は、"192.168.1.1; 192.168.1.2" のように複数の IP アドレスを入力します。また、ワイルドカードとしてアスタリスクを使用して "192.168.1.*" と指定することも可能です。

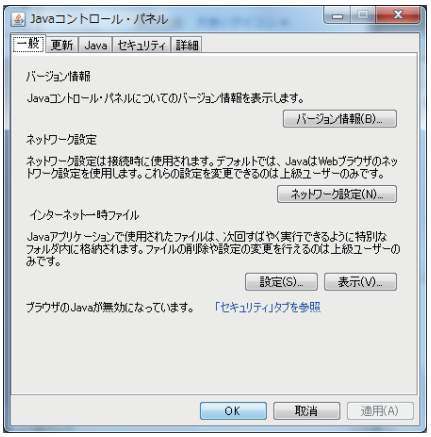


2-3. JAVA の設定

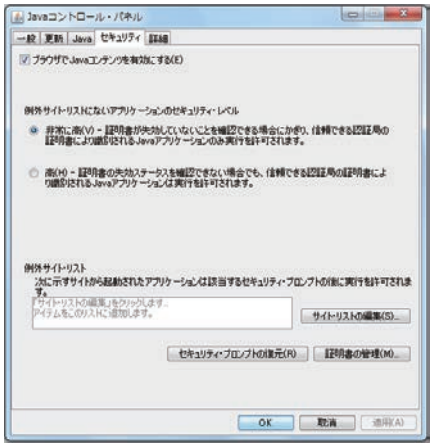
2-3-1. JAVAの例外サイト・リストを登録する。

手順

1. **[コントロールパネル]** を開き、Java のコントロールパネルを開いてください。
   画面右上の **[表示方式]** が **[カテゴリ]** になっている場合、これをクリックして **[大きいアイコン]** または **[小さいアイコン]** に変更してください。
2. Java コントロールパネルの **[セキュリティ]** タブをクリックしてください。



3. セキュリティ設定画面が開きます。
   [サイト・リストの編集] をクリックしてください。

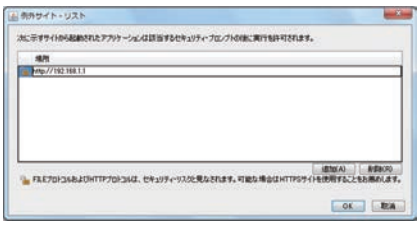


4. 例外サイト・リスト画面が開きます。
   [追加] をクリックしてください。

5. 例外サイト・リスト画面が開きます。
   「場所」の行に以下を入力します。

   http://(AE-200J または AE-50J または EW-50J の IP アドレス)

   【例】AE-200J　IP アドレスが 192.168.1.1 を登録する場合
   http://192.168.1.1
   ※ SSL を利用する場合は、
   https://(AE-200J/AE-50J/EW-50J の IP アドレス)

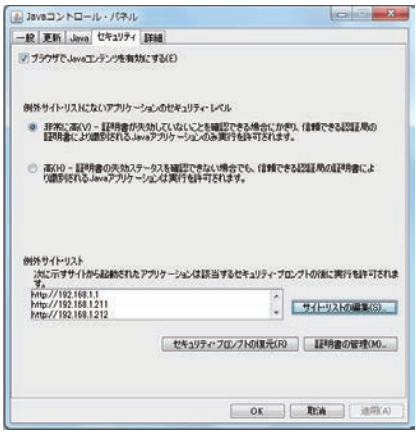


6. セキュリティー警告画面が開きます。
[**続行**] をクリックします。

お知らせ

- https を設定した場合は表示されません。

7. 同様に AE-200J/AE-50J/EW-50J を登録後、**[OK]** をクリックします。



8. 32bit 版の OS の PC を使用している場合は、設定終了後、開いている InternetExplorer を一度全て閉じてから、再度 Web ページへアクセスして接続できることを確認してください。
64bit 版の OS の PC を使用している場合は、**9.** へ進んでください。
9. [マイコンピュータ] → [ローカルディスク（C）] → [Program File（x86)] ※1 → [Java] → [jre ※（※にはバージョンが入ります。例：jre1.80_25)] → [bin] の順に選択し、[bin] フォルダを開いてください。
※ 1　Program Files は、64bit のパソコンの場合、[Program Files] と [Program Files（x86)] の2種類が表示されます。[Program Files（x86)] の方を選択してください。

10. [bin] フォルダ内にある javacpl.exe のファイルをダブルクリックします。

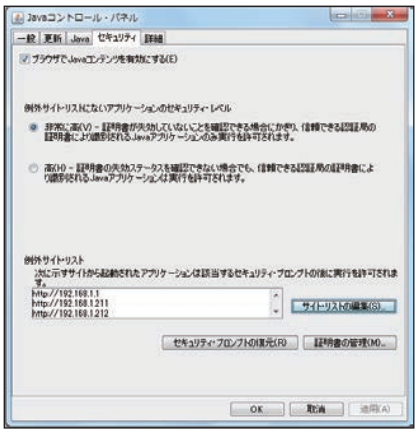
11. Java コントロールパネルが開きますので、再度、**3.** ～ **8.** を行ってください。

2-3-2. JAVAコンテンツを有効にする

手順

1. セキュリティ設定画面を開きます。前頁参照

2. **[ブラウザで Java コンテンツを有効にする]** にチェックが入っていない場合は、チェックボックスをクリックしてください。チェックされたことを確認し、画面右下の **[適用]** をクリック後、**[OK]** をクリックして画面を閉じてください。



3. 設定終了後、開いている InternetExplorer を一度全て閉じてから、再度 Web ページへアクセスして接続できることを確認してください。

2-4. 管理者用 Web ブラウザへのログイン

手順

1. Web ブラウザのアドレス欄に以下の Web ページアドレス
   http://(AE-200J または各 AE-50J/EW-50J の IP アドレス)/administrator.html
   を入力します。
2. **[Enter]** キーを押します。ログイン画面が表示されます。

お知らせ

- AE-200J、AE-50J または EW-50J の IP アドレス が "192.168.1.1" の場合、Web ページアドレスは "http://192.168.1.1/administrator.html" となります。
- AE-200J、AE-50J 及び EW-50J の工場出荷時の IP アドレス は "192.168.1.1" です。
- AE-200J に AE-50J/EW-50J を接続する場合は、それぞれの IP アドレスが重複しないように変更してください。
  推奨の IP アドレス
  AE-200J："192.168.1.1" ～ "192.168.1.40"
  AE-50J/EW-50J（台数拡張時）："192.168.1.211" ～ "192.168.1.249"
  EW-50J（単体利用時）："192.168.1.1" ～ "192.168.1.40"
- ログイン画面が現れない場合には、「5. Web ブラウザ接続時の注意点」を参照してください。
- Web ページは、パソコンのオペレーティングシステムと同じ言語で表示されます。
  以下のように Web ページアドレスを入力して他の言語でも表示できます。

中国語	http://(AE-200J、AE-50J または EW-50J の IP アドレス)/**zh**/administrator.html
英語	http://(AE-200J、AE-50J または EW-50J の IP アドレス)/**en**/administrator.html
フランス語	http://(AE-200J、AE-50J または EW-50J の IP アドレス)/**fr**/administrator.html
ドイツ語	http://(AE-200J、AE-50J または EW-50J の IP アドレス)/**de**/administrator.html
イタリア語	http://(AE-200J、AE-50J または EW-50J の IP アドレス)/**it**/administrator.html
日本語	http://(AE-200J、AE-50J または EW-50J の IP アドレス)/**ja**/administrator.html
ポルトガル語	http://(AE-200J、AE-50J または EW-50J の IP アドレス)/**pt**/administrator.html
ロシア語	http://(AE-200J、AE-50J または EW-50J の IP アドレス)/**ru**/administrator.html
スペイン語	http://(AE-200J、AE-50J または EW-50J の IP アドレス)/**es**/administrator.html

- Web ページアドレスをお気に入りに追加すれば、今後容易にアクセスできます。
  ただし、お気に入りに登録する際は必ずログイン画面で登録を行ってください。

3. ログイン画面でユーザー名とパスワードを入力し、[**ログイン**] をクリックします。運転状態の監視画面が表示されます。下表に、管理者ユーザーと一般ユーザー用の Web ページアドレス、工場出荷時ユーザー名、工場出荷時パスワード、および使用できる機能を示します。

<table>
<tr><th>ユーザー</th><th>Web ページ
アドレス</th><th>工場出荷時
ユーザー名</th><th>工場出荷時
パスワード</th><th colspan="2">使用できる機能</th></tr>
<tr><td rowspan="7">管理者
ユーザー</td><td rowspan="7">http://(AE-200J、
AE-50J または
EW-50J の
IP アドレス)/
administrator.
html</td><td rowspan="7">administrator</td><td rowspan="7">admin</td><td>運転状態の
モニタ／操作</td><td>運転状態のモニタ／操作
計測状態のモニタ
異常発生中ユニット
フィルターサイン発生中ユニット</td></tr>
<tr><td>エネルギー
管理</td><td>エネルギー利用状況
ランキング
目標値設定
ピークカット制御状況</td></tr>
<tr><td>スケジュール
設定</td><td>当日スケジュール変更
週間スケジュール設定 1
週間スケジュール設定 2
週間スケジュール設定 3
週間スケジュール設定 4
週間スケジュール設定 5
年間スケジュール設定</td></tr>
<tr><td>異常履歴の
モニタ</td><td>ユニット異常
通信異常</td></tr>
<tr><td>システム設定</td><td>現在時刻の設定
ユーザー登録</td></tr>
<tr><td>メンテナンス</td><td>異常メール送信履歴
室外機運転状態のモニタ
室内機フリー接点のモニタ
CSV 出力</td></tr>
<tr><td>一般
ユーザー</td><td>http://(AE-200J、
AE-50J または
EW-50J の IP アドレス)/index.html</td><td>guest</td><td>guest</td><td>運転状態の
モニタ／操作</td><td>運転状態のモニタ／操作</td></tr>
</table>

お知らせ

- 一般ユーザーは最大 50 名登録でき、各ユーザーにアクセス可能なユニットグループを指定することができます。詳細は、「3-5-2. ユーザー登録」参照（63 ページ）
- 管理者ユーザーおよび一般ユーザー以外のユーザーが設定を変更できないように、工場出荷時のユーザー名とパスワードを変更することを推奨します。

2-4-1. HTTPS接続

本機は、HTTPS（SSL）方式を利用して通信データを暗号化することができます。
不特定多数のユーザーがアクセスできる LAN に本機を接続する場合は、以下の設定を行って、暗号化された Web ページで機器を状態監視／制御することが推奨されます。

お知らせ

- オペレーティングシステムまたは Java のバージョン等により、HTTPS 暗号化通信が正しく有効にならない場合があります。この場合は、「2-4. 管理者用 Web ブラウザへのログイン」を使用してください。

手順

1. Web アドレスの前に "https://" を付け、以下のアドレスを入力して、[Enter] キーを押します。

   https://(AE-200J、AE-50J または EW-50J の IP アドレス)/ administrator.html

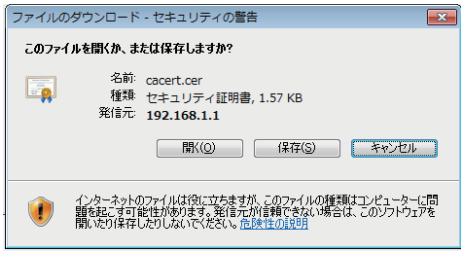
   お知らせ

   - AE-200J/AE-50J/EW-50JのIPアドレスが"192.168.1.1"の場合、Webページアドレスは"https://192.168.1.1/administrator.html" となります。

   暗号化データ通信が開始され、ログイン画面が表示されます。
   ログイン画面の代わりにセキュリティ証明書エラーページが表示される場合は、手順 **2** に進みます。

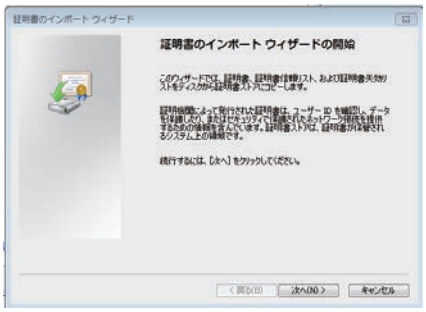
2. Web ブラウザのアドレス欄に以下の Web ページアドレス **http://(AE-200J 、AE-50J または EW-50J の IP アドレス)/ cacert.cer** を入力して、[Enter] キーを押します。

3. ファイルのダウンロードを確認する通知バー、もしくは画面が表示されるので、**［開く］**をクリックします。

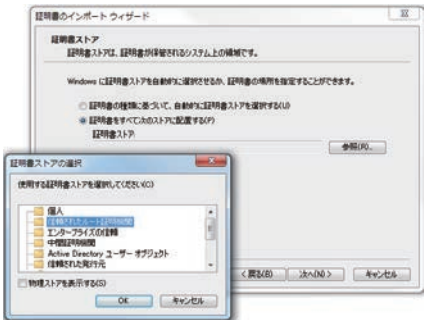


4. 証明書の情報画面が表示されるので、**［証明書のインストール］**をクリックします。

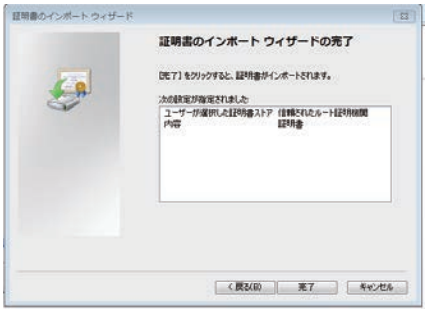
5. 証明書のインポートウィザードの開始画面が表示されるので、**[次へ]** をクリックします。



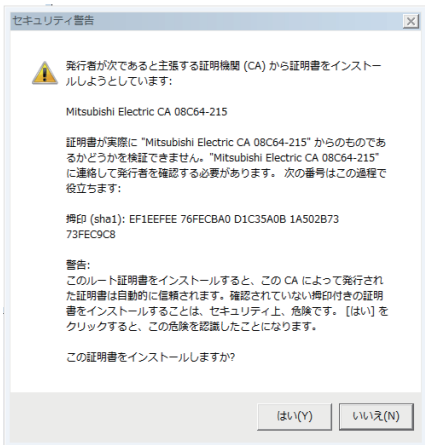
6. 保存する証明書ストアの選択画面が表示されるので、**「証明書をすべて次のストアに配置する」** を選択、**[参照]** をクリックして **[信頼されたルート証明期間]** を選択し、**[OK]** をクリックし、**[次へ]** をクリックします。



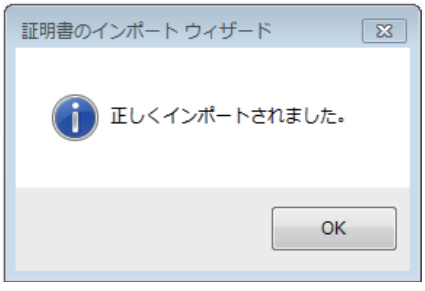
7. 証明書のインポートウィザードの完了画面が表示されるので、**[完了]** をクリックします。



8. 証明書のインストール確認画面が表示されるので、**[はい]** をクリックします。



9. 証明書のインポート処理が開始され、インポート終了のメッセージが表示されますので、**[OK]** をクリックします。



お知らせ

- 証明書の有効期間は 2014 年 4 月 1 日から 2051 年 1 月 1 日までとなります。
  PC の日付と時刻は有効期間内に設定してください。

3. 使用方法

この章では、AE-200J/AE-50J/EW-50J に接続された空調機、ロスナイ、加熱加湿付ロスナイ、汎用機器の運転状態を監視・操作する方法と、計測データ、異常発生中のユニット、フィルターサイン発生中のユニットを確認する方法を説明します。

お知らせ

- Web ブラウザを使った空調機の運転状態をモニタ / 操作するには、AE-200J/AE-50J/EW-50J ごとに異なる URL でログインし、それぞれのブラウザ上で行ってください。

3-1. 運転状態のモニタ／操作

ここでは機器の運転状態を全グループ一括で監視する方法「3-1-1. 全グループの運転状況の確認」参照（16 ページ）、機器の操作をグループごとに操作する方法「3-1-5. 空調機・ロスナイ・汎用機器の操作を行う」参照（23 ページ）、全グループ一括で操作する方法「3-1-6. 全グループ一括の操作」参照（29 ページ）について説明します。
ログインすると、すべての空調機グループ、ロスナイ（換気機器）グループ、加熱加湿付ロスナイグループ、および汎用機器グループの運転状態が表示されます。

3-1-1. 全グループの運転状況の確認

運転状態のモニタ／操作画面では、全グループの運転状態を監視することができます。ユニットの異常の確認や、消し忘れの防止など、全グループを一覧で表示し、確認することができます。
本体にてフロアレイアウト設定を行っている場合、フロアを選択して平面図上で運転状態を監視する事ができます。

一括操作
全グループを一括で操作します。

最新の情報に更新
最新の運転状態を表示します。

フロアレイアウトの切替

フィルターサイン発生中ユニットの台数

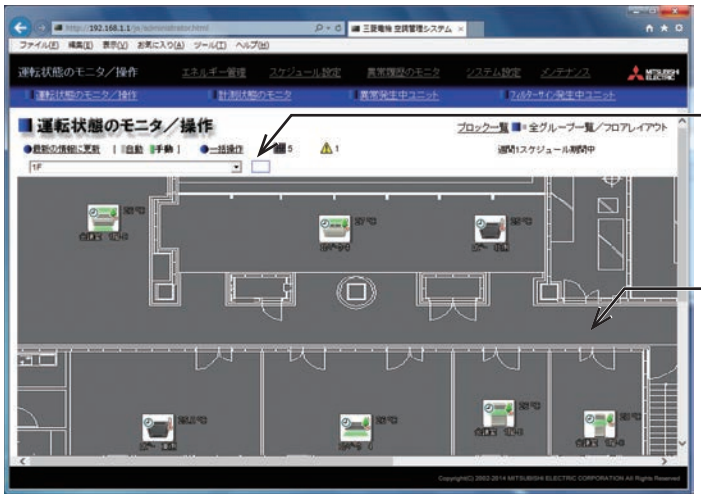
全グループ一覧/フロアレイアウト

週間スケジュール番号
現在有効な週間スケジュールが表示されます。

ブロック一覧

グループアイコン
グループの運転状態がアイコンで表示されます。アイコンをクリックすると、操作画面に切り替わります。

項目	内容
ブロック一覧	**[ブロック一覧]** をクリックすると、グループの運転状態がブロックごとに表示されます。
全グループ一覧 / フロアレイアウト	**[全グループ一覧 / フロアレイアウト]** をクリックすると、全グループの運転状態が表示されます。
最新の情報に更新	クリックすると、最新の運転状態が表示されます。**[自動]** を選択すると、運転状態の情報が 1 分間隔で自動更新されます。
一括操作	クリックすると、全グループを一括で操作できます。 「3-1-6. 全グループ一括の操作」参照（29 ページ）
週間スケジュール番号	現在有効な週間スケジュールが表示されます。 **お知らせ** ・「週間＊スケジュール期間中」 ＊には現在有効なスケジュール番号（1～5）が入ります。

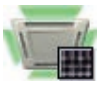
項目	内容
フロアレイアウトの切替	本体にてフロアレイアウト設定を行っている場合、**[全グループ一覧 / フロアレイアウト]** の他に設定したフロアが選択可能となります。フロアを選択すると、平面図上にグループアイコンが配置された画面が表示されます。 **お知らせ** • フロアレイアウトは本体液晶画面でのみ設定可能となります。平面図の読み込みやレイアウトの設定方法は本体の取扱説明書をご覧ください。また、本体で平面図を変更した場合はブラウザを再起動してください。再起動後に新しい平面図が表示されます。 • EW-50J の Web ブラウザでは、フロアレイアウトの表示はできません。 • 解像度の高いディスプレイでは、ブラウザの表示サイズを大きくすることにより、フロア全体を表示することができます。 • グループアイコンをクリックして操作画面に移行する場合、操作画面は平面図表示エリアの左上に表示されます。空調機・汎用機器の操作を行う場合は画面を左上にスクロールして操作してください。
フロアレイアウトの切替	
フィルターサイン発生中ユニットの台数※ 1	フィルターサインが発生しているユニットの台数が表示されます。「▦」をクリックすると、フィルターサイン発生中ユニット画面が表示されます。 「3-1-9. フィルターサイン発生中ユニット」参照（33 ページ） **お知らせ** 初期設定用 Web ブラウザの基本システム設定画面で、「フィルターサイン表示」が **[オフ]** になっている場合は、この情報は表示されません。
異常発生中ユニットの台数※ 1	異常が発生しているユニットの台数が表示されます。「⚠」をクリックすると、異常発生中ユニット画面が表示されます。「3-1-8. 異常発生中ユニット」参照（31 ページ）

※ 1 フィルターサイン・異常発生中ユニットの台数が「0」の場合、この情報は表示されません。

3-1-2. アイコンの表示

グループの運転状態がアイコンとして表示されます。アイコンにマウスのカーソルを合わせると、そのグループの名称が表示されます。アイコンをクリックすると、操作画面が表示されます。
運転状態を表すアイコンは次のとおりです。

[1] 空調機グループ

運転中	停止中	異常発生中	フィルターサイン発生中※1	連動ロスナイ運転中※2, ※6
				

連動ロスナイ停止中※6	スケジュールあり	スケジュール無効	省エネ制御中※3, ※11	ナイトセットバック運転中※9

立ち上げ中※10	在室中／不在時※4, ※5, ※6	明るい／暗い※7, ※8	室温の表示※11, ※12
	（青色） （灰色）	（黄色） （灰色）	

※1「フィルターサイン発生中」アイコンの表示 / 非表示は初期設定 Web ブラウザで選択できます。
※2 ロスナイが Mr. Slim と連動設定されている場合、ロスナイが単体で運転している場合でも、「連動ロスナイ運転中」アイコンが表示されます。
（対象となる M-NET アダプタ機種：PAC-SG40/68/98MA、PAC-SF48/50MA、PAC-SH08/34MA）
※3「省エネ制御中」アイコンは、グループまたはグループに接続されている室外ユニットに対して省エネ制御時間帯・ET 制御運転中・アドバンスドパワーセーブ制御運転中・ピークカット制御運転中・高顕熱制御中に表示されます。
※4「在室中／不在時」アイコンは、初期設定用 Web ブラウザの基本システム設定画面の「表示の設定」にある「人感センサ表示」で［在室マークを表示］、［不在マークを表示］、または［在室 / 不在マークの両方を表示］が選択されている場合のみ表示されます。
※5「在室中／不在時」アイコンは、グループのリモコンに人感センサーが搭載されている（ME リモコン PAR-F30ME）場合のみ表示されます。
※6「在室中／不在時」アイコンは、「連動ロスナイ運転中」アイコンおよび「連動ロスナイ停止中」アイコンに優先して表示されます。
※7「明るい／暗い」アイコンは、初期設定用 Web ブラウザの基本システム設定画面の「表示の設定」にある「照度センサ表示」で［明るいマークを表示］、［暗いマークを表示］、または［明 / 暗マークの両方を表示］が選択されている場合のみ表示されます。
※8「明るい／暗い」アイコンは、グループのリモコンに照度センサーが搭載されている（ME リモコン PAR-F30ME）場合に表示されます。
※9「ナイトセットバック運転中」アイコンは、「明るい／暗い」アイコンに優先して表示されます。
※10 立ち上げ後、機器が認識できない場合、このアイコンが表示され続けますので、空調機の接続･グループ設定を確認してください。
※11「省エネ制御中」アイコンは、「室温の表示」アイコンに優先して表示されます。
※12 室温の表示／非表示は、初期設定用 Web ブラウザの基本システム設定画面の「表示の設定」にある「室温表示」で切り替えできます。

お知らせ

- アイコンは、4 方向タイプのほかに、2 方向や天吊りタイプ等が選択できます。アイコンの選択は、初期設定用 Web ブラウザのグループ設定画面で行ってください。

[2] ロスナイグループ

運転中	停止中	異常発生中	フィルターサイン発生中※1	スケジュールあり※4

スケジュール無効※4	省エネ制御中※2, ※3	24時間換気中※3, ※5	ナイトパージ※4, ※5, ※6 運転中 / 停止中
			（青色） （灰色）

※1「フィルターサイン発生中」アイコンの表示／非表示は初期設定用 Web ブラウザで選択できます。

※2「省エネ制御中」アイコンは、グループの省エネ制御時間帯に表示されます。

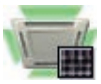
※3 省エネ制御中に「24時間換気中」アイコンが表示される場合、表示の優先度は高い方から、「省エネ制御中」→「24時間換気中」となります。

※4 ナイトパージ運転中にスケジュール設定ありが表示される場合は、表示の優先度は高い方から、「ナイトパージ運転中」→「スケジュールあり」となります。スケジュール無効が表示される場合も、表示の優先度は高い方から、「ナイトパージ運転中」→「スケジュール無効」となります。

※5 ナイトパージ運転中は、「24時間換気中」アイコンは表示されません。

※6 ナイトパージ停止中は、操作画面のみに表示されます。

[3] 加熱加湿付ロスナイグループ

運転中	停止中	異常発生中	フィルターサイン発生中※1	スケジュールあり
				

スケジュール無効	省エネ制御中※2

※1「フィルターサイン発生中」アイコンの表示／非表示は初期設定用 Web ブラウザで選択できます。

※2「省エネ制御中」アイコンは、グループの省エネ制御時間帯に表示されます。

[4] 汎用機器グループ

運転中	停止中	異常発生中	スケジュールあり	スケジュール無効

お知らせ

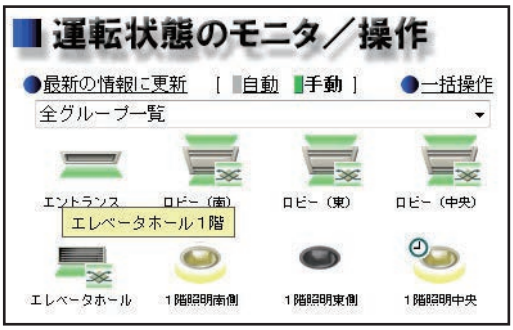
- 照明アイコンのほかに、ポンプやカードキーアイコン等が選択できます。アイコンの選択は、初期設定用 Web ブラウザのグループ設定画面で行ってください。

3-1-3. グループ名称の表示

グループ名称の先頭の 8 文字がアイコンの下に表示されます。全文字を表示するには、アイコン上にマウスカーソルを合わせてください。

お知らせ

- グループ名称の表示／非表示は、初期設定用 Web ブラウザの基本システム設定画面で選択できます。

グループ名称　表示	グループ名称　非表示
	

3-1-4. ブロック単位のモニタ

運転状態のモニタ／操作画面のブロック一覧表示では、ブロックを選択すると、空調機グループ、ロスナイ（換気機器）グループ、加熱加湿付ロスナイグループ、および汎用機器グループの運転状態（運転モード、設定温度、室内温度など）がブロックごとに表示されます。

項目	内容
ブロック一覧	**[ブロック一覧]** をクリックすると、グループの運転状態がブロックごとに表示されます。
全グループ一覧 / フロアレイアウト	**[全グループ一覧 / フロアレイアウト]** をクリックすると、全グループの運転状態が表示されます。
最新の情報に更新	クリックすると、最新の運転状態が表示されます。 **[自動]** を選択すると、運転状態の情報が 1 分間隔で自動更新されます。
一括操作	クリックすると、対象のブロックに属する全グループを一括で操作できます。「3-1-6. 全グループ一括の操作」参照（29 ページ）
ブロックの選択	操作したいブロックを選択します。
グループアイコン	グループの運転状態がアイコンとして表示されます。アイコンをクリックすると、操作画面が表示されます
グループ名称	グループの名称が表示されます。
運転モード	グループの運転モードが表示されます。 **お知らせ** ・ 加熱加湿器付ロスナイ機種では、上段に運転モード、下段に換気モードが表示されます。
設定温度	グループの設定温度が表示されます。 **お知らせ** ・ 機種により 0.5℃単位または 1℃単位で表示されます。
室内温度	グループの設定温度が表示されます。 **お知らせ** ・ 表示される温度は、実際の室内温度とは異なる場合があります。 ・ 特に暖房モードで停止中の場合は、温度が高くなることがあります。 ・ 室内温度の表示／非表示は、初期設定用 Web ブラウザの基本システム設定画面で設定できます。
加湿アイコン	加湿状態がアイコンで表示されます。 運転中 / 停止中 / 自動 **お知らせ** ・ ロスナイ機種、加熱加湿付ロスナイ機種で表示されます。
週間スケジュール番号	現在有効な週間スケジュールが表示されます。

項目	内容
フィルターサイン 発生中ユニットの台数※1	AE-200J/AE-50J/EW-50Jの制御下の機器で、フィルターサインが発生しているユニットの台数（1 台～ 50 台）が表示されます。「▦」をクリックすると、フィルターサイン発生中ユニット画面が表示されます。「3-1-9. フィルターサイン発生中ユニット」参照（33 ページ） お知らせ ・ 初期設定用 Web ブラウザの基本システム設定画面で、「フィルターサイン表示」が **[オフ]** になっている場合は、この情報は表示されません。
異常発生中ユニット の台数※1	AE-200J/AE-50J/EW-50Jの制御下の機器で、異常が発生しているユニットの台数が表示されます。「⚠」をクリックすると、異常発生中ユニット画面が表示されます。「3-1-8. 異常発生中ユニット」参照（31 ページ）

※ 1　フィルターサイン、異常発生中ユニットの台数が「0」の場合、この情報は表示されません。

3-1-5. 空調機・ロスナイ・汎用機器の操作を行う

ここでは、空調機・ロスナイ・汎用機器をグループ単位、ブロック単位、全グループ一括で操作する方法について説明します。

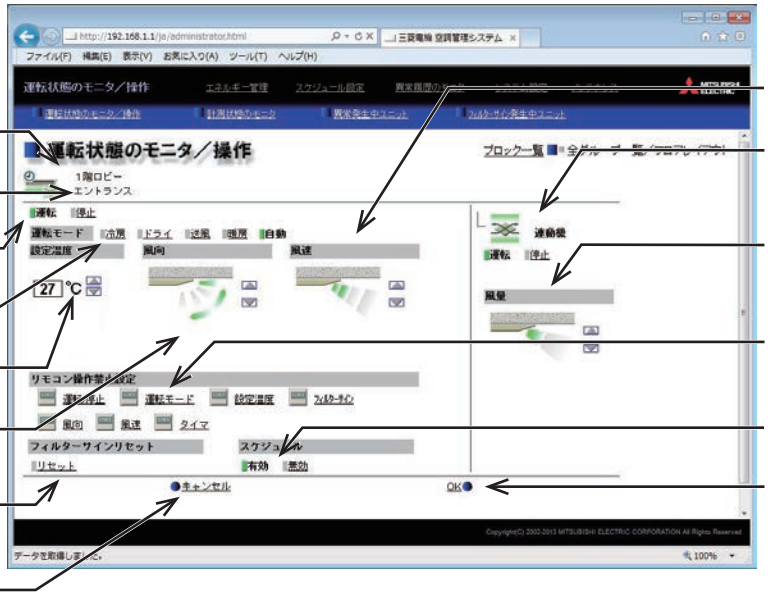
[1] グループ単位・ブロック単位で操作する

全グループ一覧／フロアレイアウト、またはブロック一覧の運転状態監視画面にて、グループアイコンをクリックするとそのグループの操作画面が表示されます。現在の運転状態が表示されますので、操作したい項目を変更し、**[OK]** をクリックして操作内容を決定します。**[キャンセル]** をクリックすると、何もせずに元の画面に戻ります。

お知らせ

- 汎用機器は運転・停止のみ操作可能です。なお、グループ操作を禁止されている汎用機器は操作できません。
- Web ブラウザの設定で Java Script の実行が禁止されている場合、操作画面はフロアレイアウト画面の左上の位置に表示されます。フロアレイアウト画面にて右下方向にスクロールし、グループアイコンをクリックした場合は、画面を左上にスクロールしてから操作を行ってください。

(1) 空調機グループの場合



ブロック名
ブロック名を表示します。

グループ名
グループ名を表示します。

運転／停止
運転／停止を切り替えます。

運転モード
運転モードを設定します。

設定温度
設定温度を変更します。

風向
風向を設定します。

フィルターサインリセット
フィルターサインをリセットします。

キャンセル
操作内容をキャンセルします。

風速
風速を設定します。

連動機 運転／禁止
ロスナイなどの連動機の運転／停止を切り替えます。

連動機 風量
ロスナイなどの連動機の風量を設定します。

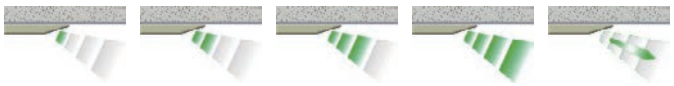
リモコン操作禁止
リモコンの操作禁止項目を設定します。

スケジュール
有効／無効

OK
操作内容を決定します。OKボタンをクリックしないと操作は反映されません。

項目	内容
運転／停止	**[運転][停止]** をクリックして、運転、停止を切り替えます。 **お知らせ** • 連動機が接続されているグループは、本操作により運転／停止を切り替えたときに、連動機の運転／停止も連動して変化します。 連動機のみ運転／停止を変更したいときは「連動機 運転／停止」にて設定できます。
運転モード	**[冷房][ドライ][送風][暖房][自動]** をクリックして、運転モードを切り替えます。 **お知らせ** • 運転モード切換機能の無い機種は、本項目は表示されません。 • 機種により操作できない運転モードがあります。操作できないモードは表示されません。

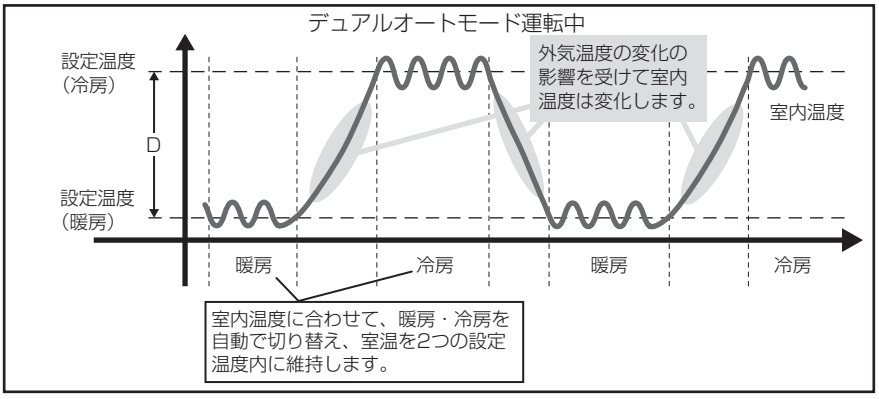
<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>設定温度</td><td>▲ ▼ をクリックして、設定温度を変更します。
温度の設定可能範囲は、モード、機種によって違います。
<table>
<tr><th>機種</th><th>冷房・ドライ</th><th>暖房</th><th>自動</th></tr>
<tr><td>通常機種</td><td>19 ～ 30℃</td><td>17 ～ 28℃</td><td>19 ～ 28℃</td></tr>
<tr><td>中温
（シティマルチ）</td><td>14 ～ 30℃</td><td>17 ～ 28℃</td><td>17 ～ 28℃</td></tr>
<tr><td>中温
（Mr. スリム）</td><td>14 ～ 30℃</td><td>14 ～ 28℃</td><td>14 ～ 28℃</td></tr>
</table>
お知らせ
・機種により設定温度範囲は変わります。
・機種により 0.5℃単位または 1℃単位で表示されます。
・設定できる温度範囲は機種によって異なります。
・室内ユニットがデュアルオートモード（詳細は次ページ）に対応している場合は、自動モード設定時には 2 種類の設定温度（冷房と暖房）を設定することができます。
・操作グループにデュアルオートモード対応ユニットと非対応ユニットが混在している場合は、設定温度は非対応ユニットが適用され、自動モード時に 2 種類の設定温度が設定できません。
・初期設定用 Web ブラウザの設定温度範囲制限設定画面で設定した温度範囲がこの画面で有効になります。</td></tr>
<tr><td>風向</td><td>▲ ▼ をクリックして、風向を調整します。
（中 3）　（中 2）　（中 1）　（中 0）　（水平）　（スイング）　（自動）

お知らせ
・風向切換機能の無い機種は、本項目は表示されません。
・機種により操作可能な機能が変化します。
・A 制御機種（スリム機種）、ルームエアコン機種では、[自動] は表示されません。</td></tr>
<tr><td>風速</td><td>▲ ▼ をクリックして、風速を調整します。
（弱）　（中 2）　（中 1）　（強）　（自動）
 
お知らせ
・風速切換機能の無い機種は、本項目は表示されません。
・機種により操作可能な機能が変化します。
・A 制御機種（スリム機種）、ルームエアコン機種では、[自動] は表示されません。</td></tr>
<tr><td>リモコン操作禁止</td><td>リモコンでの操作禁止項目を設定します。[運転 停止][運転モード][設定温度][フィルターサイン][風向][風速][タイマ] の文字部分をクリックして、禁止 、許可 を切り替えます。</td></tr>
<tr><td>スケジュール　有効 / 無効</td><td>設定したスケジュールの有効、無効を設定します。
[有効][無効] をクリックして、有効、無効を切り替えます。</td></tr>
<tr><td>フィルターサインリセット</td><td>[リセット] をクリックして、リセットするか、しないかを切り替えます。リセットする場合は [▮ リセット] のように、文字の左側が緑色表示になるようにしてください。
お知らせ
・フィルターサインが発生していないグループは、本項目は表示されません。
・フィルターサインをリセットしても、手元リモコンのフィルターサインが消えるまでに最大 1 時間かかります。</td></tr>
<tr><td>連動機　運転 / 停止</td><td>[運転][停止] をクリックして、連動機の運転、停止を切り替えます。
お知らせ
・連動機が接続されていないグループは、連動機の操作項目は表示されません。</td></tr>
</table>

項目	内容
連動機　風量	をクリックして、連動機の風量を設定します。 **お知らせ** ・ 連動機が接続されていないグループは、連動機の操作項目は表示されません。

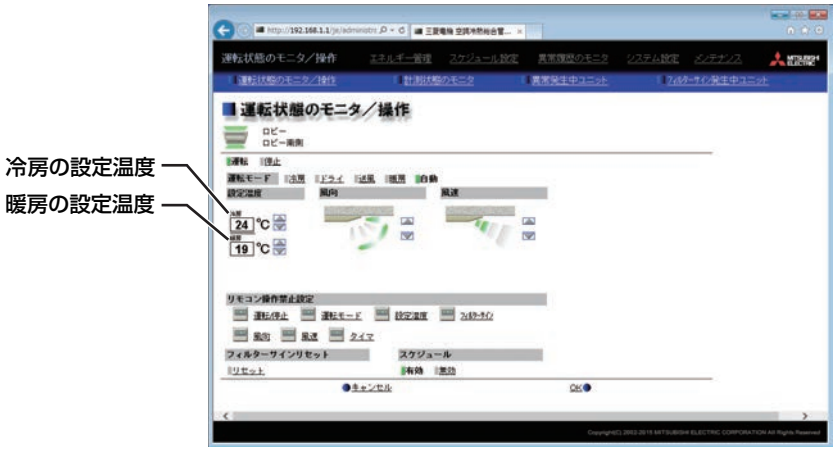
お知らせ

デュアルオートモード対応の室内ユニットでは、２値（冷房・暖房）の設定温度が設定でき、運転中は室内温度により室内ユニットが自動的に冷房と暖房を切り替え、２つの設定温度内に室内温度を維持します。
下図はデュアルオートモードで動作中のユニットの動作パターンを示します。

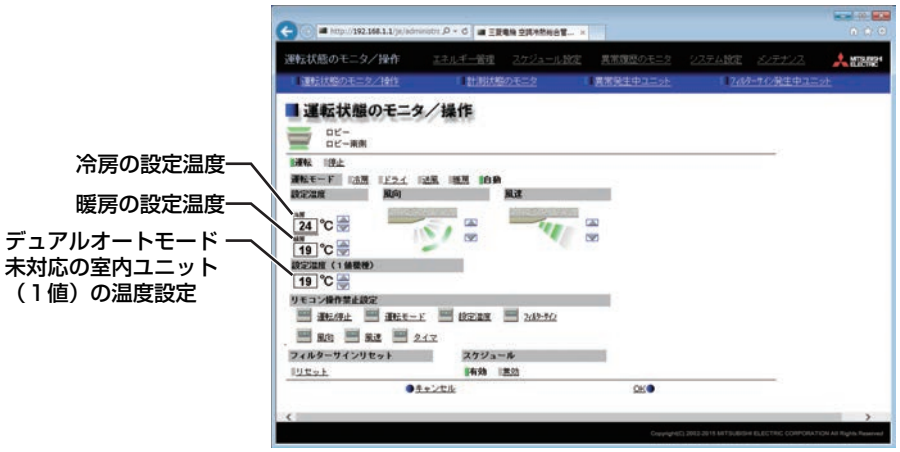


選択したグループアイコンの室内ユニットが、デュアルオートモードに対応している場合、冷房と暖房の両方の設定ができます。

1) デュアルオートモード対応の室内ユニットのみのグループの場合



2) デュアルオートモード対応のグループと未対応のグループを、混在して選択した場合



(2) ロスナイグループの場合

運転／停止／24時間換気
運転／停止／24時間換気を切り替えます。

加湿
加湿を切り替えます。

スケジュール
有効／無効

キャンセル
操作内容をキャンセルします。

換気モード
換気モードを設定します。

風量
風量を設定します。

リモコン操作禁止
リモコンの操作禁止項目を設定します。

フィルターサインリセット
フィルターサインをリセットします。

OK
操作内容を決定します。OKボタンをクリックしないと操作は反映されません。

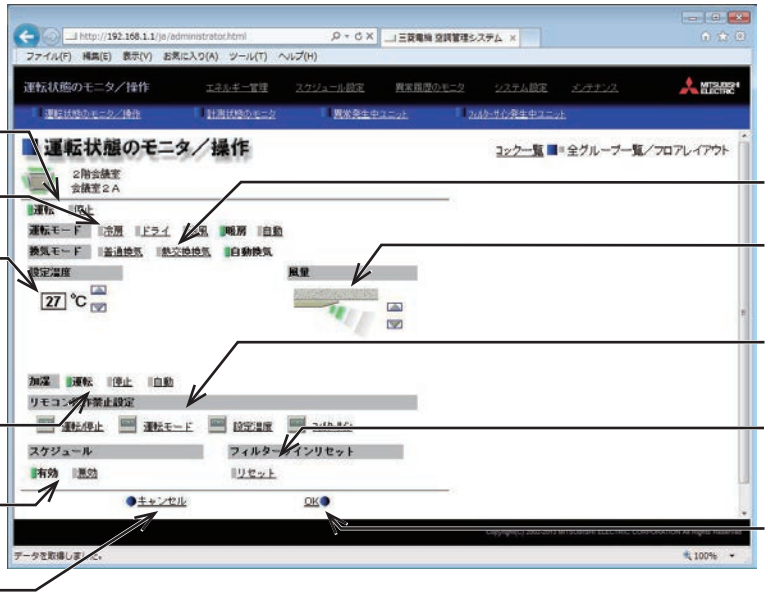
項目	内容
運転／停止／ 24 時間換気	**[運転][停止][24 時間換気]** をクリックして、運転、停止、24 時間換気を切り替えます。 **お知らせ** • 機種により **[24 時間換気]** が表示されない場合があります。 • 24 時間換気設定が有効な場合のみ、**[24 時間換気]** が表示されます。 • 24 時間換気設定で停止操作する場合、又は、ナイトパージ運転中に運転 / 停止 /24 時間換気操作する場合、現状の設定や動作を切り替えることとなるため、確認のためのメッセージが表示されます。 • ナイトパージ運転中、停止操作した場合、約 1 時間ナイトパージ運転しません。 • 停止操作を行った時、24 時間換気を開始する機種があります。該当機種の取扱説明書を参照ください。
換気モード	**[普通換気][熱交換換気][自動換気]** をクリックして、換気モードを切り替えます。 **お知らせ** • ナイトパージ運転中、24 時間換気中、または、24 時間換気を選択している場合は、換気モードは表示されません。
風量	をクリックして、風量を設定します。 （微弱） （弱） （強） （自動） **お知らせ** • 風量切換機能の無い機種は、本項目は表示されません。 • 機種により操作可能な機能が変化します。 • 微弱・弱・強・自動の切り替えができます。 • 24 時間換気を選択した場合は、表示されません。 • ナイトパージ運転中でも風量を変更できます。**[自動]** は表示されません。
加湿	**[運転] [停止] [自動]** をクリックして、加湿の運転、停止、自動を切り替えます。 **お知らせ** • 加湿機能の無い機種は、本項目は表示されません。

項目	内容
リモコン操作禁止	リモコンでの操作禁止項目を設定します。**[運転 停止][フィルターサイン]** の文字部分をクリックして、禁止 、許可 を切り替えます。
スケジュール　有効 / 無効	設定したスケジュールの有効、無効を設定します。 **[有効][無効]** をクリックして、有効、無効を切り替えます。
フィルターサインリセット	**[リセット]** をクリックして、リセットするか、しないかを切り替えます。リセットする場合は **[▮ リセット]** のように、文字の左側が緑色表示になるようにしてください。 **お知らせ** ・ フィルターサインが発生していないグループは、本項目は表示されません。

お知らせ

ロスナイグループの操作画面のグループアイコンにて、ナイトパージ設定が有効であり、ナイトパージが運転していない場合、ナイトパージ停止中アイコン (グレー) が表示されます。

(3) 加熱加湿付ロスナイグループの場合



項目	内容
運転／停止	**[運転][停止]** をクリックして、運転、停止を切り替えます。
運転モード	**[冷房][ドライ][送風][暖房][自動]** をクリックして、運転モードを切り替えます。 **お知らせ** ・ 運転モード切換機能の無い機種は、本項目は表示されません。 ・ 機種により操作できない運転モードがあります。操作できないモードは表示されません。
換気モード	**[普通換気][熱交換換気][自動換気]** をクリックして、換気モードを切り替えます。
設定温度	をクリックして、設定温度を変更します。 温度の設定可能範囲は、モード、機種によって違います。 機種 / 冷房・ドライ / 暖房 / 自動 通常機種 / 19 ～ 30℃ / 17 ～ 28℃ / 19 ～ 28℃ **お知らせ** ・ 設定温度切換機能の無い機種は、本項目は表示されません。 ・ 機種により設定温度範囲は変わります。

項目	内容
風量	をクリックして、風量を設定します。 （微弱）　（弱）　（強）　（自動） **お知らせ** ・ 風量切換機能の無い機種は、本項目は表示されません。 ・ 機種により操作可能な機能が変化します。 ・ 微弱・弱・強・自動の切り替えができます。機種により選択可能な風量は異なります。
加湿	**[運転] [停止] [自動]** をクリックして、加湿の運転、停止、自動を切り替えます。 **お知らせ** ・ 運転モードが暖房の場合のみ表示されます。
リモコン操作禁止	リモコンでの操作禁止項目を設定します。**[運転 停止] [運転モード] [設定温度] [フィルターサイン]** の文字部分をクリックして、禁止 、許可 を切り替えます。
スケジュール　有効 / 無効	設定したスケジュールの有効、無効を設定します。 **[有効] [無効]** をクリックして、有効、無効を切り替えます。
フィルターサイン リセット	**[リセット]** をクリックして、リセットするか、しないかを切り替えます。リセットする場合は **[リセット]** のように、文字の左側が緑色表示になるようにしてください。 **お知らせ** ・ フィルターサインが発生していないグループは、本項目は表示されません。

(4) 汎用機器グループの場合

運転／停止
運転／停止を切り替えます。

スケジュール
有効／無効

キャンセル
操作内容をキャンセルします。

OK
操作内容を決定します。OKボタンをクリックしないと操作は反映されません。

項目	内容
運転／停止	**[運転]** **[停止]** をクリックして、運転、停止を切り替えます。
スケジュール 有効／無効	設定したスケジュールの有効、無効を設定します。 **[有効]** **[無効]** をクリックして、有効、無効を切り替えます。

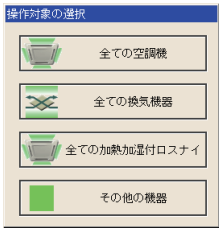
お知らせ

- グループ操作を禁止されている汎用機器は操作できません。

3-1-6. 全グループ一括の操作

手順

1. 運転状態のモニタ／操作画面で、**[一括操作]** をクリックします。空調機グループ、ロスナイ（換気機器）グループ、加熱加湿付ロスナイグループ、および汎用機器グループが同一システム内に混在している場合は、グループの種類を選択する画面が表示されます。
   設定を変更したいグループの種類をクリックします。



2. 操作設定画面上で設定を変更し、**[OK]** をクリックして変更内容を決定します。
   設定を変更せずに前の画面に戻る場合は、**[キャンセル]** をクリックします。

お知らせ

- 設定温度範囲制限が設定されているグループの場合は、設定可能な温度の範囲が限定されます。
- 対象のグループ内で、操作禁止された項目があるグループが存在する場合、そのグループにはその操作ができません。

3-1-7. 計測状態のモニタ

ここでは温度センサー、湿度センサー、および計量計による計測データを確認する方法について説明します。
メニューの **[運転状態のモニタ／操作]** − **[計測状態のモニタ]** をクリックして計測状態のモニタ画面を開きます。

お知らせ

- 温度と湿度の計測には環境用計測コントローラ（PAC-YG63MC）および市販の温度センサーと湿度センサーが必要です。
- 電力・水・熱・ガスの消費量を計測するには、計量用計測コントローラ（PAC-YG60MC）および市販のパルス出力式計量計が必要です。
- 本体に直接計量用パルスを入力する場合は、計量用計測コントローラ（PAC-YG60MC）は必要ありません。

項目	内容
最新の情報に更新	クリックすると、最新の計測データが表示されます。 **[自動]** を選択すると、計測データが 1 分間隔で自動更新されます。
計測値	現在の計測値が表示されます。 **お知らせ** ・各計測計が以下のアイコンで表示されます。計測値が、初期設定用 Web ブラウザの計測設定画面で設定された上限警報値または下限警報値を超えている場合は、アイコンが橙色で表示されます。

	正常時	上下限警報値 発生中（橙色）	通信異常発生中 / センサー異常（橙色）
温度センサー			※ 1
湿度センサー			※ 1
計量計			※ 2

※ 1 通信異常やセンサー異常が発生した場合、温度センサーまたは湿度センサーの計測値は「--」と表示されます。
※ 2 通信異常が発生した場合、計量計の計測値は、異常検出直前の値が表示されます。

フィルターサイン発生中ユニットの台数※1	AE-200J/AE-50J/EW-50J の制御下の機器で、フィルターサインが発生しているユニットの台数（1 台〜 50 台）が表示されます。「▦」をクリックすると、フィルターサイン発生中ユニット画面が表示されます。「3-1-9. フィルターサイン発生中ユニット」参照（33 ページ） **お知らせ** ・初期設定用 Web ブラウザの基本システム設定画面で、「フィルターサイン表示」が **[オフ]** になっている場合は、この情報は表示されません。
異常発生中ユニットの台数※1	AE-200J/AE-50J/EW-50J の制御下の機器で、異常が発生しているユニットの台数が表示されます。「⚠」をクリックすると、異常発生中ユニット画面が表示されます。「3-1-8. 異常発生中ユニット」参照（31 ページ）

※ 1 フィルターサイン・異常発生中のユニットの台数が「0」の場合、この情報は表示されません。

3-1-8. 異常発生中ユニット

メニューの **[運転状態のモニタ／操作]** − **[異常発生中ユニット]** をクリックして異常発生中ユニット画面を開きます。現在、異常が発生しているユニットの一覧が表示されます。

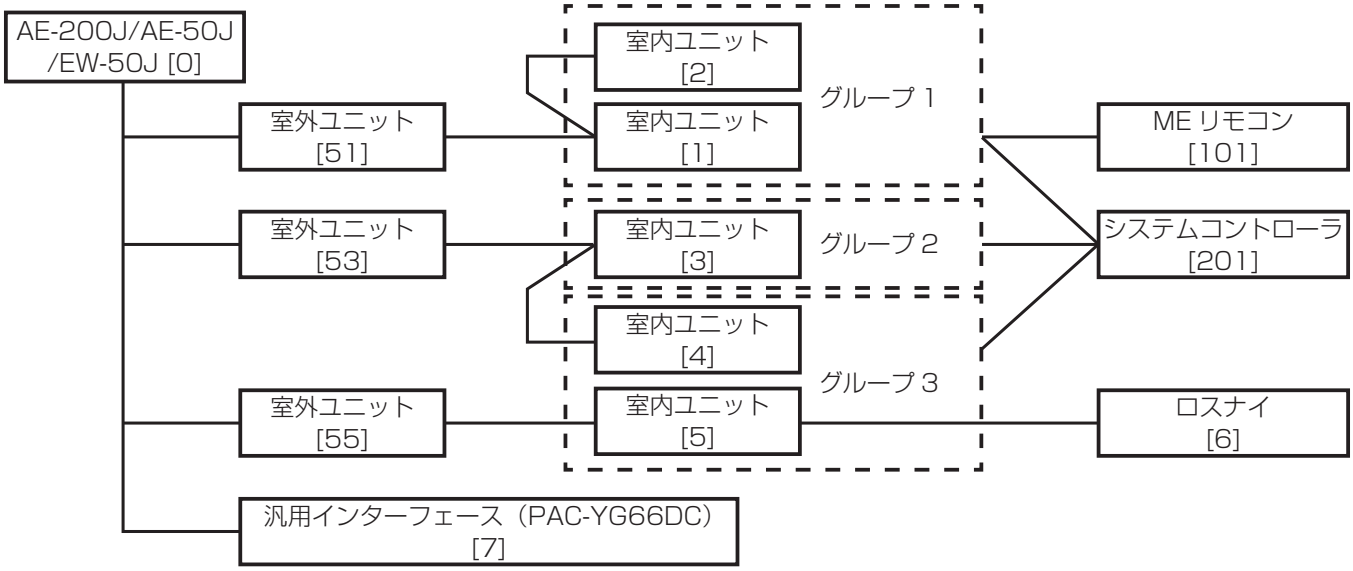
項目	内容
最新の情報に更新	クリックすると、最新の異常データが表示されます。 **[自動]** を選択すると、異常データが 1 分間隔で自動更新されます。
一括リセット	クリックすると、すべての機器の異常がリセットされます。 **お知らせ** ・ リセットされたユニットは停止します。
異常コード一覧	クリックすると、異常コードおよび各コードの定義の一覧が表示されます。
異常発生中ユニットの台数	異常が発生しているユニットの台数が表示されます。
グループ名称	異常が発生しているユニットのグループ名称が表示されます。 **お知らせ** ・ 異常発生ユニットが、室外ユニットやシステムコントローラーなどグループに登録していない機器である場合、グループ名称は空欄で表示されます。
ユニットアドレス	異常が発生しているユニットのアドレスが表示されます。
異常コード	発生している異常の異常コードが表示されます。

異常発生中のユニットと、異常のリセットに伴い停止するユニット

異常発生中のユニットと停止するユニットの対応表

異常発生ユニット	異常をリセットすることで停止するユニット
AE-200J/AE-50J/EW-50J	なし
室外ユニット	異常発生中の室外ユニットに接続されているすべての室内ユニット
室内ユニット	異常発生中の室内ユニットおよび同一グループのすべての室内ユニット
ME（MA）リモコン	異常発生中のリモコンに接続されているすべての室内ユニット
システムコントローラ	異常発生中のシステムコントローラに接続されているすべての室内ユニット
連動ロスナイ	異常発生中のロスナイと連動する室内ユニット
汎用インターフェース（PAC-YG66DC）	なし
計量用計測コントローラ（PAC-YG60MC）	なし
環境用計測コントローラ（PAC-YG63MC）	なし

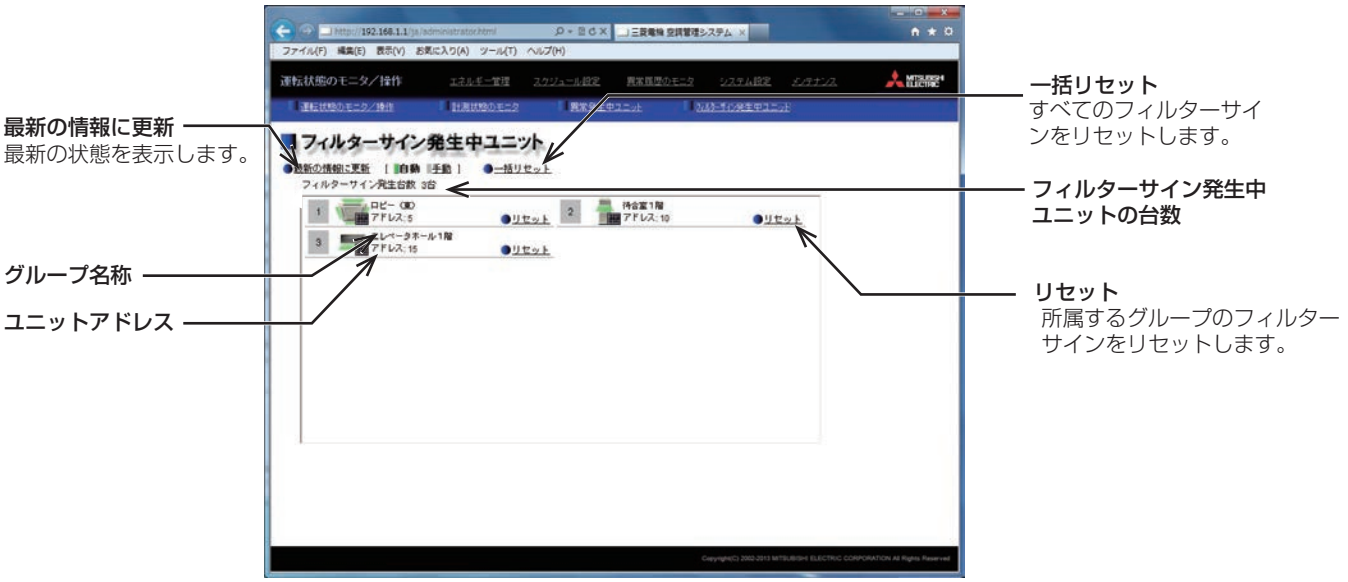
異常発生中のユニットと異常をリセットすることで停止するユニットの例



異常発生ユニット	異常をリセットすることで停止するユニット
AE-200J/AE-50J/EW-50J[0]	なし
室外ユニット [51]	室内ユニット [1]、室内ユニット [2]
室外ユニット [53]	室内ユニット [3]、室内ユニット [4]
室内ユニット [1]	室内ユニット [1]、室内ユニット [2]
室内ユニット [3]	室内ユニット [3]
室内ユニット [5]	室内ユニット [4]、室内ユニット [5] 、ロスナイ [6]
ロスナイ [6]	室内ユニット [5]
ME リモコン [101]	室内ユニット [1]、室内ユニット [2]
システムコントローラ [201]	室内ユニット [1]、室内ユニット [2] 、室内ユニット [3]、室内ユニット [4]、室内ユニット [5]、室内ユニット [6]
汎用インターフェース（PAC-YG66DC）[7]	なし

3-1-9. フィルターサイン発生中ユニット

フィルターサインが発生しているユニットを一覧で表示することができます。
メニューの **[運転状態のモニタ／操作]** − **[フィルターサイン発生中ユニット]** をクリックしてフィルターサイン発生中ユニット画面を開きます。



項目	内容
最新の情報に更新	クリックすると、最新のフィルターサインが発生中のユニットが表示されます。 **[自動]** を選択すると、フィルターサインが発生中のユニットが 1 分間隔で自動更新されます。
一括リセット	クリックすると、すべてのフィルターサインがリセットされます。 **お知らせ** ・ フィルター清掃後にリセットしてください。 ・ フィルターサインをリセットしても、手元リモコンのフィルターサインが消えるまでに最大 1 時間かかります。 また、手元リモコンでフィルターサインをリセットしても、AE-200J/AE-50J のフィルターサインが消えるまでに最大 1 時間かかります。
フィルターサイン発生中ユニットの台数	フィルターサインが発生しているユニットの台数が表示されます。
グループ名称	フィルターサインが発生しているユニットのグループ名称が表示されます。
ユニットアドレス	フィルターサインが発生しているユニットのアドレスが表示されます。
リセット	クリックすると、そのグループのフィルターサインがリセットされます。 **お知らせ** ・ フィルター清掃後にリセットしてください。 ・ フィルターサインをリセットしても、手元リモコンのフィルターサインが消えるまでに最大 1 時間かかります。 また、手元リモコンでフィルターサインをリセットしても、AE-200J/AE-50J のフィルターサインが消えるまでに最大 1 時間かかります。

3-2. エネルギー管理

3-2-1. エネルギー利用状況

エネルギー利用状況画面では、電力使用量や運転時間、外気温度など、エネルギー管理に関する状況がグラフに表示されます。対象の室内ユニットに対し、日付指定でグループ、ブロック、またはユニットアドレスごとのデータを表示し、エネルギーの利用状況を詳細に確認することができます。また、他の室内ユニットのエネルギー利用状況を併せて表示し、比較することができます。
時間ごと、日ごと、月ごとのエネルギー利用状況をグラフで表示し、省エネ状況を見える化します。
メニューの **[エネルギー管理]** − **[エネルギー利用状況]** をクリックしてエネルギー利用状況画面を開きます。

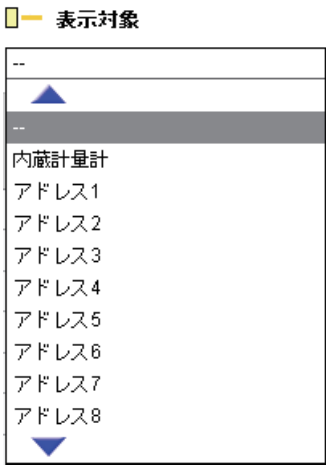
お知らせ

- Web ブラウザからエネルギー管理のグラフを確認する場合は、AE-200J/AE-50J/EW-50J をまたいで比較することはできません。本体画面ではまたいで比較することができます。

手順

1. 下表を参照して必要な項目を設定します。

項目	内容
日付範囲	**[日]** **[月]** または **[年]** を選択します。 **お知らせ** ・ **[日]** を選択した場合、その日の 0：00 から 24：00 までの 1 時間単位のグラフを表示します。 ・ **[月]** を選択した場合、その月の 1 日から 31 日までの 1 日単位のグラフを表示します。 ・ **[年]** を選択した場合、その年の 1 月から 12 月までの 1 ヶ月単位のグラフを表示します。 ・ **[日付範囲]** を変更すると、選択した **[表示単位]**、**[表示対象]**、**[日付]**、**[比較対象]**、**[日付]**、「表示項目」がすべてクリアされます。 **お知らせ** ・ グラフに表示されるのは、AE-200J/AE-50J/EW-50J の電源が入っていた間のみです。AE-200J/AE-50J/EW-50J の電源が切れていた間のデータは表示されません。
表示単位	グラフを表示する対象の単位を **[ブロック]**、**[グループ]**、または **[アドレス]** から選択します。 クリックするとプルダウンメニューが表示されます。

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td rowspan="4">表示対象</td><td>グラフを表示する対象のブロック名称、グループ名称、またはアドレス番号を選択します。</td></tr>
<tr><td>・「表示単位」がブロックの場合
クリックするとプルダウンメニューでブロック名称が表示されます。
一番上が [全ブロック]、ブロック番号順に上から下へ表示され、最後に [未登録ブロック] が表示されます。
汎用インターフェース (PAC-YG66DC) のブロックは表示されません。</td></tr>
<tr><td>・「表示単位」がグループの場合
クリックするとプルダウンメニューでグループ名称が表示されます。
グループ番号順に上から下へ表示されます。
汎用 DC(PAC-YG66DC) のみのグループは表示されません。</td></tr>
<tr><td>・「表示単位」がアドレスの場合
クリックするとプルダウンメニューでアドレス番号が表示されます。
アドレス番号順に上から下へ表示されます。
お知らせ
・計量用パルスの入力値を表示する場合は、最上段の [内蔵計量計] を選択してください。
 
</td></tr>
<tr><td>日付（表示対象）</td><td>グラフを表示するデータの日付を指定します。
クリックするとプルダウンメニューで「日」または「月」または「年」を選択します。
お知らせ
・「表示期間」で [日] を選択した場合、当日から過去 24 ヶ月までの間から年月日「yyyy/mm/dd」を指定します。
・「表示期間」で [月] を選択した場合、現在月から過去 24 ヶ月までの間から年月「yyyy/mm」を指定します。
・「表示期間」で [年] を選択した場合、現在年から過去2年までの間から年「yyyy」を指定します。
・日付は、初期設定用 Web ブラウザの基本システム設定画面で設定された形式で表示されます。</td></tr>
<tr><td>比較対象</td><td>比較する対象のブロック名称、グループ名称、またはアドレスを選択します。
（画面は表示対象と同じです。）
お知らせ
・表示対象で選択した「表示単位」（ブロック、グループ、アドレス）と同じ「表示単位」しか選択できません。</td></tr>
<tr><td>日付（比較対象）</td><td>グラフを表示するデータの日付を指定します。（画面は表示対象と同じです。）</td></tr>
<tr><td>表示の更新</td><td>クリックすると、グラフ領域に表示対象のデータと比較対象のデータが、棒グラフおよび折れ線グラフで表示されます。
お知らせ
・対象データが存在しない場合、グラフは表示されません。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>表示項目</td><td>
棒グラフおよび折れ線グラフに表示する項目を選択します。
上段 : 棒グラフ
下段 : 折れ線グラフ

お知らせ
・ 選択できる表示項目は、棒グラフのうち 1 つ、折れ線グラフのうち 1 つのみです。

棒グラフの表示項目
<table>
<tr><th rowspan="2">表示対象</th><th rowspan="2">表示項目</th><th colspan="3">表示単位</th></tr>
<tr><th>アドレス</th><th>グループ</th><th>ブロック</th></tr>
<tr><td rowspan="5">室内ユニット</td><td>電力量（kWh）※ 1</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>FAN 運転時間（分）※ 2</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td></tr>
<tr><td>サーモ ON 時間（合計）（分）※ 2</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td></tr>
<tr><td>サーモ ON 時間（冷房）（分）※ 2</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td></tr>
<tr><td>サーモ ON 時間（暖房）（分）※ 2</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td></tr>
<tr><td rowspan="4">計量用計測
コントローラ /
計量用パルス
入力</td><td>計量計 1 の名称</td><td rowspan="4">○</td><td rowspan="4">-</td><td rowspan="4">-</td></tr>
<tr><td>計量計 2 の名称</td></tr>
<tr><td>計量計 3 の名称</td></tr>
<tr><td>計量計 4 の名称</td></tr>
</table>
○ : グラフに表示可能な項目

※ 1　室内ユニットの消費電力量がグラフに表示されます。消費電力量は、初期設定用 Web ブラウザのエネルギー管理設定画面で設定された「室内ユニットの按分モード」に基づき按分されます。
※ 2　選択した項目における室内ユニットの累積運転時間がグラフに表示されます。
・[FAN 運転時間] は、室内ユニットが ON になっている時間の累積値です。
・[サーモ ON 時間（合計／冷房／暖房）] は、室内ユニットに冷媒を流している時間です。
（冷房：冷房モード選択時、暖房：暖房モード選択時、合計：どちらかのモード選択時）

折れ線グラフの表示項目
<table>
<tr><th rowspan="2">表示対象</th><th rowspan="2">表示項目</th><th colspan="3">表示単位</th></tr>
<tr><th>アドレス</th><th>グループ</th><th>ブロック</th></tr>
<tr><td>-</td><td>外気温度（℃）（℉）※ 1</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="3">室内ユニット</td><td>冷房設定温度（℃）（℉）※ 2</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td></tr>
<tr><td>暖房設定温度（℃）（℉）※ 2</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td></tr>
<tr><td>室内温度（℃）（℉）</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td></tr>
<tr><td rowspan="2">環境用計測コントローラ</td><td>温度センサー 1 または
湿度センサー 1 の名称</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td></tr>
<tr><td>温度センサー 2 または
湿度センサー 2 の名称</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td></tr>
</table>
○ : グラフに表示可能な項目

※ 1　初期設定用 Web ブラウザのエネルギー管理設定画面の「外気温計測ユニット」で、外気温度センサーが選択されている場合のみ選択可能です。
※ 2　デュアルオートモード対応の室内ユニットの場合、運転しているモード（冷房 / 暖房）の設定温度が表示されます。
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>グラフ領域</td><td>表示対象のデータと比較対象のデータが、棒グラフおよび線グラフで表示されます。
<table>
<tr><th></th><th>表示対象</th><th>比較対象</th><th>目標値</th></tr>
<tr><td>棒グラフ</td><td>（黄色）</td><td>（茶色）</td><td>（赤色）</td></tr>
<tr><td>線グラフ</td><td>（オレンジ色）</td><td>（青色）</td><td></td></tr>
</table>
お知らせ
・「比較対象」を選択しなかった場合は、「表示対象」で選択された項目のデータのみがグラフに表示されます。
・現在時刻の設定変更によりデータが存在しない時間帯がある場合は、その期間のデータは表示されません。また現在時刻の設定変更により、時刻の重複が発生した場合は、新しいほうのデータがグラフに表示されます。</td></tr>
<tr><td>ダウンロード</td><td>[ダウンロード] をクリックすると、表示されている計測データを CSV 形式で出力します。
選択された日付範囲により、以下に示すファイル名と形式で出力されます。

■ファイル名
【「比較対象」で比較対象を選択した場合】
日付範囲：日
EM_DailyTrend_(yyyy)-(mm)-(dd)_(表示対象)_(YYYY)-(MM)-(DD)_(比較対象)_(棒グラフ種類)_(折れ線グラフ種類).csv

日付範囲：月
EM_MonthlyTrend_(yyyy)-(mm)_(表示対象)_(YYYY)-(MM)_(比較対象)_(棒グラフ種類)_(折れ線グラフ種類).csv

日付範囲：年
EM_AnnualTrend_(yyyy)_(表示対象)_(YYYY)_(比較対象)_(棒グラフ種類)_(折れ線グラフ種類).csv

【「比較対象」で比較対象を選択しない場合】
日付範囲：日
EM_DailyTrend_(yyyy)-(mm)-(dd)_(表示対象)_(棒グラフ種類)_(折れ線グラフ種類).csv

日付範囲：月
EM_MonthlyTrend_(yyyy)-(mm)_(表示対象)_(棒グラフ種類)_(折れ線グラフ種類).csv

日付範囲：年
EM_AnnualTrend_(yyyy)_(表示対象)_(棒グラフ種類)_(折れ線グラフ種類).csv</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>ダウンロード</td><td>
<table>
<tr><th>ファイル名の内容</th><th colspan="2">形式</th></tr>
<tr><td>(yyyy)</td><td colspan="2">「表示対象日付」で指定した年</td></tr>
<tr><td>(mm)</td><td colspan="2">「表示対象日付」で指定した月</td></tr>
<tr><td>(dd)</td><td colspan="2">「表示対象日付」で指定した日</td></tr>
<tr><td rowspan="3">(表示対象)</td><td>アドレス</td><td>・室内ユニットの場合
"A" + M-NET アドレス（001 ～ 050）+ "_" +"00"
・計量用計測コントローラの場合
"A" + M-NET アドレス（001 ～ 050）+ "_" +" 計量計番号 "
・計量用パルス入力の場合
"A" + "_" +" 計量計番号（01 ～ 04）"
・環境用計測コントローラの場合
"A" + M-NET アドレス（001 ～ 050）+ "_" +" センサー番号（01 ～ 04）"</td></tr>
<tr><td>グループ</td><td>"G" + グループ番号（001 ～ 050）+ "_" + "00"</td></tr>
<tr><td>ブロック</td><td>"B" + ブロック番号（001 ～ 050、999 *1）+ "_" + "00"</td></tr>
<tr><td>(YYYY)</td><td colspan="2">「比較対象日付」で指定した年</td></tr>
<tr><td>(MM)</td><td colspan="2">「比較対象日付」で指定した月</td></tr>
<tr><td>(DD)</td><td colspan="2">「比較対象日付」で指定した日</td></tr>
<tr><td rowspan="3">(比較対象)</td><td>アドレス</td><td>・室内ユニットの場合
"A" + M-NET アドレス（001 ～ 050）+ "_" +"00"
・計量用計測コントローラの場合
"A" + M-NET アドレス（001 ～ 050）+ "_" +" 計量計番号 "
・計量用パルス入力の場合
"A" + "_" +" 計量計番号（01 ～ 04）"
・環境用計測コントローラの場合
"A" + M-NET アドレス（001 ～ 050）+ "_" +" センサー番号（01 ～ 04）"</td></tr>
<tr><td>グループ</td><td>"G" + グループ番号（001 ～ 050）+ "_" + "00"</td></tr>
<tr><td>ブロック</td><td>"B" + ブロック番号（001 ～ 050、999 ※ 1）+ "_" + "00"</td></tr>
<tr><td rowspan="10">（棒グラフ種類）</td><td colspan="2">B01：電力量（室内ユニット）</td></tr>
<tr><td colspan="2">B02：FAN 運転時間</td></tr>
<tr><td colspan="2">B03：サーモ ON 時間（合計）</td></tr>
<tr><td colspan="2">B04：サーモ ON 時間（冷房）</td></tr>
<tr><td colspan="2">B05：サーモ ON 時間（暖房）</td></tr>
<tr><td colspan="2">B06：計量用計測コントローラ / 計量用パルス入力電力量</td></tr>
<tr><td colspan="2">B08：計量用計測コントローラ / 計量用パルス入力水量</td></tr>
<tr><td colspan="2">B09：計量用計測コントローラ / 計量用パルス入力熱量</td></tr>
<tr><td colspan="2">B00：選択無し</td></tr>
<tr><td colspan="2">B000：未登録ブロック</td></tr>
<tr><td rowspan="8">（折れ線グラフ種類）</td><td colspan="2">L01：設定温度（冷房）</td></tr>
<tr><td colspan="2">L02：設定温度（暖房）</td></tr>
<tr><td colspan="2">L03：室内温度</td></tr>
<tr><td colspan="2">L04：環境用計測コントローラ温度</td></tr>
<tr><td colspan="2">L06：外気温度</td></tr>
<tr><td colspan="2">L08：環境用計測コントローラ湿度</td></tr>
<tr><td colspan="2">L00：選択無し</td></tr>
</table>
※ 1　"B999" = 全ブロックの合計
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>ダウンロード</td><td>■ファイル形式
<table>
<tr><th>行</th><th>項目</th><th>日付範囲</th><th colspan="2">形式</th></tr>
<tr><td rowspan="3">1 行目</td><td rowspan="3">ファイル区分</td><td>日</td><td colspan="2">401</td></tr>
<tr><td>月</td><td colspan="2">402</td></tr>
<tr><td>年</td><td colspan="2">403</td></tr>
<tr><td rowspan="3">2 行目</td><td rowspan="3">日付</td><td>日</td><td colspan="2">yyyy/mm/dd:YYYY/MM/DD ※ 1</td></tr>
<tr><td>月</td><td colspan="2">yyyy/mm:YYYY/MM ※ 1</td></tr>
<tr><td>年</td><td colspan="2">yyyy:YYYY</td></tr>
<tr><td rowspan="3">3 行目</td><td rowspan="3" colspan="2">対象</td><td>アドレス</td><td>・室内ユニットの場合
"A" + M-NET アドレス（001 ～ 050）+ "_" +"00"
・計量用計測コントローラの場合
"A" + M-NET アドレス（001 ～ 050）+ "_" +" 計量計番号 "
・計量用パルス入力の場合
"A" + "_" +" 計量計番号（01 ～ 04）"
・環境用計測コントローラの場合
"A" + M-NET アドレス（001 ～ 050）+ "_" +" センサー番号（01 ～ 04）"</td></tr>
<tr><td>グループ</td><td>グループ名称（表示対象）/ グループ名称（比較対象）※ 3</td></tr>
<tr><td>ブロック</td><td>ブロック名称（表示対象）/ ブロック名称（比較対象）※ 3</td></tr>
<tr><td rowspan="3">4 行目</td><td rowspan="3">計測項目</td><td>日</td><td>" 時刻 ",</td><td>アドレスの場合
・室内ユニット、環境用計測コントローラ、計量用計測コントローラの場合
" アドレス " + アドレス番号（表示対象）（棒）+ "-"+ 表示項目（棒）, " アドレス " + アドレス番号（比較対象）（棒）+ "-" + 表示項目（棒）, " アドレス " + アドレス番号（表示項目）（線）+ "-" + 表示項目（線）, " アドレス " + アドレス番号（比較対象）（線）+ "-" + 表示項目（線）
・計量用パルス入力の場合
表示項目（棒）, "-" + 表示項目（棒）, "-" + 表示項目（線）, + "-" + 表示項目（線）</td></tr>
<tr><td>月</td><td>" 日 ",</td><td>グループの場合
グループ名称※ 3（表示対象）（棒）+ "-"+ 表示項目（棒）,
グループ名称※ 3（比較対象）（棒）+ "-" + 表示項目（棒）,
グループ名称※ 3（表示対象）（線）+ "-" + 表示項目（線）,
グループ名称※ 3（比較対象）（線）+ "-" + 表示項目（線）</td></tr>
<tr><td>年</td><td>" 月 ",</td><td>ブロックの場合
ブロック名称※ 3（表示対象）（棒）+ "-"+ 表示項目（棒）,
ブロック名称※ 3（比較対象）（棒）+ "-" + 表示項目（棒）,
" 目標電力量［kWh］"※ 2 ブロック名称※ 3（表示対象）（線）+ "-" + 表示項目（線）, ブロック名称※ 3（比較対象）（線）+ "-" + 表示項目（線）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">5 行目～※ 5</td><td rowspan="3">データ※ 4</td><td>日</td><td>hh:mm,</td><td rowspan="3">データ数値（棒）, 比較データ数値（棒）, 目標電力量値※ 2, データ数値（線）, 比較データ数値（線）</td></tr>
<tr><td>月</td><td>dd,</td></tr>
<tr><td>年</td><td>mm,</td></tr>
</table>
※ 1　日付は、初期設定用 Web ブラウザの基本システム設定画面で設定された形式で表示されます。
※ 2　" 目標電力量［kWh］" および目標電力量値は、データがグラフに表示されている場合のみ表示されます。
※ 3　グループ名称のない場合は、" グループ " + グループ番号となります。ブロック名称のない場合は、" ブロック " + ブロック番号となります。
※ 4　データの区切り文字と小数点の区切り文字は、初期設定用 Web ブラウザの計測設定画面で選択された文字が使われます。
※ 5　行数は選択された日付範囲によって異なります。（日 : 5 ～ 28 行目、月 : 5 ～ 35 行目、年 : 5 ～ 16 行目）</td></tr>
</table>

項目	内容
ダウンロード	■ファイル例（対象がブロックの場合） 日付範囲：日 401 2014/08/19:2013/06/01 ブロック 1/ ブロック 5 時刻 , ブロック 1 - 室内機電力量［kWh］, ブロック 5 - 室内機電力量［kWh］, ブロック 1 – 外気温度［℃］, ブロック 5 - 外気温度［℃］ 00:00,0.61,0.25,23.2,17.8 01:00,0.65,0.51,23.1,17.6 02:00,0.66,0.48,22.1,18.1 日付範囲：月 402 2014/08:2013/06 ブロック 1/ ブロック 5 日 , ブロック 1 - 室内機電力量［kWh］, ブロック 5 - 室内機電力量［kWh］, 目標電力量［kWh］, ブロック 1 – 外気温度［℃］, ブロック 5 - 外気温度［℃］ 01,24.69,8.74,22,26.2,17.9 02,25.31,8.22,22,27,17.4 03,12.36,22.33,10,25.2,16.6 日付範囲：年 403 2014:2013 ブロック 1/ ブロック 5 月 , ブロック 1 - 室内機電力量［kWh］, ブロック 5 - 室内機電力量［kWh］, 目標電力量［kWh］, ブロック 1 – 外気温度［℃］, ブロック 5 - 外気温度［℃］ 01,675.17,661.93,600,0.4,0.5 02,697.38,683.71,700,0.3,3.2 03,528.63,518.26,400,4.5,3.8

3-2-2. ランキング

ランキング画面では、室内ユニットの電力使用量と FAN 運転時間、サーモ ON 時間（合計、冷房、暖房）を、ブロック、グループおよびユニットアドレスごとに電力使用量、FAN 運転時間、サーモ ON 時間の多い順に画面上から棒グラフで表示できます。

項目	内容
日付範囲	[**日**][**月**] または [**年**] を選択します。 **お願い** ・ [**日**] を選択した場合、その日の 1 日のランキンググラフを表示します。 ・ [**月**] を選択した場合、その月の 1 カ月間のランキンググラフを表示します。 ・ [**年**] を選択した場合、その年の 1 年間のランキンググラフを表示します。 ・ [**日付範囲**] を変更すると、選択した [**表示単位**]、[**日付**]、「表示項目」がすべてクリアされます。 **お知らせ** ・ グラフに表示されるのは、AE-200J/AE-50J/EW-50J の電源が入っていた間のみです。AE-200J/AE-50J/EW-50J の電源が切れていた間のデータは表示されません。
表示単位	グラフを表示する対象の単位を [**ブロック**]、[**グループ**]、または [**アドレス**] から選択します。クリックするとプルダウンメニューが表示されます。

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>日付</td><td>グラフを表示するデータの日付を指定します。
クリックするとプルダウンメニューで「日」または「月」または「年」を選択します。

お願い
・日付範囲で [日] を選択した場合、当月から過去 24 ヶ月までの間で年月日「yyyy/mm/dd」を指定します。
・日付範囲で [月] を選択した場合、現在月から過去 24 ヶ月までの間で年月「yyyy/mm」を指定します。
・日付範囲で [年] を選択した場合、現在年から過去 5 年までの間で年「yyyy」を指定します。

お知らせ
・日付は、基本システム設定画面で設定された形式で表示されます。
・グラフに表示されるのは、AE-200J/AE-50J の電源が入っていた間のデータのみです。AE-200J/AE-50J/EW-50J の電源が切れていた間のデータは表示されません。</td></tr>
<tr><td>表示項目</td><td>ランキンググラフに表示する項目を指定します。

お知らせ
・「表示単位」で選択した項目により、選択可能な表示項目が変わります。
<table><tr><th rowspan="2">表示項目</th><th colspan="3">表示単位</th></tr><tr><th>アドレス</th><th>グループ</th><th>ブロック</th></tr><tr><td>電力量（kWh）</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>FAN 運転時間（分）</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td></tr><tr><td>サーモ ON 時間（合計）（分）</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td></tr><tr><td>サーモ ON 時間（冷房）（分）</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td></tr><tr><td>サーモ ON 時間（暖房）（分）</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td></tr></table>○：グラフに表示可能な項目</td></tr>
<tr><td>表示の更新</td><td>クリックすると、指定した条件に基づいてグラフが表示されます。

お知らせ
・対象データが存在しない場合、グラフは表示されません。</td></tr>
<tr><td>ランキンググラフ</td><td>データが、棒グラフで表示されます。
<table><tr><th>積算値</th><th>積算値（目標超過分）</th><th>目標値</th></tr><tr><td>（黄色）</td><td>（オレンジ色）
目標値を超えた部分は
オレンジ色で表示されます。</td><td>（灰色枠
＋
右上端に赤色三角
表示）</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>目標値</td><td>目標値の位置に、赤色の三角印を表示します。

お知らせ
・「表示単位」が [ブロック] のとき、かつ「日付範囲」が [月]、[年] の場合のみ表示されます。
・目標値が設定されていない場合、および 0 のときは表示されません。</td></tr>
<tr><td>単位・目盛</td><td>ランキンググラフの単位と目盛が表示されます。

お知らせ
・「表示項目」にあわせた単位が表示されます。
・目盛はデータの最大値に合わせて自動的に調整されます。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>ダウンロード</td><td>
[ダウンロード] をクリックすると、表示されているランキングデータを CSV 形式で出力します。
選択された日付範囲により、以下に示すファイル名と形式で出力されます。

■ファイル名

日付範囲：年
"EM_AnnualRanking_"(yyyy)"_"(表示単位)"_"(ランキンググラフの種類).csv

日付範囲：月
"EM_MonthlyRanking_"(yyyy)"-"(mm)"_"(表示単位)"_"(ランキンググラフの種類).csv

日付範囲：日
"EM_DailyRanking_"(yyyy)"-"(mm)"-"(dd)"_"(表示単位)"_"(ランキンググラフの種類).csv

<table>
<tr><th>ファイル名の内容</th><th colspan="2">形式</th></tr>
<tr><td>(dd)</td><td colspan="2">「日付」で指定した日</td></tr>
<tr><td>(mm)</td><td colspan="2">「日付」で指定した月</td></tr>
<tr><td>(yyyy)</td><td colspan="2">「日付」で指定した年</td></tr>
<tr><td rowspan="3">(表示単位)</td><td>アドレス</td><td>"A999"</td></tr>
<tr><td>グループ</td><td>"G999"</td></tr>
<tr><td>ブロック</td><td>"B999"</td></tr>
<tr><td rowspan="5">(ランキンググラフの種類)</td><td colspan="2">"B01"：電力量（室内ユニット）</td></tr>
<tr><td colspan="2">"B02"：ファン運転時間</td></tr>
<tr><td colspan="2">"B03"：サーモ ON 時間（合計）</td></tr>
<tr><td colspan="2">"B04"：サーモ ON 時間（冷房）</td></tr>
<tr><td colspan="2">"B05"：サーモ ON 時間（暖房）</td></tr>
</table>

■ファイル形式
<table>
<tr><th>行</th><th>項目</th><th>日付範囲</th><th colspan="2">形式</th></tr>
<tr><td rowspan="3">1 行目</td><td rowspan="3">ファイル区分</td><td>日</td><td colspan="2">404</td></tr>
<tr><td>月</td><td colspan="2">405</td></tr>
<tr><td>年</td><td colspan="2">406</td></tr>
<tr><td rowspan="3">2 行目</td><td rowspan="3">日付</td><td>日</td><td colspan="2">yyyy/mm/dd ※ 1</td></tr>
<tr><td>月</td><td colspan="2">yyyy/mm ※ 1</td></tr>
<tr><td>年</td><td colspan="2">yyyy</td></tr>
<tr><td rowspan="3">3 行目</td><td colspan="2" rowspan="3">表示単位</td><td>アドレス</td><td>" 全アドレス "</td></tr>
<tr><td>グループ</td><td>" 全グループ "</td></tr>
<tr><td>ブロック</td><td>" 全ブロック "</td></tr>
<tr><td rowspan="3">4 行目</td><td colspan="2" rowspan="3">計測項目</td><td>アドレス</td><td>" アドレス番号 ", 表示項目</td></tr>
<tr><td>グループ</td><td>" グループ名称※ 2", 表示項目</td></tr>
<tr><td>ブロック</td><td>" ブロック名称※ 2", 表示項目 ,
" 目標電力量［kWh］" ※ 3</td></tr>
<tr><td rowspan="3">5～28 行目</td><td colspan="2" rowspan="3">データ※ 4</td><td>アドレス</td><td>アドレス番号 , データ値</td></tr>
<tr><td>グループ</td><td>グループ名称※ 2, データ値</td></tr>
<tr><td>ブロック</td><td>ブロック名称※ 2, データ値 ,
目標電力量値※ 3</td></tr>
</table>
※ 1　日付は、初期設定用 Web ブラウザの基本システム設定画面で設定された形式で表示されます。
※ 2　"Target electric energy(kWh)" および目標電力量値は、データがグラフに表示されている場合のみ表示されます。
※ 3　データの区切り文字と小数点の区切り文字は、初期設定用 Web ブラウザの計測設定画面で選択された文字が使われます。
</td></tr>
</table>

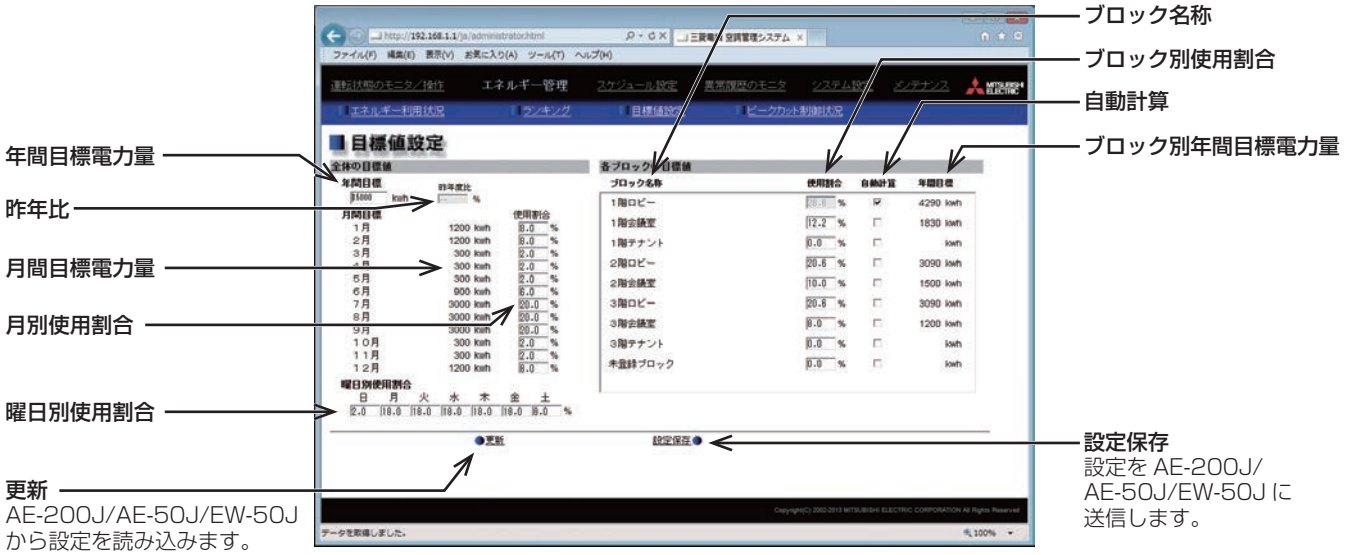
項目	内容
ダウンロード	■ファイル例 日付範囲：日 404 2014/06/01 全ブロック ブロック名称 , 室内機電力量 [kWh], 目標電力量 [kWh] ブロック 1,25.19,21.2 ブロック 5,19.58,18.13 ブロック 3,11.2,16.9 ブロック 6,6.19,5.24 ブロック 2,5.98,10.96 日付範囲：月 405 2014/06 全ブロック ブロック名称 , 室内機電力量 [kWh], 目標電力量 [kWh] ブロック 1,780.89,657.2 ブロック 5,606.98,562.03 ブロック 3,347.2,523.9 ブロック 6,191.89,162.44 ブロック 2,185.38,339.76 日付範囲：年 406 2014 全ブロック ブロック名称 , 室内機電力量 [kWh], 目標電力量 [kWh] ブロック 1,9370.68,7886.4 ブロック 5,7283.76,6744.36 ブロック 3,4166.4,6286.8 ブロック 6,2302.68,1949.28 ブロック 2,2224.56,4077.12:

3-2-3. 目標値設定

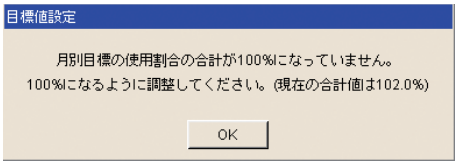
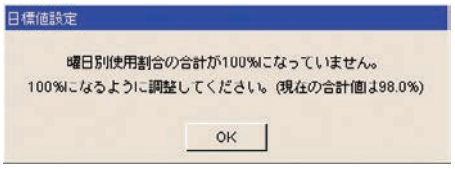
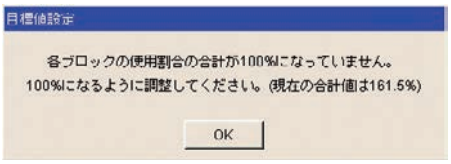
目標値設定画面では、エネルギー利用状況画面、ランキング画面で表示される目標値を設定します。
目標値は、年間の総電力使用量の目標値をはじめに設定し、月ごとに割合を設定、また曜日ごとに割合を設定し、1 日の目標電力量を自動で計算します。年間目標値は、1 月～ 12 月までの総使用電力量です。
自動計算された 1 日の目標電力量を、さらにブロックごとに設定した割合により、ブロックごとの目標電力量を自動計算します。
1 日ごとに目標値を電力量を入力する必要はなく、割合だけを入力すれば、自動的に計算でブロックごとの目標電力量が計算されるので、目標値（電力量）の設定を容易に行うことができます。

お知らせ

- 目標値設定はすべてのユニットの立ち上げが終わって、正常に接続している状態で行ってください。
- AE-200J、AE-50J でそれぞれ個別に目標値を設定してください。
- 月別使用割合、曜日別使用割合、室内ユニットの割合は、それぞれの合計が 100% になるように設定してください。合計が 100% にならない場合は設定ができません。
- 各ブロックの割合を自動計算した場合、端数処理の関係上、同一能力のユニットが同一台数あるブロックが複数あった場合に、ブロック間で割合が一致せず、ずれが生じることがあります。

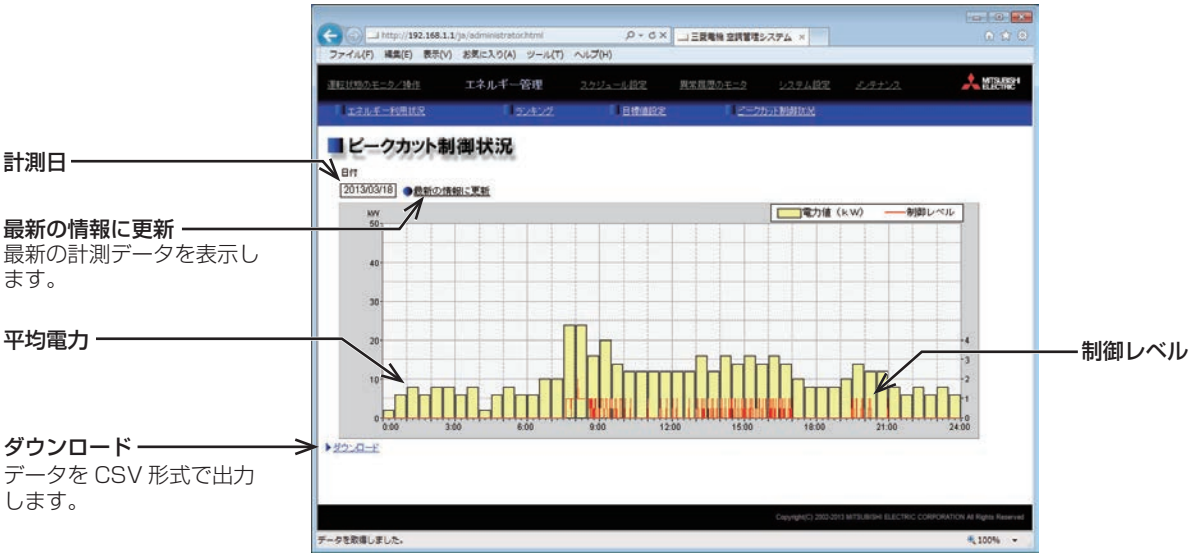


項目	内容
年間目標電力量	年間の目標電力量を入力します。
昨年比	前年の電力消費量に対する今年の年間目標電力量の割合を入力します。 **お知らせ** ・昨年の実績（データ）がない場合は、「--」で表示されます。 ・昨年の実績がある場合は、年替り時に昨年の年間目標電力量と昨年の実績との比率を自動的に表示します。 昨年比を 100%に設定した時は、年間目標電力量は昨年の実績の電力量となります。
月間目標電力量	年間目標電力量と月別使用割合から、自動で計算された月間目標電力量を表示します。

項目	内容
月別使用割合	年間目標電力量に対する月ごとの目標使用割合を入力します。 **お願い** ・各割合は、0.0 ～ 100.0% の範囲で設定してください。 ・各割合の合計が 100% になるように設定してください。合計が 100% でない場合は、以下のような現在合計値を示す画面が表示され、設定が保存されません。  **お知らせ** ・割合を入力すると、月間目標電力量の数値が、「年間目標」電力量の数値に基づき自動的に算出されます。
曜日別使用割合	曜日ごとの目標電力使用割合を入力します。 **お願い** ・各割合の合計が 100% になるように設定してください。合計が 100% でない場合は、以下のような現在合計値を示す画面が表示され、設定が保存されません。  **お知らせ** ・各割合が入力されると、再計算の結果、月間目標電力量の数値が変わることがあります。
ブロック名称	登録されている全ブロックの名称が表示されます。 **お知らせ** ・ブロック名称が未登録の場合は、**[(ブロック)+ ブロック番号]** が表示されます。
ブロック別使用割合	ブロックごとの目標電力使用割合を入力します。 **お願い** ・**[自動計算]** のチェックボックスにチェックが入っている場合は、割合の入力はできません。割合を入力したい場合は、**[自動計算]** のチェックボックスを解除してください。 ・各割合の合計が 100% になるように設定してください。合計が 100% でない場合は、以下のような現在合計値を示す画面が表示され、設定が保存されません。 
自動計算	チェックボックスにチェックを入れると、電力の使用割合とブロック別年間目標電力量が、室内ユニットの容量に基づき自動的に算出されます。 **お知らせ** ・自動計算は、室内ユニットの能力（容量）から自動的に割合を計算します。前年の実績がなく、どのブロックがどれだけ電力を使用するか不明で、目標がたてにくい場合に、自動計算によりブロック別使用割合を設定する方法があります。
ブロック別年間目標電力量	ブロック別年間目標電力量は、ブロック別「使用割合」に入力された割合と、「年間目標」電力量に入力された数値に基づき算出された値が表示されます。

3-2-4. ピークカット制御状況

ここではピークカット制御状況を確認する方法について説明します。
メニューの **[エネルギー管理]** − **[ピークカット制御状況]** をクリックしてピークカット制御状況画面を開きます。
平均消費電力（kW）と制御レベルがグラフに表示されます。この画面から、計測データを CSV 形式で出力することができます。



項目	内容
最新の情報に更新	クリックすると、最新の計測データが表示されます。
計測日	計測日を選択します。 お知らせ • データは当日を含む過去 3 日間分が表示可能です。
平均電力	平均消費電力（kW）が、30 分単位で表示されます。 お知らせ • 平均消費電力のデータは、毎時 00 分と 30 分に保存されます。したがって、停電が発生した場合、最大 30 分間のデータが失われます。 • 平均消費電力のグラフは、初期設定用 Web ブラウザのピークカット設定画面で、ピークカット方式が **[電力量カウント PLC]**、**[計量用計測コントローラ]** に設定されている場合のみ表示されます。
制御レベル	ピークカット制御レベルが表示されます。

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>ダウンロード</td><td>
[ダウンロード] をクリックすると、計測データを CSV 形式で出力します。

■ファイル名
Peakcut_(yyyy)-(mm)-(dd).csv
<table>
<tr><th>ファイル名の内容</th><th>形式</th></tr>
<tr><td>(yyyy)</td><td>「計測日」で指定した年</td></tr>
<tr><td>(mm)</td><td>「計測日」で指定した月</td></tr>
<tr><td>(dd)</td><td>「計測日」で指定した日</td></tr>
</table>
■ファイル形式
<table>
<tr><th>行</th><th>項目</th><th>形式</th></tr>
<tr><td>1 行目</td><td>ファイル区分</td><td>123</td></tr>
<tr><td>2 行目</td><td>日付</td><td>yyyy/mm/dd ※ 1</td></tr>
<tr><td>3 行目</td><td>対象</td><td>" ピークカット電力 "</td></tr>
<tr><td>4 行目</td><td>計測項目</td><td>" 時刻 , 電力値 (kW), 制御レベル "</td></tr>
<tr><td>5 行目～</td><td>データ</td><td>hh:mm (1 分間隔), 平均電力値 , 制御レベル
お知らせ
• 平均電力値 (kW) は 30 分間の平均電力が 30 分間隔で出力されます。</td></tr>
</table>
※ 1　日付は、初期設定用 Web ブラウザの基本システム設定画面で設定された形式で表示されます。
</td></tr>
<tr><td></td><td>
■ファイル例

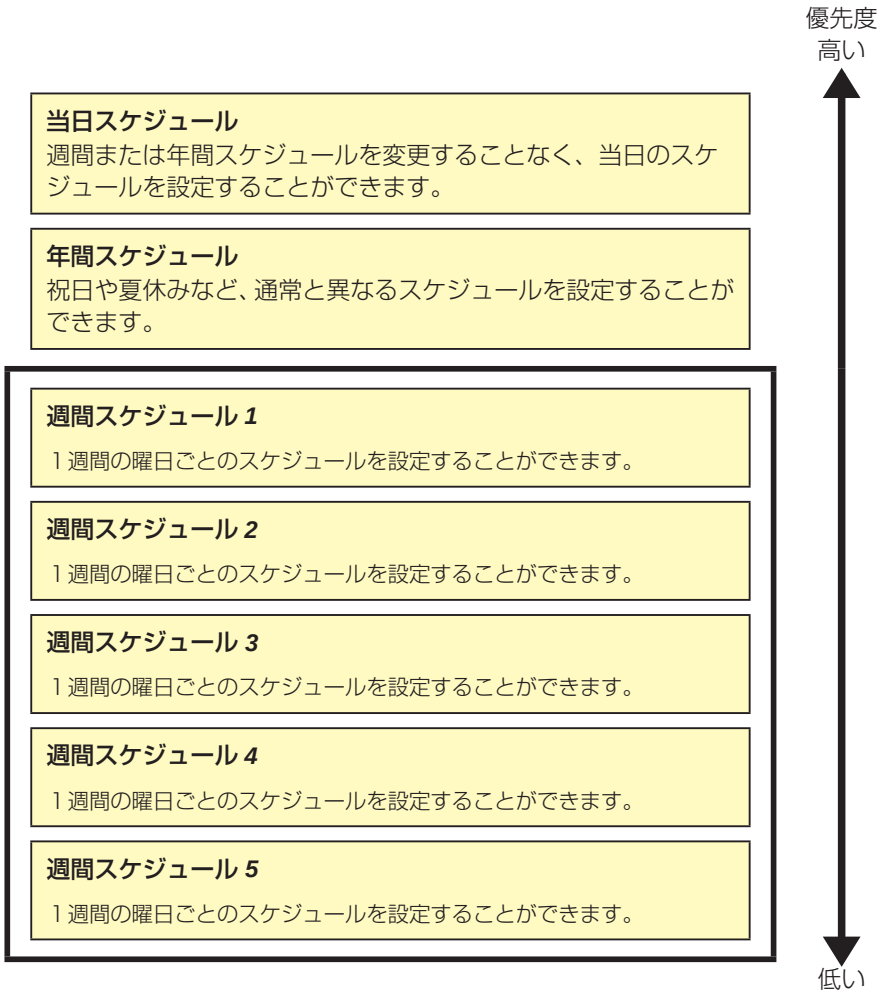
123
2015/06/01
ピークカット電力
時刻 , 電力値 (kW), 制御レベル
00:00,8,1
00:01,8,1
00:02,8,1
:
:
23:58,6,1
23:59,6,1
</td></tr>
</table>

3-3. スケジュール設定

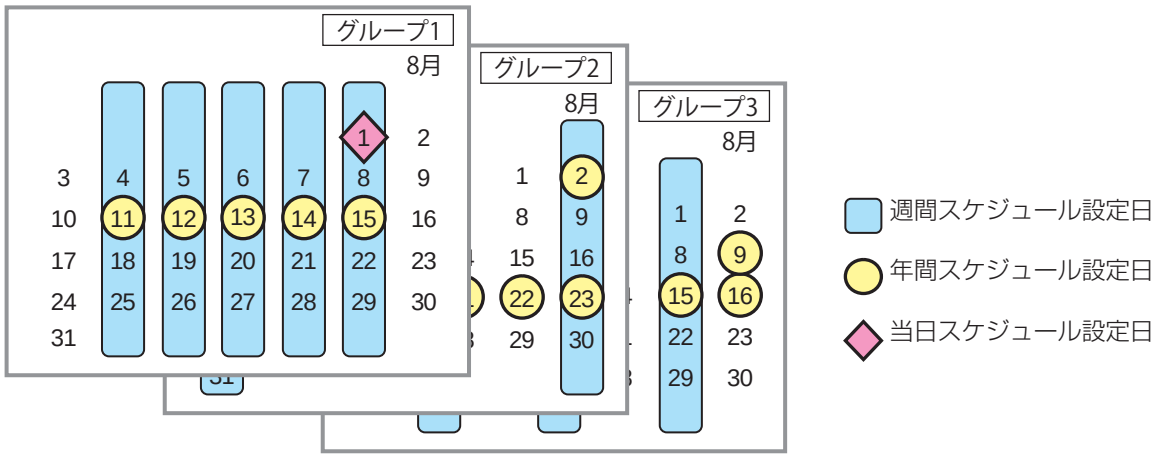
[週間設定 1]、**[週間設定 2]**、**[週間設定 3]**、**[週間設定 4]**、**[週間設定 5]**、**[年間設定]**、および **[当日変更]** の機能が利用可能です。

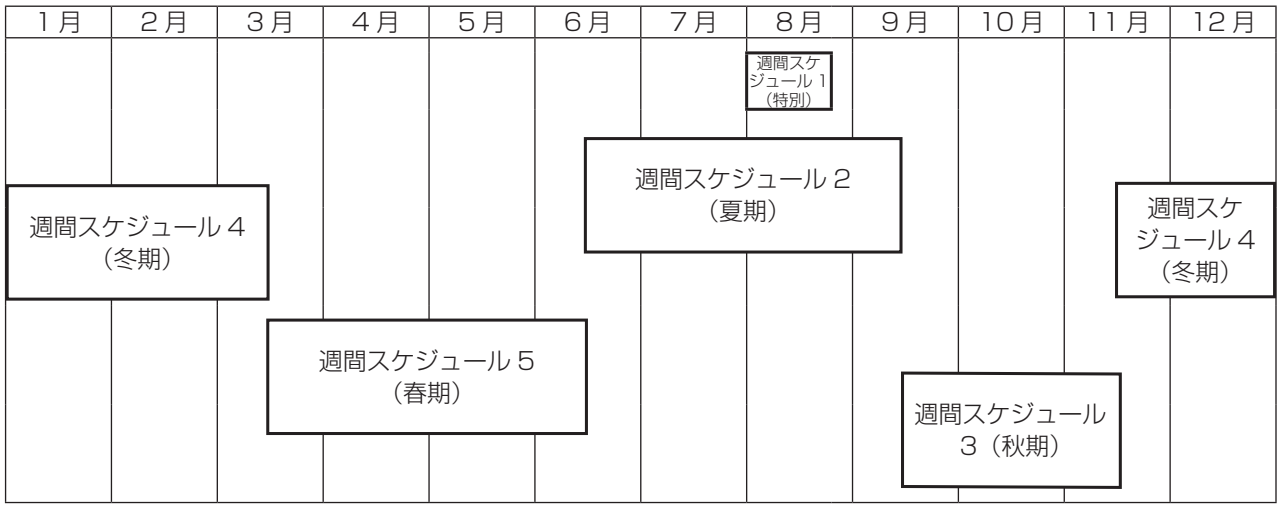
お知らせ

・ スケジュールの期間が重なる場合は、下図のとおり、優先度が最も高いスケジュールが実行されます。



スケジュールはグループごと、ブロックごと、または全グループに対して設定可能です。





お知らせ

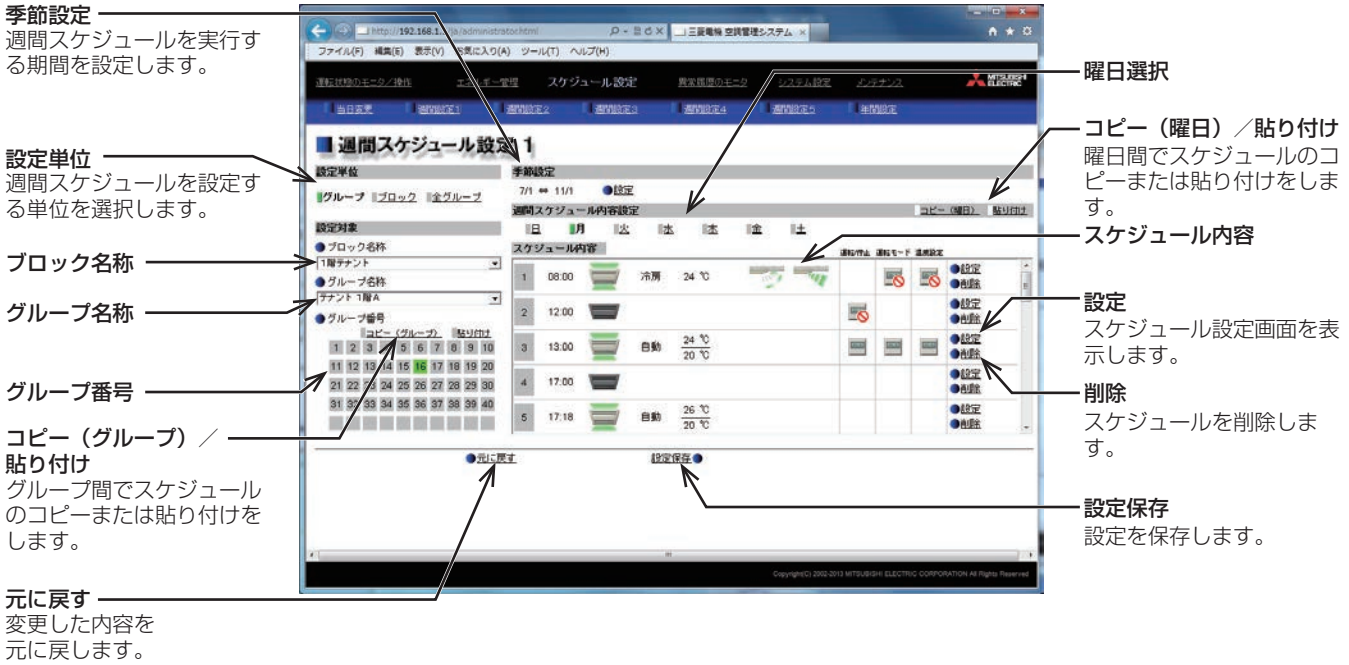
- 上記の図は、各週間スケジュール設定の期間が以下の日付に設定されている場合の例を示したものです。
  週間スケジュール 1 : 8 月 1 日～ 8 月 20 日
  週間スケジュール 2 : 6 月 16 日～ 9 月 15 日
  週間スケジュール 3 : 9 月 16 日～ 11 月 15 日
  週間スケジュール 4 : 11 月 16 日～ 3 月 15 日
  週間スケジュール 5 : 3 月 16 日～ 6 月 15 日
- 週間スケジュール 1 ～ 5 のいずれかの期間が重なる場合は、番号の小さいスケジュールが優先されます。たとえば、週間スケジュール 1 と週間スケジュール 2 が重なる場合は、スケジュール 1 が優先されます。

3-3-1. 週間スケジュール設定

メニューの [**スケジュール設定**] − [**週間設定 1**]、[**週間設定 2**]、[**週間設定 3**]、[**週間設定 4**]、または [**週間設定 5**] をクリックして選択した週間スケジュールの設定画面を開きます。
週間スケジュール設定画面では、曜日ごとにスケジュールを設定できます。

お知らせ

- 操作画面でスケジュール無効としたグループは、スケジュール内容を設定できますが、週間スケジュールは動作しません。
- 「スケジュール季節設定」を [**無効**] にした場合、週間スケジュールは [**週間設定 1**] のみ使用可能です。
  週間スケジュール 2 ～ 5 にスケジュールが設定されていても実行されません。



[1] スケジュールを設定する対象を選択する

(1) 特定のグループを選択する

手順

1. 「設定単位」から [**グループ**] を選択します。

2. スケジュールを設定したいグループが属するブロック名を選択し、グループ名称を選択します。また、直接グループ名称とグループ番号を選択することもできます。
   選択したグループにスケジュールが設定されている場合は、その内容が「スケジュール内容」に表示されます。

お知らせ

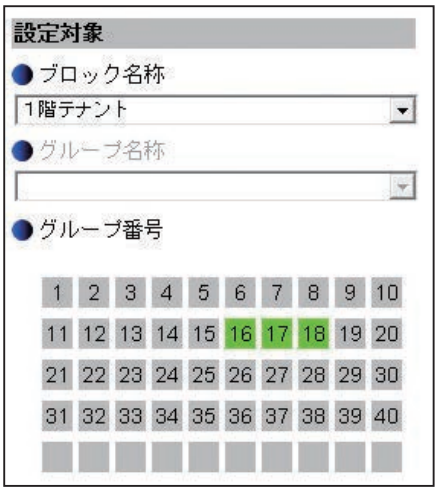
- 1 グループごとに設定を行います。設定済みのグループのスケジュールを、別のグループにコピーする場合は、コピー元のグループの番号を選択してから [**コピー（グループ）**] をクリックし、コピー先のグループの番号を選択して [**貼り付け**] をクリックします。

(2) 特定のブロックを選択する

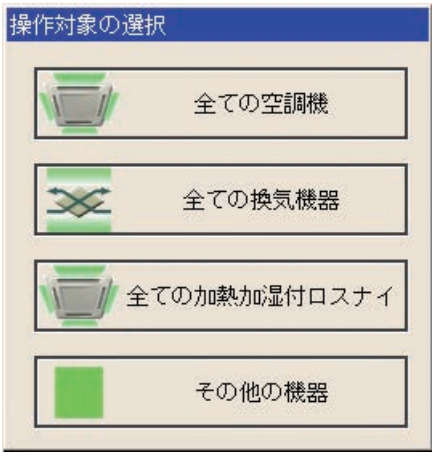
手順

1. 「設定単位」から **[ブロック]** を選択します。

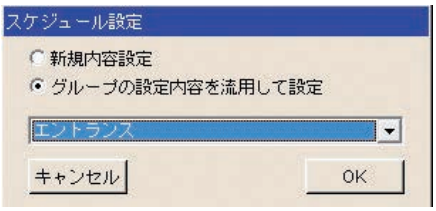
2. ブロック名称またはそのブロックに属するグループのうち、どれか 1 つのグループ番号をクリックすると、そのブロック名称が自動的に表示されます。（選択したグループがどのブロックにも属していない場合、ブロック名称は自動表示されません。）



3. 空調機グループ、ロスナイグループ、加熱加湿付ロスナイグループ、および汎用機器グループが同一ブロック内に混在している場合、機器を選択する画面が表示されます。
4. スケジュールを設定したい機器をクリックします。



5. スケジュール設定画面が表示されます。
スケジュールを新規で作成する場合は、**[新規内容設定]** のラジオボタンをクリックし、**[OK]** をクリックします。
別のグループの既存設定に基づきスケジュールを作成する場合は、**[グループの設定内容を流用して設定]** のラジオボタンをクリックし、流用元のグループ名を選択してから **[OK]** をクリックします。選択したグループに設定されているスケジュール内容が「スケジュール内容」に表示されます。

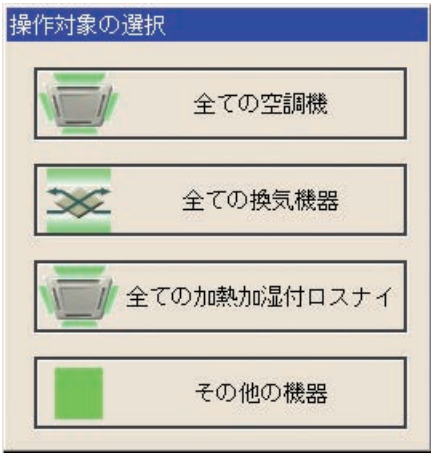


(3) 全グループを選択する

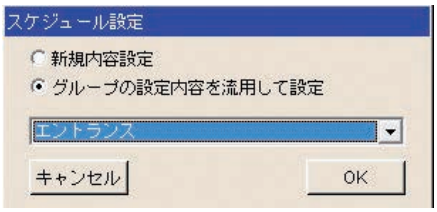
手順

1. 「設定単位」から **[全グループ]** を選択します。

2. 空調機グループ、ロスナイグループ、加熱加湿付ロスナイグループ、および汎用機器グループが全グループ内に混在している場合は、機器を選択する画面が表示されます。
スケジュールを設定したい機器をクリックします。



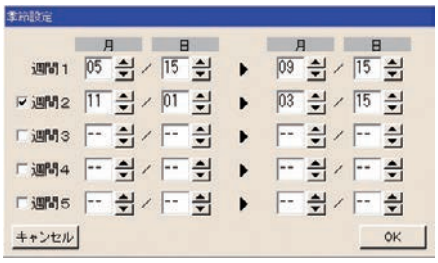
3. スケジュール設定画面が表示されます。
スケジュールを新規で作成する場合は、**[新規内容設定]** のラジオボタンをクリックし、**[OK]** をクリックします。
別のグループの既存設定に基づきスケジュールを作成する場合は、**[グループの設定内容を流用して設定]** のラジオボタンをクリックし、流用元のグループ名を選択してから **[OK]** をクリックします。選択したグループに設定されているスケジュール内容が「スケジュール内容」に表示されます。



[2] スケジュール有効期間を設定する

手順

1. 「季節設定」で **[設定]** をクリックします。



2. 各週間スケジュールを有効とする期間を入力します。

3. 画面左のチェックボックスにチェックを入れると、その週間スケジュールの季節設定が有効となります。

お知らせ

- 初期設定用 Web ブラウザの基本システム設定画面の「季節スケジュール　期間設定」が **[無効]** に設定されている場合は、**[設定]** ボタンは非表示となり、季節設定は使用できません。
- 週間スケジュール設定 1 ～ 5 のいずれかの期間が重なる場合は、番号の小さいスケジュールが優先されます。たとえば、週間スケジュール設定 1 と週間スケジュール設定 5 が重なる場合は、週間スケジュール 1 が優先されます。

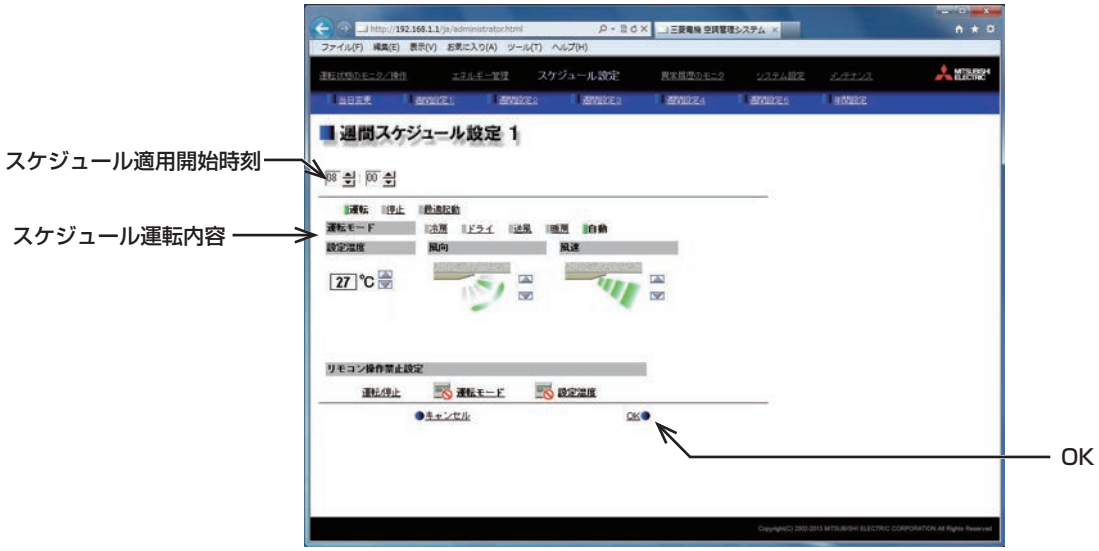
[3] 曜日を選択する

手順

1. 「週間スケジュール内容設定」で、スケジュールを設定したい曜日を選択します。

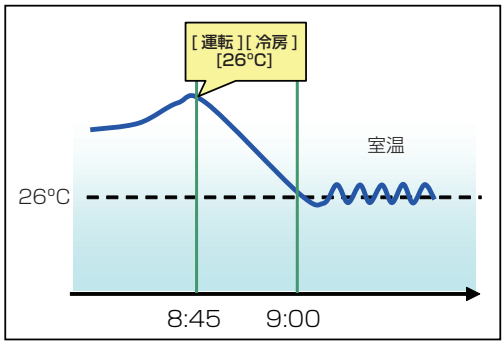
[4] スケジュール内容を設定する

「スケジュール内容」の **[設定]** をクリックすると、スケジュール設定画面が表示されます。

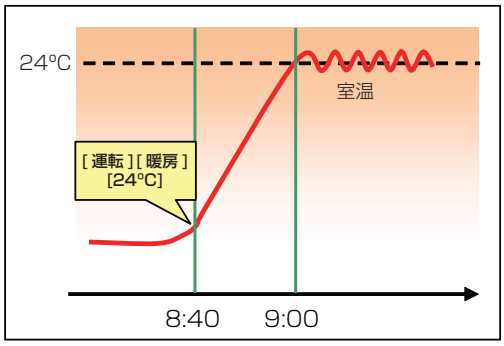


お知らせ

- 全グループ／ブロック一括選択時は、自動モードなどの運転モードが全て設定できるようになりますが、設定した空調機にその機能が無い場合には指定されたモードでは動作しません。設定の際は空調機の機能を考慮の上、スケジュール設定を行ってください。
- 空調機グループ、ロスナイグループ、加熱加湿付ロスナイグループ、汎用機器グループのグループ毎に設定できる運転内容が異なります。「3-1-5. 空調機・ロスナイ・汎用機器の操作を行う」参照（23 ページ）
- ロスナイの場合は、設定温度は表示されません。また、リモコン操作禁止項目は **[運転／停止]** のみとなります。
- 汎用機器は運転・停止のみ設定可能です。
- 加熱加湿付ロスナイグループの運転モードが暖房のときのみ加湿ボタンが表示され設定可能です。
- 最適起動について
  最適起動スケジュール機能とは、指定された時刻に指定された室温となるように空調機を 5 分～ 60 分前に運転させる機能です。最適起動スケジュールを利用したい場合、スケジュール内容設定画面の運転状態で **[最適起動]** を選択してください。
  - 初回起動時は、30 分前に運転を開始します。
  - 室温を空調機の吸込み温度センサーで計測している場合、空調機停止中は内部に空気がこもり、実際の室温と相違がでる場合があります。特に暖房モードで停止中の場合は、温度が高くなることがあります。実際の室温が正常に取得できていない場合は、室温検知センサーを外付けの温度センサー（PAC-SE40TS）やリモコンセンサーに切り替えてご利用ください。
  - 最適起動は空調機グループと加熱加湿付ロスナイに対してのみ選択可能です。



予冷制御例（9:00　26°C に設定した場合）



予熱制御例（9:00　24°C に設定した場合）

- **[最適起動]** を選択し、同時に「リモコン操作禁止設定」を禁止または許可に設定した場合は、リモコンでの操作が禁止または許可されるのは、スケジュール適用開始時刻からとなります。

[5] スケジュールをコピーする

手順

1. 曜日間でスケジュール内容をコピーする場合は、コピー元の曜日を選択してから **[コピー（曜日）]** をクリックし、コピー先の曜日を選択して **[貼り付け]** をクリックします。選択したボタン横の四角のアイコンが黄緑色で表示されます。

お知らせ

- 種類の異なるグループにコピーすることはできません。
  例えば、空調機グループのスケジュールをロスナイグループにコピーすることはできません。
- 貼り付け可能な運転モード、設定温度範囲は機種によって異なります。

[6] スケジュールを保存する

手順

1. スケジュールの設定が完了したら、**[設定保存]** をクリックしてスケジュールを保存します。
   スケジュール内容の変更を取り消す場合は、保存せずに **[元に戻す]** をクリックします。

3-3-2. 年間スケジュール設定

メニューの [**スケジュール設定**] − [**年間設定**] をクリックして年間スケジュール設定画面を開きます。
年間スケジュール設定画面では、祝日や夏期休暇のスケジュールを設定できます。
最大 5 つの運転パターン（パターン 1 ～ 5）を、当月を含む 24 ヶ月先までの範囲で合計 50 日間設定できます。

お知らせ

- 操作画面でスケジュール無効としたグループは、スケジュール内容を設定できますが、年間スケジュールは動作しません。

[1] スケジュールを設定する対象を選択する

手順

1. 「設定単位」と「設定対象」からスケジュールを適用する対象を選択します。
   「3-3-1. 週間スケジュール設定」参照（51 ページ）

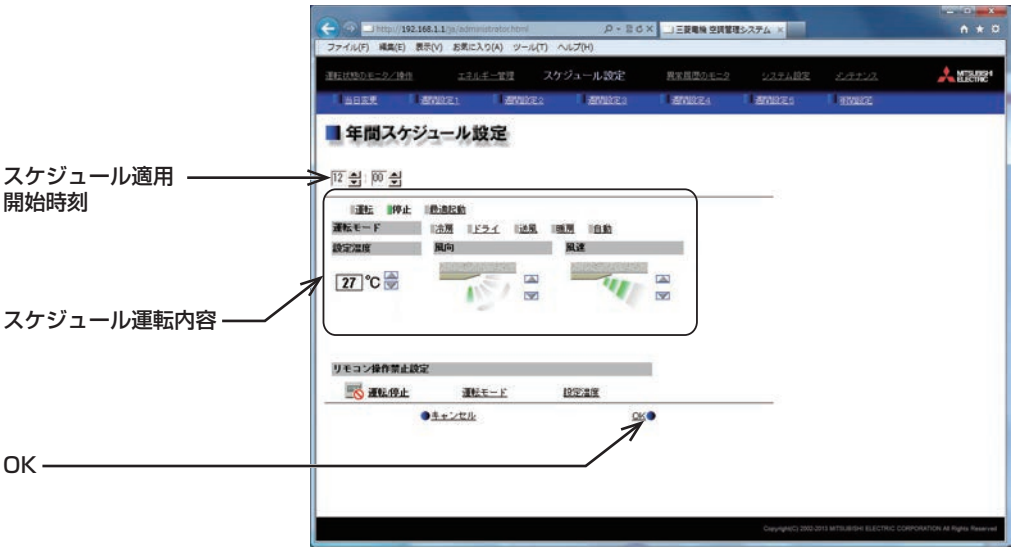
[2] スケジュールパターンを選択する

手順

1. 「年間スケジュールパターンの選択･設定」で、スケジュールを設定したいパターンを選択します。

[3] スケジュール内容を設定する

「スケジュール内容」の [**設定**] をクリックすると、スケジュール設定画面が表示されます。



手順

1. スケジュール適用開始時刻、およびスケジュール運転内容を設定し、**[OK]** を押します。
「3-3-1. 週間スケジュール設定 [4] スケジュール内容を設定する」の **手順** 参照（54 ページ）

[4] パターン割り当て日を設定する

手順

1. 設定したスケジュールパターンはそれぞれ、指定した特別日に割り当てることができます。
[パターン 1] ～ **[パターン 5]** から割り当てたいパターンをクリックし、次にカレンダー上で、パターンを割り当てたい「日付」をクリックして日付を選択します。選択した「日付」に、割り当てられたパターン番号が表示されます。
一度割り当てたパターンを解除したい場合は、**[パターン解除]** を選択し、対応する「日付」をクリックします。

[5] スケジュールをコピーする

手順

1. あるパターンのスケジュール設定をコピーして別のパターンに適用する場合は、コピー元のパターンを選択してから **[コピー（パターン）]** をクリックし、コピー先のパターンを選択して **[貼り付け]** をクリックします。選択したボタン横の四角のアイコンが黄緑色で表示されます。

お知らせ

- 種類の異なるグループにコピーすることはできません。
  たとえば、空調機グループのスケジュールをロスナイグループにコピーすることはできません。
- 使用可能な運転モードと設定温度範囲は機種によって異なるため、これらの設定はコピーできない場合があります。

[6] スケジュールを保存する

手順

1. スケジュールの設定が完了したら、**[設定保存]** をクリックしてスケジュールを保存します。
   スケジュール内容の変更を取り消す場合は、保存せずに **[元に戻す]** をクリックします。
   設定日を過ぎたスケジュールは、自動的に消去されます。

3-3-3. 当日スケジュール設定

メニューの **[スケジュール設定]** − **[当日変更]** をクリックして当日スケジュール変更設定画面を開きます。
当日スケジュール変更設定画面では、週間スケジュールや年間スケジュールを変更せずに、当日のスケジュールを設定することができます。

お知らせ

- 加熱加湿付ロスナイの場合、運転モードの位置に上段：運転モード・下段：換気モードが表示されます。また、風量の右側に加湿設定の状態が表示されます。

- 操作画面でスケジュール無効としたグループは、スケジュール内容を設定できますが、当日スケジュールは動作しません。

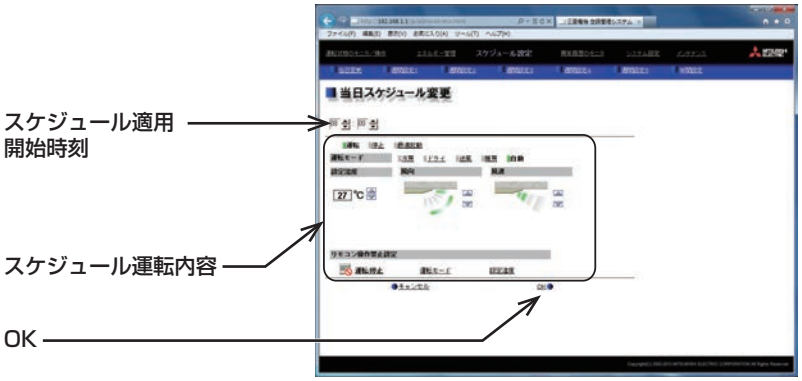
[1] スケジュールを設定する対象を選択する

手順

1. 当日スケジュールを設定する「設定単位」と「設定対象」を選択します。
「[1] スケジュールを設定する対象を選択する」参照（51 ページ）

[2] スケジュール内容を設定する

スケジュール内容欄の **[設定]** をクリックすると、スケジュール設定画面が表示されます。



手順

1. スケジュール適用開始時刻、およびスケジュール運転内容を設定し、**[OK]** を押します。
   空調機グループに対して設定できる運転内容は、運転／停止／最適起動、運転モード、設定温度、風向、風速、リモコン操作禁止設定です。
   1 日最大 24 個のイベントがスケジュール可能です。

お知らせ

・「3-3-1. 週間スケジュール設定 [4] スケジュール内容を設定する」の **手順** 参照（54 ページ）

[3] スケジュールを保存する

手順

1. スケジュールの設定が完了したら、**[設定保存]** をクリックしてスケジュールを保存します。
   スケジュール内容の変更を取り消す場合は、保存せずに **[元に戻す]** をクリックします。

3-4. 異常履歴のモニタ

3-4-1. ユニット異常・通信異常

メニューの **[異常履歴のモニタ]** − **[ユニット異常]** をクリックすると、最新 64 件のユニット異常が表示されます。また **[通信異常]** をクリックすると、最新 64 件の M-NET 通信異常が表示されます。

お知らせ

- Webページを表示しているAE-200J/AE-50J/EW-50Jのユニット異常と通信異常がそれぞれ最新の64件が表示されます。

項目	内容
ユニット異常	クリックすると、ユニット異常履歴が表示されます。
通信異常	クリックすると、通信異常履歴が表示されます。
最新の情報に更新	クリックすると、最新の異常履歴が表示されます。 **[自動]** を選択すると、異常履歴が 1 分間隔で自動更新されます。
異常履歴のクリア	クリックすると、異常履歴が消去されます。
異常コード一覧	クリックすると、異常コードおよび各コードの定義の一覧が表示されます。
異常発生日時	異常発生日時が表示されます。
異常発生元のユニットアドレス	異常が発生したユニットのアドレスが表示されます。
異常検出元のユニットアドレス	異常を検出したユニットのアドレスが表示されます。
異常コード	発生した異常に対応する異常コードが表示されます。
異常復旧日時	異常が復旧した日時を表示します。

3-5. システム設定

3-5-1. 現在時刻の設定

メニューの **[システム設定]** − **[現在時刻の設定]** をクリックして現在時刻の設定画面を開きます。
現在日時を入力後、**[設定保存]** をクリックして、設定を AE-200J/AE-50J/EW-50J に保存します。

お知らせ

- この画面で行った現在日時設定は、M-NET システムのすべてのユニットおよび「時刻マスタ設定」が **[サブ]** に設定された AE-200J に反映されます。
- 「時刻マスタ設定」が **[サブ]** に設定されている場合、この画面で日時を設定することはできません。
- この画面で時刻設定を行うと、M-NET 上の他のユニット、AE-50J、EW-50J、時刻マスタ設定が **[サブ]** に設定された AE-200J にも時刻が設定されます。

お願い

- AE-50J の設定は「マスタ」（工場出荷時）としてください。
- 日時設定は AE-200J から行ってください。AE-50J/EW-50J でも変更はできますが、1 日 1 回 AE-200J の時刻で上書きされます。AE-50J/EW-50J の交換時等のみ AE-50J/EW-50J の日時設定を行ってください。

現在日時設定
現在の日時を入力します。

更新
AE-200J/AE-50J/EW-50J から現在の日時を読み込みます。

設定保存
変更した設定を保存します。

手順

現在日時を入力します。

3-5-2. ユーザー登録

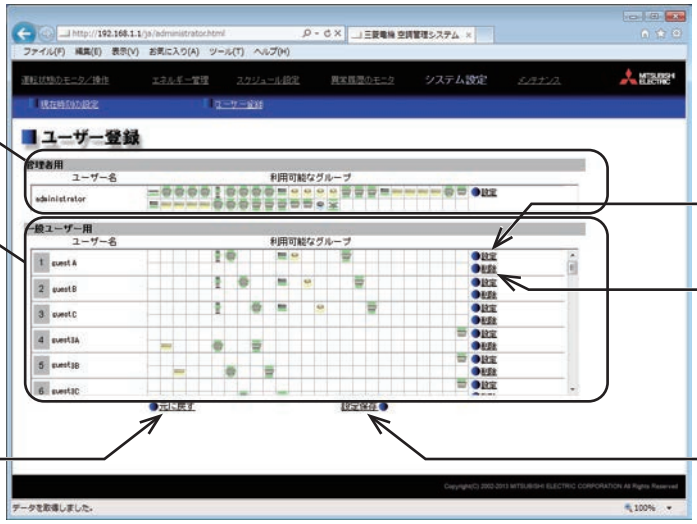
ユーザー登録画面では、管理者ユーザーのユーザー名とパスワードを変更することができます。「個人用ブラウザ」ライセンスが登録されている場合は、最大 50 名の一般ユーザーを登録し、各ユーザーで設定可能なグループを設定することができます。
メニューの [**システム設定**] – [**ユーザー登録**] をクリックしてユーザー登録画面を開きます。

お知らせ

- 管理者ユーザーのユーザー名とパスワードは、管理者用 Web ブラウザと初期設定用 Web ブラウザで共通です。

お願い

- AE-200J、AE-50J、EW-50J それぞれでユーザーの登録をしてください。



管理者ユーザーのユーザー名と利用可能なユニットグループのアイコン

一般ユーザーのユーザー名と利用可能なユニットグループのアイコン

設定
ユーザ情報を編集します。

削除
ユーザ情報を削除します。

元に戻す
変更した内容を元に戻します。

設定保存
設定を保存します。

※ グループアイコンにカーソルを合わせるとグループ名称が表示されます。

手順

1. ユーザー情報欄の [**設定**] ボタンをクリックすると、ユーザー情報設定画面が表示されますので、ユーザー名、パスワードを入力し、操作可能なグループを選択して、[OK] ボタンをクリックします。

お知らせ

- 一般ユーザーがログインしたとき、ここで指定したグループのみ操作可能となります。
- 管理者用ユーザーは常に全グループが操作可能であるため、操作可能なグループを選択することはできません。
- ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字を区別します。

2. 設定が完了したら、[**設定保存**] をクリックして設定内容を保存します。
[**設定保存**] ボタンを押さないと、変更した内容は反映されません。
設定の変更を取り消したい場合は、保存せずに [**元に戻す**] をクリックします。

3-6. メンテナンス

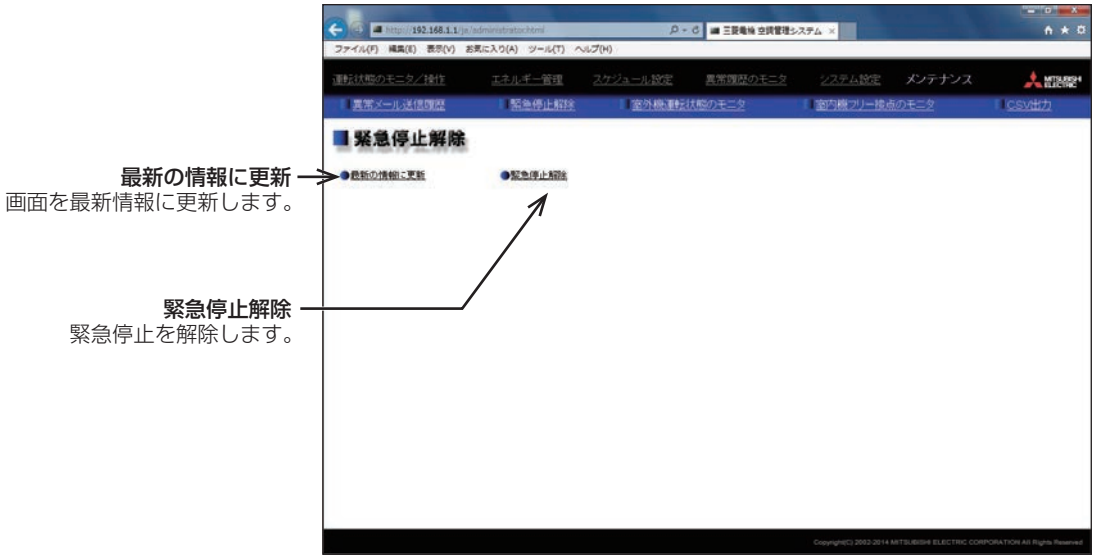
3-6-1. 異常メールの送信履歴

メニューの **[メンテナンス]** − **[異常メール送信履歴]** をクリックして異常メール送信履歴画面を開きます。この画面では、送信済みの異常メール通報の一覧を確認できます。
異常メール通報機能は、異常発生時に指定のメールアドレスに異常情報を送信する機能です。この機能を利用するには、初期設定用 Web ブラウザでメール設定を行う必要があります。

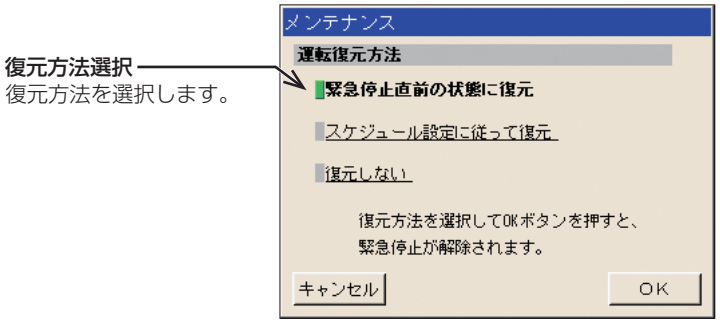
項目	内容
最新の情報に更新	クリックすると、最新のメール送信履歴が表示されます。 **[自動]** を選択すると、メール送信履歴が 1 分間隔で自動更新されます。
メール送信履歴のクリア	クリックすると、メール送信履歴が消去されます。
メール送信日時	メールの送信日時が表示されます。
異常発生元の ユニットアドレス	異常発生元ユニットのアドレスが表示されます。 **お知らせ** • PLC に接続された汎用機器の異常が発生した場合は、汎用制御 PLC の番号（初期設定 Web で PLC の異常メールを設定した時の行番号 1 ～ 20）と汎用機器番号（汎用制御 PLC が管理している最大 32 台までの汎用機器の番号）が表示されます。（例 : PLC1-32） • 汎用インターフェース（PAC-YG66DC）に接続された汎用機器の異常が発生した場合は、汎用インターフェースのアドレスが表示されます（汎用インターフェースに接続されたいずれかの汎用機器の異常が発生したことが分かります）
異常コード	発生した異常に対応する異常コードが表示されます。
異常状態	異常発生：異常が発生した際にメールが送信されました。 異常復旧：異常が解決した際にメールが送信されました。
メール送信結果	OK：メールが正常に送信されました。 NG：メールの送信に失敗しました。

3-6-2. 緊急停止解除

メニューの **[メンテナンス]** をクリックし、**[緊急停止解除]** をクリックすると緊急停止解除画面が表示されます。
緊急停止解除画面は、AE-200J/AE-50J/EW-50J の外部入力の設定を「緊急停止　復元モード (レベル入力)」で使用する場合に上位機器 (Facima BA System ※) から緊急停止解除ができない状態のときに、管理者が緊急停止を解除するための画面です。
※ Facima BA System については三菱電機ビルテクノサービス株式会社に問い合わせてください。



項目	内容
最新の情報に更新	**[最新の情報に更新]** をクリックすると、画面が最新の情報に更新されます。
緊急停止解除	**[緊急停止解除]** をクリックすると、復元方法の選択画面が表示されます。 お知らせ ・ **[緊急停止解除]** は外部入力を **[緊急停止　復元モード (レベル入力)]** に設定し、かつ解除待ちの状態の時のみ表示されます。



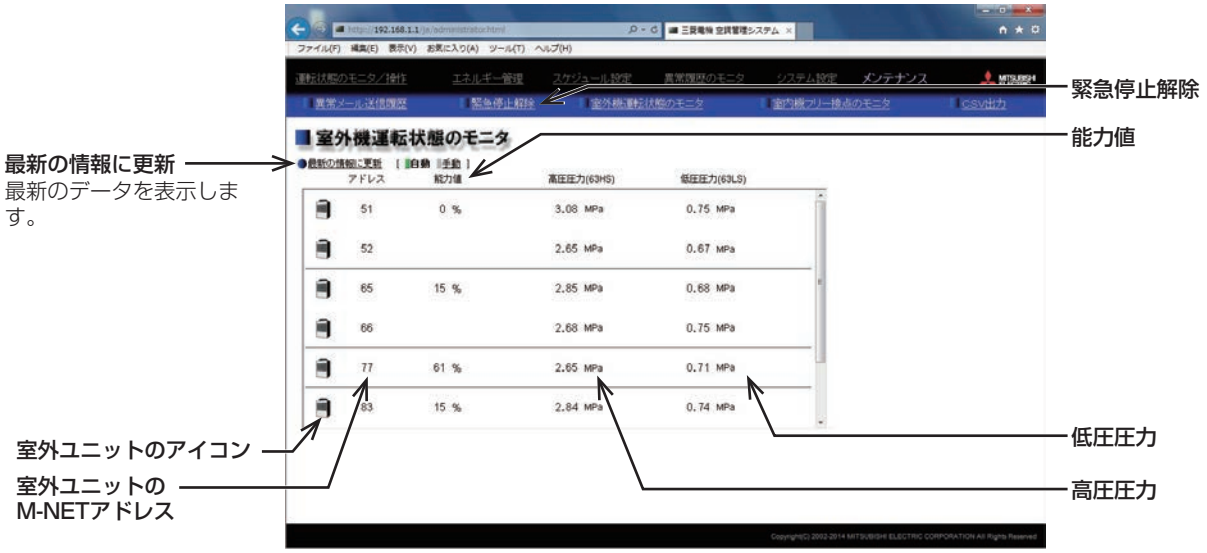
項目	内容
復元方法選択ボタン	復元方法を選択して **[OK]** をクリックすると、緊急停止が解除されます。 **[緊急停止直前の状態に復元]** ： 運転 / 停止 (/24 時間換気) を緊急停止直前の状態に復元します。 **[スケジュール設定に従って復元]** ： 緊急停止中に実行されたスケジュールによる運転 / 停止 (24 時間換気) に従い復元します。 (緊急停止中にスケジュール実行がなかった場合は緊急停止直前の状態に復元します。) **[復元しない]** ： 運転 / 停止 (/24 時間換気) の復元を行いません。

3-6-3. 室外機運転状態のモニタ

室外機運転状態のモニタ画面では、各室外ユニットの能力値、高圧圧力、および低圧圧力を確認することができます。
メニューの [**メンテナンス**] − [**室外機運転状態のモニタ**] をクリックして室外機運転状態のモニタ画面を開きます。

お知らせ

- 室外ユニットに電源が入っていない状態で AE-200J/AE-50J/EW-50J を起動すると、室外ユニットの状態が表示されないことがあります。その場合は AE-200J/AE-50J/EW-50J を再起動してください。



項目	内容
最新の情報に更新	クリックすると、最新のデータが表示されます。 [**自動**] を選択すると、データが 1 分間隔で自動更新されます。
能力値	室外ユニットの圧縮機の能力値が表示されます。 **お知らせ** • サブ室外ユニットの能力値は表示されません。
高圧圧力	室外ユニットの圧縮機の冷媒吐出圧力が表示されます。
低圧圧力	室外ユニットの圧縮機の冷媒吸入圧力が表示されます。
室外ユニットのアイコン	：正常 ：通信異常またはユニット異常

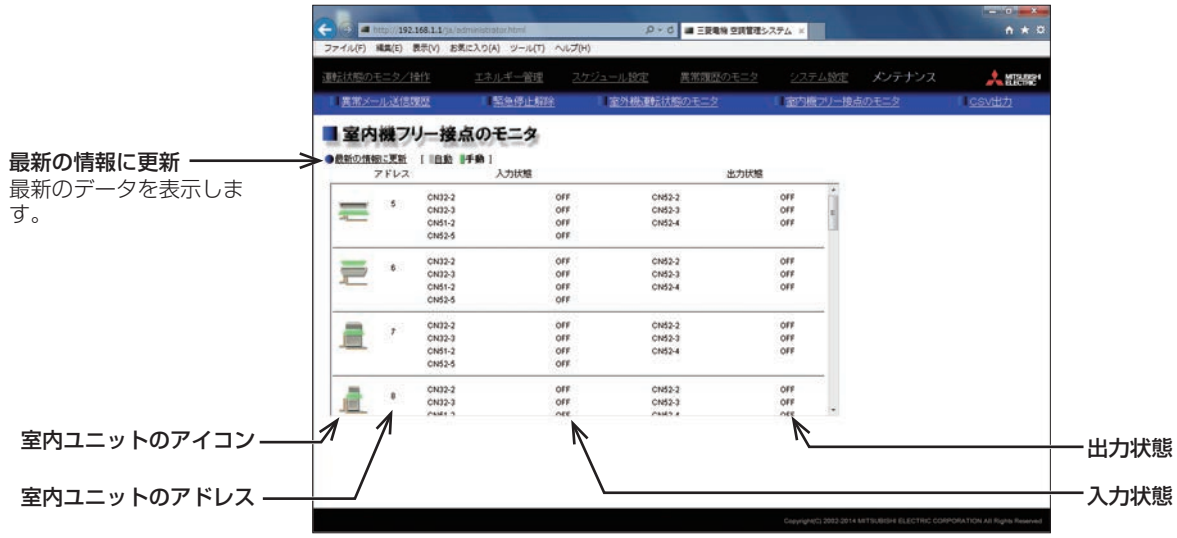
※ 通信異常が発生した場合は、能力値、高圧圧力、低圧圧力の各欄に「--」が表示されます。
※ 室外ユニットがマルチ S シリーズの PUSY 機種の場合は、能力値 0、高圧圧力、低圧圧力の各欄に「--」が表示されます。
※ 能力値表示に対応していない室外ユニットの能力値は、「--」が表示されます。

3-6-4. 室内機フリー接点のモニタ

この章では、室内ユニットのフリー接点の入出力状態を確認する方法について説明します。
メニューの [**メンテナンス**] – [**室内機フリー接点のモニタ**] をクリックして室内機フリー接点のモニタ画面を開きます。

お知らせ

- 室内ユニットのフリー接点の設定は、室内ユニット側ディップスイッチで行います。



項目	内容
最新の情報に更新	クリックすると、最新のデータが表示されます。 [**自動**] を選択すると、データが 1 分間隔で自動更新されます。
入力状態	室内ユニットのフリー接点 CN32-2、CN32-3、CN51-2、および CN52-5 の入力状態（ON ／ OFF）が表示されます。
出力状態	室内ユニットのフリー接点 CN52-2、CN52-3、および CN52-4 の出力状態（ON ／ OFF）が表示されます。
室内ユニットのアイコン	：正常 ：通信異常またはユニット異常

3-6-5. CSV出力

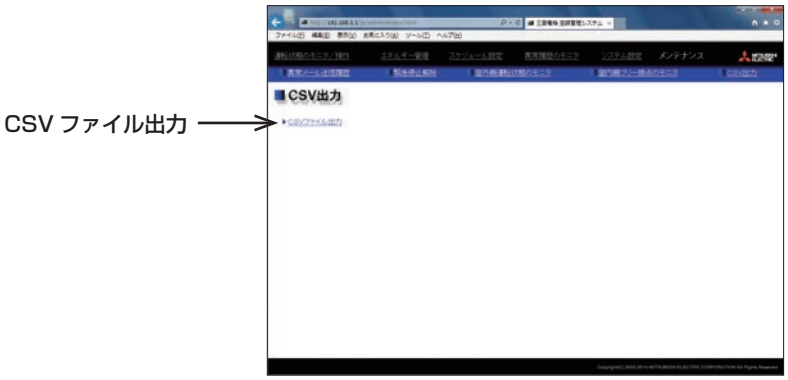
CSV 出力画面では、課金パラメータや消費電力、エネルギー管理データなどの運用データを CSV 形式で出力することができます。
メニューの [**メンテナンス**] – [**CSV 出力**] をクリックして CSV 出力画面を開きます。

お知らせ

- CSV 出力機能を利用するには、別途ライセンスが必要になる場合があります。CSV ファイルダウンロードツール画面では、有効なボタンのみ選択できます。

お願い

- CSV ファイルは、Microsoft® Excel® 2007 以降で読み込んでください。
  Microsoft® Excel® 2003 より以前の場合、データを読み込むことはできません。



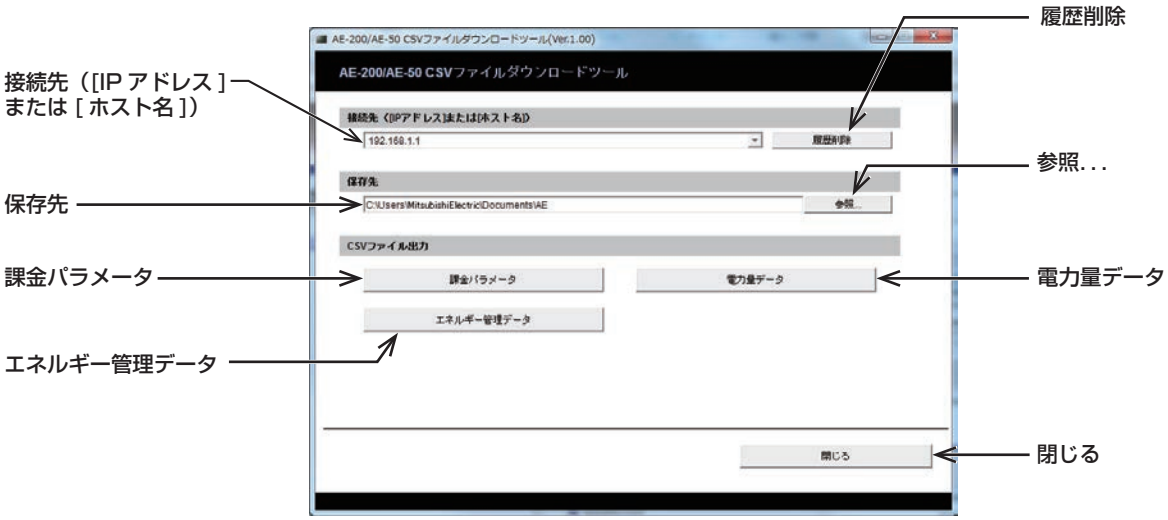
手順

1. **[CSV ファイル出力]** をクリックすると、Windows の標準ファイルダウンロードダイアログが表示されます。
2. **[開く]** をクリックし、CSV ファイルダウンロードツールを起動します。

お知らせ

- 「AEcsvdl.jar」ファイルが他のアプリケーションに関連付けられていると、CSV ファイルダウンロードツールが起動しません。関連付けを解除してください。
- **[保存]** をクリックすると、「AEcsvdl.jar」ファイルは指定のフォルダに保存されます。この場合、ファイルをダブルクリックすると、同様に CSV ファイルダウンロードツールが起動します。

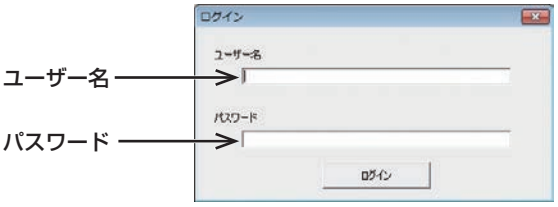
CSV ファイルダウンロードツール



3. 下表を参照し、接続先および保存先を指定し、[**課金パラメータ**]、[**電力量データ**]、または [**エネルギー管理データ**] をクリックします。
ログイン画面が表示されますので、ユーザー名とパスワードを入力し、[**ログイン**] をクリックします。

お知らせ

- 管理者ユーザーとメンテナンスユーザーがログインできます。



4. 選択したデータが指定した保存先にCSV形式で出力されます。ダウンロードの進捗状況がパーセントで表示されます。

お知らせ

- 一度ログインすると、CSV ファイルダウンロードツールを閉じないかぎり、ダウンロードのたびにログインし直す必要はありません。
- データの容量によっては、ダウンロード完了に数分かかる場合があります。

項目	内容
接続先	接続先の AE-200J/AE-50J/EW-50J の IP アドレスまたはホスト名を入力します。CSV ファイルダウンロードツール起動時には、前回入力した値が表示されます。プルダウンメニューには、直近 20 回の入力値が表示されます。 **お知らせ** ・ 履歴がない場合は "192.168.1.1" が表示されます。
履歴削除	プルダウンメニューに表示される履歴をすべて削除します。
保存先	CSV ファイルの保存先を指定します。 **お知らせ** ・ 工場出荷時の保存先は、ログインユーザーフォルダ内の「マイドキュメント」フォルダです。
参照...	クリックすると、CSV ファイルの保存先フォルダを選択するダイアログが表示されます。

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>課金パラメータ</td><td>
クリックして課金パラメータの CSV ファイルをダウンロードします。

■ファイル名
"ChargeParameter"_(yyyy)-(mm)-(dd)"A"(室内ユニットアドレス)-(時間帯（1-5）).csv

お知らせ
・ 日付は、初期設定用 Web ブラウザの基本システム設定画面で設定された形式で表示されます。
・ 時間帯 1 ～ 5 は、TG-2000 または初期設定ツールでのみ設定可能です。工場出荷時は、時間帯 1 のみ設定可能です。

■ファイル出力先
(保存先) ¥(シリアル番号) ¥"OperationalData" ¥"ChargeParameters" ¥(日付)

お知らせ
日付は、初期設定用 Web ブラウザの基本システム設定画面で設定された形式で表示されます。

■ファイル形式
<table>
<tr><th>行</th><th>項目</th><th>形式</th></tr>
<tr><td>1 行目</td><td>ファイル区分</td><td>201</td></tr>
<tr><td>2 行目</td><td>データ範囲 ※1</td><td>開始日 + "-" + 終了日</td></tr>
<tr><td>3 行目</td><td>室内ユニットのアドレス</td><td>"Address" + M-NET アドレス</td></tr>
<tr><td>4 行目</td><td>項目</td><td>"Date,SaveValue,ThermoTime,FanTime,SubHeaterTime"</td></tr>
<tr><td>5 ～ 66 行目</td><td>データ ※2, ※3, ※4, ※5</td><td>日付※1, 能力セーブ量 , サーモ ON 時間 (分) ,FAN 運転時間 (分) , サブヒータ ON 時間（分）※6</td></tr>
</table>
※ 1　日付は、初期設定用 Web ブラウザの基本システム設定画面で設定された形式で表示されます。
※ 2　データの区切り文字と小数点の区切り文字は、初期設定用 Web ブラウザの計測設定画面で選択された文字が使われます。
※ 3　各数値は、開始日と終了日の間の累積値です。
※ 4　該当するデータが存在しない場合は数値は表示されません。
※ 5　各ファイルには、最大 62 日分のデータが含まれます。
※ 6　サブヒータ ON 時間は室内機補助ヒータが ON になる条件になったときにカウントされます。（実際に補助ヒータが ON になった時間ではありません。）補助ヒータが装着されていない室内ユニットでもカウントされます。

■ファイル例

201
2014/12/19-2015/1/10
Address 31
Date,SaveValue,ThermoTime,FanTime,SubHeaterTime
2014/12/19,1258,0,465,0
2014/12/20,1260,0,468,0
2014/12/21,1262,0,472,0
2014/12/22,1264,0,477,0
2014/12/23,1266,0,490,0
:
2015/01/10,2058,0,1013,0
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>電力量データ</td><td>
クリックして電力量データの CSV ファイルをダウンロードします。

■ファイル名
・ 計量用計測コントローラを接続している場合
"ChargeParameter"_(yyyy)-(mm)-(dd)"MCPA"(計量用計測コントローラのアドレス)-(時間帯 (1 ～ 5)).csv
・ 計量用パルス入力を使用している場合
"ChargeParameter"_(yyyy)-(mm)-(dd)"MCP"-(時間帯 (1 ～ 5)).csv

お知らせ
・ 日付は、初期設定用 Web ブラウザの基本システム設定画面で設定された日付形式で表示されます。
・ 時間帯 1 ～ 5 は、TG-2000 または初期設定ツールでのみ設定可能です。
工場出荷時は、時間帯 1 のみ設定可能です。

■ファイル出力先
(保存先) ¥(シリアル番号) ¥"OperationalData" ¥"ChargeParameters" ¥(日付)

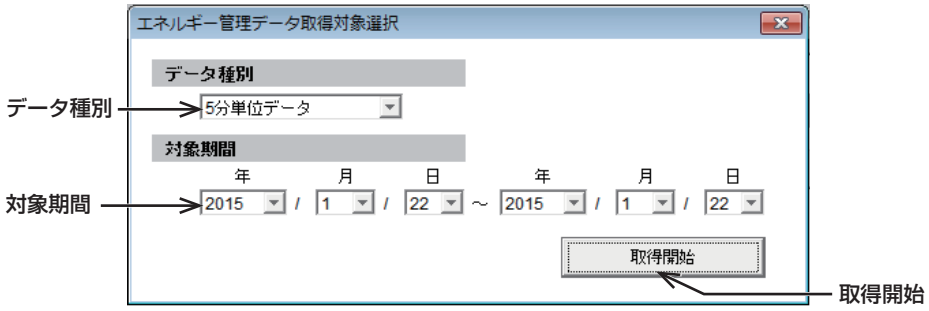
お知らせ
・ 日付は、初期設定用 Web ブラウザの基本システム設定画面で設定された形式で表示されます。

■ファイル形式
<table>
<tr><th>行</th><th>項目</th><th>形式</th></tr>
<tr><td>1 行目</td><td>ファイル区分</td><td>202</td></tr>
<tr><td>2 行目</td><td>データ範囲※ 1</td><td>開始日 + "–" + 終了日</td></tr>
<tr><td>3 行目</td><td>MCP</td><td>・ 計量用計測コントローラの場合
"MCP" + M-NET アドレス + "–" + 時間帯（1–5）
・ 計量用パルス入力の場合
"MCP" + "–"+ 時間帯（1–5）</td></tr>
<tr><td>4 行目</td><td>項目</td><td>"No.,Date,Count value(Ch1),Count value(Ch2),
Count value(Ch3),Count value(Ch4)"</td></tr>
<tr><td>5 ～ 66 行目</td><td>データ※ 2, ※ 3, ※ 4, ※ 5, ※ 6</td><td>・ 計量用計測コントローラの場合
MCP アドレス + 時間帯 , 日付※ 1,MCP 1,MCP 2,MCP 3, MCP 4
・ 計量用パルス入力の場合
時間帯 , 日付※ 1,MCP 1,MCP 2,MCP 3, MCP 4</td></tr>
</table>
※ 1 日付は、初期設定用 Web ブラウザの基本システム設定画面で設定された形式で表示されます。
※ 2 データの区切り文字と小数点の区切り文字は、初期設定用 Web ブラウザの計測設定画面で選択された文字が使われます。
※ 3 各数値は、開始日と終了日の間の累積値です。
※ 4 各数値は 0.00 ～ 999999.99 の範囲となります。最大値を超えた場合は、ゼロからの積算に戻ります。
※ 5 該当するデータが存在しない場合は数値は表示されません。
※ 6 各ファイルには、最大 62 日分のデータが含まれます。

■ファイル例

202
2015/9/1-2015/11/1
MCP 1
No.,Date,Count value(Ch1),Count value(Ch2),Count value(Ch3),Count value(Ch4)
1,2015/9/1,190887.43,872411.43,227424.88,55515.50
1,2015/9/2,190899.16,872420.12,227428.63,55526.70
1,2015/9/3, 190905.22,872442.23,227435.74,55537.90
1,2015/9/4, 190910.38,878449.77,227448.19,55549.84
.
1,2015/11/1, 200014.38,87950.36,227925.19,60111.63
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>エネルギー管理データ</td><td>
クリックしてエネルギー管理データの CSV ファイルをダウンロードします。「エネルギー管理データ取得対象選択」画面が表示されます。データ種別を選択し、対象期間を指定してデータを取得します。
CSV 形式で出力可能なデータについては、「3-6-5. CSV 出力」参照（68 ページ）



<table>
<tr><td>データ種別</td><td>[5 分単位データ]、[30 分単位データ]、[1 ヶ月単位データ]、[1 日単位データ]、[1 年単位データ] から選択します。</td></tr>
<tr><td>対象期間</td><td>データを取得する期間を指定します。

お知らせ
・日付は、初期設定用 Web ブラウザの基本システム設定画面で設定された形式で表示されます。
・指定可能な日付範囲は、「データ種別」で選択したデータ種別によって異なります。
・「データ種別」で [1 ヶ月単位データ] または [1 年単位データ] が選択されている場合は、対象期間の指定はできません。
・出力されるのは、AE-200J/AE-50J/EW-50J の電源が入っていた間のデータのみです。AE-200J/AE-50J/EW-50J の電源が切れていた間のデータは出力されません。</td></tr>
<tr><td>取得開始</td><td>選択した条件に基づいた CSV ファイルを出力します。</td></tr>
</table>

■ファイル名

データ種別：5 分単位データ
"EnergyManagement"_"5MIN"_(YYYY)-(MM)-(DD)_(yyyy)-(mm)-(dd).csv

データ種別：30 分単位データ
"EnergyManagement"_"30MIN"_(YYYY)-(MM)-(DD)_(yyyy)-(mm)-(dd).csv

データ種別：1 日単位データ
"EnergyManagement"_"1DAY"_(YYYY)-(MM)-(DD)_(yyyy)-(mm)-(dd).csv

データ種別：1 ヶ月単位データ
"EnergyManagement"_"1MONTH"_(YYYY)-(MM)_(yyyy)-(mm).csv

データ種別：1 年単位データ
"EnergyManagement"_"1YEAR"_(YYYY)-(yyyy).csv

<table>
<tr><th>ファイル名の内容</th><th>形式</th></tr>
<tr><td>[YYYY]</td><td>開始年</td></tr>
<tr><td>[MM]</td><td>開始月</td></tr>
<tr><td>[DD]</td><td>開始日</td></tr>
<tr><td>[yyyy]</td><td>終了年</td></tr>
<tr><td>[mm]</td><td>終了月</td></tr>
<tr><td>[dd]</td><td>終了日</td></tr>
</table>

お知らせ
・ 日付は、初期設定用 Web ブラウザの基本システム設定画面で設定された形式で表示されます。
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>エネルギー管理
データ</td><td>
■ファイル出力先
(保存先) ¥(シリアル番号) ¥"OperationalData" ¥"EnergyManagement2" ¥(日付)

お知らせ
・ 日付は、初期設定用 Web ブラウザの基本システム設定画面で設定された形式で表示されます。
・ AE-200J/AE-50J/EW-50J のソフトウェアバージョン Ver7.20 未満では、ファイル出力先は以下になります。
(保存先) ¥(シリアル番号) ¥"OperationalData" ¥"EnergyManagement" ¥(日付)

■ファイル形式
データ種別：5 分単位データ
<table>
<tr><th>行</th><th>項目</th><th>形式</th></tr>
<tr><td>1 行目</td><td>ファイル区分</td><td>501</td></tr>
<tr><td>2 行目</td><td>データ範囲※ 1</td><td>開始日 + "-" + 終了日</td></tr>
<tr><td>3 行目</td><td>項目※ 2, ※ 3, ※ 4</td><td>"DateTime,Data1(51),...Data1(100),Data2(51),...Data2(100),
Data3(51),...Data3(100),
OutdoorTemp(51),...OutdoorTemp(100),
CoolSetTemp(1),...CoolSetTemp(50),HeatSetTemp(1),...HeatSetTemp(50),
RoomTemp(1),...RoomTemp(50),
MCP1(1),...MCP1(50),MCP2(1),...MCP2(50),
MCP3(1),...MCP3(50),MCP4(1),...MCP4(50),
MCT1(1),...MCT1(50),MCT2(1),...MCT2(50),
MCP1,MCP2,MCP3,MCP4 ※ 5"</td></tr>
<tr><td>4 行目</td><td>計測単位
※ 2, ※ 6, ※ 7, ※ 8</td><td>
<table>
<tr><th>項目</th><th>単位</th></tr>
<tr><td>Data1, Data2, Data3</td><td>-</td></tr>
<tr><td>OutdoorTemp, CoolSetTemp, HeatSetTemp, RoomTemp</td><td>℃ , ℉</td></tr>
<tr><td>MCP（計量用計測コントローラ）</td><td>kWh, m3, MJ, " "</td></tr>
<tr><td>計量用パルス入力</td><td>kWh, m3, MJ, " "</td></tr>
<tr><td>MCT（環境用計測コントローラ）</td><td>℃ , ℉ , %</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>5 ～
17860
行目</td><td>データ
※ 2, ※ 3, ※ 4, ※ 9, ※ 10</td><td>日付※ 1 と時刻 , データ 1（51）, ...（100）, データ 2（51）, ...（100）,
データ 3（51）, ...（100）,
外気温度（51）, ...（100）,
冷房設定温度（1）, ...（50）, 暖房設定温度（1）, ...（50）,
室内温度（1）, ...（50）,
MCP 1（1）, ...（50）, MCP 2（1）, ...（50）,
MCP 3（1）, ...（50）, MCP 4（1）, ...（50）,
MCT 1（1）, ...（50）, MCT 2（1）, ...（50）,
MCP1,MCP2,MCP3,MCP4</td></tr>
</table>
※ 1　日付は、初期設定 Web ブラウザの基本システム設定画面で設定された形式で表示されます。
※ 2　データの区切り文字と小数点の区切り文字は、初期設定用 Web ブラウザの基本システム設定画面で選択された文字が使われます。
※ 3　MCP・MCT の後ろの数字は Ch 番号を表します。
※ 4　( ) 内の数字は M-NET アドレスを表します。
※ 5　AE-200J/AE-50J への計量用パルス入力の計測値は MCP1 ～ 4 のみで（アドレス）は表示されません。
※ 6　温度は、初期設定 Web ブラウザの基本システム設定画面で選択された単位（摂氏または華氏）で表示されます。
※ 7　MCP（計量用計測コントローラ）の計測値は、初期設定 Web ブラウザの計測設定画面で選択された計測単位で表示されます。
※ 8　MCT（環境用計測コントローラ）の計測項目は、初期設定 Web ブラウザの計測設定画面で選択された内容（温度または湿度）になります。
※ 9　該当するデータが存在しない場合は数値は表示されません。
※ 10 データは、最大 17856 件（2ヶ月分）出力されます。
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>エネルギー管理
データ</td><td>
データ種別：30 分単位データ
<table>
<tr><th>行</th><th>項目</th><th>形式</th></tr>
<tr><td>1 行目</td><td>ファイル区分</td><td>502</td></tr>
<tr><td>2 行目</td><td>データ範囲※ 1</td><td>開始日 + "–" + 終了日</td></tr>
<tr><td>3 行目</td><td>項目※ 2, ※ 3, ※ 4</td><td>"DateTime,Data1(51),...Data1(100),Data2(51),...Data2(100),Data3(51),...Data3(100),OutdoorTemp(51),...OutdoorTemp(100),
CoolSetTemp(1),...CoolSetTemp(50),HeatSetTemp(1),...HeatSetTemp(50),
RoomTemp(1),...RoomTemp(50),FanTime(1),...FanTime(50),
CoolTime(1),...CoolTime(50),HeatTime(1),...HeatTime(50),
ThermoTime(1),...ThermoTime(50),CoolThermoTime(1),...CoolThermoTime(50),HeatThermoTime(1),...HeatThermoTime(50),
ThermoCount(1),...ThermoCount(50),SaveValue(1),...SaveValue(50),CoolSaveValue(1),...CoolSaveValue(50),HeatSaveValue(1),...HeatSaveValue(50),
ApporionedElectricEnergy(1),...ApporionedElectricEnergy(50),
MCP1(1),...MCP1(50),MCP2(1),...MCP2(50),MCP3(1),...MCP3(50),
MCP4(1),...MCP4(50),MCT1(1),...MCT1(50),MCT2(1),...MCT2(50) ,
MCP1,MCP2,MCP3,MCP4 ※ 5"</td></tr>
<tr><td>4 行目</td><td>計測単位
※ 2, ※ 6, ※ 7, ※ 8</td><td>
<table>
<tr><th>項目</th><th>単位</th></tr>
<tr><td>Data1, Data2, Data3, ThermoCount</td><td>-</td></tr>
<tr><td>OutdoorTemp, CoolSetTemp, HeatSetTemp, RoomTemp</td><td>℃ , ℉</td></tr>
<tr><td>FanTime, CoolTime, HeatTime, ThermoTime, CoolThermoTime, HeatThermoTime, SaveValue, CoolSaveValue, HeatSaveValue</td><td>分</td></tr>
<tr><td>ApportionedElectricEnergy</td><td>kWh</td></tr>
<tr><td>MCP（計量用計測コントローラ）</td><td>kWh, m3, MJ, " "</td></tr>
<tr><td>MCP（計量用パルス入力）</td><td>kWh, m3, MJ, " "</td></tr>
<tr><td>MCT（環境用計測コントローラ）</td><td>℃ , ℉ , %</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>5 ～ 37204 行目</td><td>データ
※ 2, ※ 3, ※ 4, ※ 9, ※ 10, ※ 11, ※ 12</td><td>日付※ 1 と時刻 , データ 1（51）, ...（100）, データ 2（51）, ...（100）,
データ 3（51）, ...（100）, 外気温度（51）, ...（100）,
冷房設定温度（1）, ...（50）, 暖房設定温度（1）, ...（50）,
室内温度（1）, ...（50）, FAN 運転時間（1）, ...（50）,
冷房運転時間（1）,...（50）, 暖房運転時間（1）, ...（50）,
サーモ ON 時間（1）, ...（50）, 冷房サーモ ON 時間（1）, ...（50）,
暖房サーモ ON 時間（1）, ...（50）, サーモ ON ／ OFF 回数（1）, ...（50）,
能力セーブ量（1）, ...（50）, 冷房能力セーブ量（1）, ...（50）,
暖房能力セーブ量（1）, ...（50）, 按分電力量（1）, ...（50）,
MCP 1（1）, ...（50）, MCP 2（1）, ...（50）, MCP 3（1）, ...（50）,MCP 4（1）, ...（50）,MCT 1（1）, ...（50）, MCT 2（1）, ...（50）,
MCP1 , MCP2 , MCP3 , MCP4</td></tr>
</table>
※ 1　日付は、初期設定 Web ブラウザの基本システム設定画面で設定された形式で表示されます。
※ 2　データの区切り文字と小数点の区切り文字は、初期設定用 Web ブラウザの基本システム設定画面で選択された文字が使われます。
※ 3　MCP・MCT の後ろの数字は Ch 番号を表します。
※ 4　( ) 内の数字は M-NET アドレスを表します。
※ 5　AE-200J/AE-50J への計量用パルス入力の計測値は MCP1 ～ 4 のみで（アドレス）は表示されません。
※ 6　温度は、初期設定 Web ブラウザの基本システム設定画面で選択された単位（摂氏または華氏）で表示されます。
※ 7　MCP（計量用計測コントローラ）の計測値は、初期設定 Web ブラウザの計測設定画面で選択された計測単位で表示されます。
※ 8　MCT（環境用計測コントローラ）の計測項目は、初期設定 Web ブラウザの計測設定画面で選択された内容（温度または湿度）になります。
※ 9　データ中の「外気温度」、「冷房設定温度」、「暖房設定温度」、および「室内温度」は、毎時 00 分と 30 分に計測された温度数値になります。
※ 10 データ中の「MCT 1」および「MCT 2」は、毎時 00 分と 30 分に計測された温度または湿度数値になります。
※ 11 該当するデータが存在しない場合は数値は表示されません。
※ 12 データは、最大 37200 件（25 ヶ月分）出力されます。
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>エネルギー管理
データ</td><td>
データ種別：1 日単位データ
<table>
<tr><th>行</th><th>項目</th><th>形式</th></tr>
<tr><td>1 行目</td><td>ファイル区分</td><td>503</td></tr>
<tr><td>2 行目</td><td>データ範囲※ 1</td><td>開始日 + "–" + 終了日</td></tr>
<tr><td>3 行目</td><td>項目※ 2, ※ 3, ※ 4</td><td>"Data,Data1(51),...Data1(100),Data3(51),...Data3(100),
OutdoorTemp(51),...OutdoorTemp(100),CoolSetTemp(1),...CoolSetTemp(50),
HeatSetTemp(1),...HeatSetTemp(50),RoomTemp(1),...RoomTemp(50),
FanTime(1),...FanTime(50),CoolTime(1),...CoolTime(50),
HeatTime(1),...HeatTime(50),ThermoTime(1),...ThermoTime(50),
CoolThermoTime(1),...CoolThermoTime(50),HeatThermoTime(1),...HeatThermoTime(50),SaveValue(1),...SaveValue(50),CoolSaveValue(1),...CoolSaveValue(50),
HeatSaveValue(1),...HeatSaveValue(50),
ApporionedElectricEnergy(1),...ApporionedElectricEnergy(50),
TargetElectricEnergy(1),...TargetElectricEnergy(50),
MCP1(1),...MCP1(50),MCP2(1),...MCP2(50),MCP3(1),...MCP3(50),
MCP4(1),...MCP4(50),MCT1(1),...MCT1(50),MCT2(1),...MCT2(50),
MCP1,MCP2,MCP3,MCP4 ※ 5"</td></tr>
<tr><td>4 行目</td><td>計測単位
※ 2, ※ 6, ※ 7, ※ 8</td><td>
<table>
<tr><th>項目</th><th>単位</th></tr>
<tr><td>Data1, Data3</td><td>-</td></tr>
<tr><td>OutdoorTemp, CoolSetTemp, HeatSetTemp, RoomTemp</td><td>℃, ℉</td></tr>
<tr><td>FanTime, CoolTime, HeatTime, ThermoTime, CoolThermoTime, HeatThermoTime, SaveValue, CoolSaveValue, HeatSaveValue</td><td>分</td></tr>
<tr><td>ApportionedElectricEnergy, TargetElectricEnergy</td><td>kWh</td></tr>
<tr><td>MCP（計量用計測コントローラ）</td><td>kWh, m3, MJ, " "</td></tr>
<tr><td>MCP（計量用パルス入力）</td><td>kWh, m3, MJ, " "</td></tr>
<tr><td>MCT（環境用計測コントローラ）</td><td>℃, ℉, %</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>5 ～
779
行目</td><td>データ
※ 2, ※ 3, ※ 4, ※ 9,
※ 10, ※ 11, ※ 12</td><td>日付※ 1, データ 1（51）, ...（100）, データ 3（51）, ...（100）,
外気温度（51）, ...（100）, 冷房設定温度（1）, ...（50）,
暖房設定温度（1）, ...（50）, 室内温度（1）, ...（50）,
FAN 運転時間（1）, ...（50）, 冷房運転時間（1）, ...（50）,
暖房運転時間（1）, ...（50）, サーモ ON 時間（1）, ...（50）,
冷房サーモ ON 時間（1）, ...（50）, 暖房サーモ ON 時間（1）, ...（50）,
能力セーブ量（1）, ...（50）, 冷房能力セーブ量（1）, ...（50）,
暖房能力セーブ量（1）, ...（50）, 按分電力量（1）, ...（50）,
目標電力量（1）, ...（50）, MCP 1（1）, ...（50）, MCP 2（1）, ...（50）,
MCP 3（1）, ...（50）, MCP 4（1）, ...（50）, MCT 1（1）, ...（50）,
MCT 2（1）, ...（50）,
MCP1, MCP2, MCP3, MCP4</td></tr>
</table>
※ 1　日付は、初期設定 Web ブラウザの基本システム設定画面で設定された形式で表示されます。
※ 2　データの区切り文字と小数点の区切り文字は、初期設定用 Web ブラウザの基本システム設定画面で選択された文字が使われます。
※ 3　MCP・MCT の後ろの数字は Ch 番号を表します。
※ 4　（）内の数字は M-NET アドレスを表します。
※ 5　AE-200J/AE-50J への計量用パルス入力の計測値は MCP1 ～ 4 のみで（アドレス）は表示されません。
※ 6　各温度は、初期設定 Web ブラウザの基本システム設定画面で選択された単位（摂氏または華氏）で表示されます。
※ 7　MCP（計量用計測コントローラ）の計測値は、初期設定 Web ブラウザの計測設定画面で選択された計測単位で表示されます。
※ 8　MCT（環境用計測コントローラ）の計測項目は、初期設定 Web ブラウザの計測設定画面で選択された内容（温度または湿度）になります。
※ 9　データ中の「外気温度」、「冷房設定温度」、「暖房設定温度」、および「室内温度」は、毎時 00 分に計測された温度数値の一日平均値になります。
※ 10 データ中の「MCT 1」および「MCT 2」は、毎時 00 分に計測された温度または湿度数値の一日平均値になります。
※ 11 該当するデータが存在しない場合は数値は表示されません。
※ 12 データは、最大 775 件（25 ヶ月分）出力されます。
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>エネルギー管理
データ</td><td>
データ種別：１ヶ月単位データ
<table>
<tr><th>行</th><th>項目</th><th>形式</th></tr>
<tr><td>１行目</td><td>ファイル区分</td><td>504</td></tr>
<tr><td>２行目</td><td>データ範囲※１</td><td>開始年月 ＋ "–" ＋ 終了年月</td></tr>
<tr><td>３行目</td><td>項目※２, ※３, ※４</td><td>"Month,Data1(51),...Data1(100),Data3(51),...Data3(100),
OutdoorTemp(51),...OutdoorTemp(100),CoolSetTemp(1),...CoolSetTemp(50),
HeatSetTemp(1),...HeatSetTemp(50),RoomTemp(1),...RoomTemp(50),
FanTime(1),...FanTime(50),CoolTime(1),...CoolTime(50),
HeatTime(1),...HeatTime(50),ThermoTime(1),...ThermoTime(50),
CoolThermoTime(1),...CoolThermoTime(50),
HeatThermoTime(1),...HeatThermoTime(50),
SaveValue(1),...SaveValue(50),CoolSaveValue(1),...CoolSaveValue(50),
HeatSaveValue(1),...HeatSaveValue(50),
ApporionedElectricEnergy(1),...ApporionedElectricEnergy(50),
TargetElectricEnergy(1),...TargetElectricEnergy(50),
MCP1(1),...MCP1(50),MCP2(1),...MCP2(50),MCP3(1),...MCP3(50),
MCP4(1),...MCP4(50),MCT1(1),...MCT1(50),MCT2(1),...MCT2(50),
MCP1,MCP2,MCP3,MCP4 ※５"</td></tr>
<tr><td>４行目</td><td>計測単位
※２, ※６, ※７, ※８</td><td>
<table>
<tr><th>項目</th><th>単位</th></tr>
<tr><td>Data1, Data3</td><td>-</td></tr>
<tr><td>OutdoorTemp, CoolSetTemp, HeatSetTemp,
RoomTemp</td><td>℃, ℉</td></tr>
<tr><td>FanTime, CoolTime, HeatTime, ThermoTime,
CoolThermoTime, HeatThermoTime, SaveValue,
CoolSaveValue, HeatSaveValue</td><td>分</td></tr>
<tr><td>ApportionedElectricEnergy, TargetElectricEnergy</td><td>kWh</td></tr>
<tr><td>MCP（計量用計測コントローラ）</td><td>kWh, m3, MJ, " "</td></tr>
<tr><td>MCP（計量用パルス入力）</td><td>kWh, m3, MJ, " "</td></tr>
<tr><td>MCT（環境用計測コントローラ）</td><td>℃, ℉, %</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>５～
29 行目</td><td>データ
※２, ※３, ※４, ※９,
※10, ※11, ※12</td><td>年月※１, データ１（51）, ...（100）, データ３（51）, ...（100）,
外気温度（51）, ...（100）, 冷房設定温度（1）, ...（50）, 暖房設定温度（1）, ...（50）,
室内温度（1）, ...（50）,FAN 運転時間（1）, ...（50）, 冷房運転時間（1）, ...（50）,
暖房運転時間（1）, ...（50）, サーモ ON 時間（1）, ...（50）,
冷房サーモ ON 時間（1）, ...（50）, 暖房サーモ ON 時間（1）, ...（50）,
能力セーブ量（1）, ...（50）, 冷房能力セーブ量（1）, ...（50）,
暖房能力セーブ量（1）, ...（50）, 按分電力量（1）, ...（50）.
目標電力量（1）, ...（50）, MCP １（1）, ...（50）, MCP ２（1）, ...（50）,
MCP ３（1）, ...（50）, MCP ４（1）, ...（50）, MCT １（1）, ...（50）,
MCT ２（1）, ...（50）,
MCP1,MCP2,MCP3,MCP4</td></tr>
</table>
※１　年月は、初期設定 Web ブラウザの基本システム設定画面で設定された形式で表示されます。
※２　データの区切り文字と小数点の区切り文字は、初期設定用 Web ブラウザの基本システム設定画面で選択された文字が使われます。
※３　MCP・MCT の後ろの数字は Ch 番号を表します。
※４　（ ）内の数字は M-NET アドレスを表します。
※５　AE-200J/AE-50J への計量用パルス入力の計測値は MCP1 ～４のみで（アドレス）は表示されません。
※６　各温度は、初期設定 Web ブラウザの基本システム設定画面で選択された単位（摂氏または華氏）で表示されます。
※７　MCP（計量用計測コントローラ）の計測値は、初期設定 Web ブラウザの計測設定画面で選択された計測単位で表示されます。
※８　MCT（環境用計測コントローラ）の計測項目は、初期設定 Web ブラウザの計測設定画面で選択された内容（温度または湿度）になります。
※９　データ中の「外気温度」、「冷房設定温度」、「暖房設定温度」、および「室内温度」は、毎日の計測で得られた平均温度数値の月間平均値になります。
※ 10 データ中の「MCT 1」および「MCT 2」は、毎日の計測で得られた温度または湿度数値の月間平均値になります。
※ 11 該当するデータが存在しない場合は数値は表示されません。
※ 12 データは、最大 25 件（25 ヶ月分）出力されます。
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>エネルギー管理
データ</td><td>
データ種別：1 年単位データ
<table>
<tr><th>行</th><th>項目</th><th>形式</th></tr>
<tr><td>1 行目</td><td>ファイル区分</td><td>505</td></tr>
<tr><td>2 行目</td><td>データ範囲</td><td>開始年 + "–" + 終了年</td></tr>
<tr><td>3 行目</td><td>項目※ 1, ※ 2, ※ 3</td><td>"Year,Data1(51),...Data1(100),Data3(51),...Data3(100),
FanTime(1),...FanTime(50),CoolTime(1),...CoolTime(50),
HeatTime(1),...HeatTime(50),ThermoTime(1),...ThermoTime(50),
CoolThermoTime(1),...CoolThermoTime(50),
HeatThermoTime(1),...HeatThermoTime(50),SaveValue(1),...SaveValue(50),
CoolSaveValue(1),...CoolSaveValue(50),
HeatSaveValue(1),...HeatSaveValue(50),
ApporionedElectricEnergy(1),...ApporionedElectricEnergy(50),
TargetElectricEnergy(1),...TargetElectricEnergy(50),
MCP1(1),...MCP1(50),MCP2(1),...MCP2(50),MCP3(1),...MCP3(50),
MCP4(1),...MCP4(50)" , MCP1,MCP2,MCP3,MCP4 ※ 4"</td></tr>
<tr><td>4 行目</td><td>計測単位
※ 1, ※ 5</td><td>
<table>
<tr><th>項目</th><th>単位</th></tr>
<tr><td>Data1, Data3</td><td>-</td></tr>
<tr><td>FanTime, CoolTime, HeatTime, ThermoTime,
CoolThermoTime, HeatThermoTime, SaveValue,
CoolSaveValue, HeatSaveValue</td><td>分</td></tr>
<tr><td>ApportionedElectricEnergy, TargetElectricEnergy</td><td>kWh</td></tr>
<tr><td>MCP（計量用計測コントローラ）</td><td>kWh, m3, MJ, " "</td></tr>
<tr><td>MCP（計量用パルス入力）</td><td>kWh, m3, MJ, " "</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>5 ～
9 行目</td><td>データ
※ 1, ※ 2, ※ 3, ※ 6,
※ 7</td><td>年 , データ 1（51）, ...（100）, データ 3（51）, ...（100）,
FAN 運転時間（1）, ...（50）, 冷房運転時間（1）, ...（50）,
暖房運転時間（1）, ...（50）, サーモ ON 時間（1）, ...（50）,
冷房サーモ ON 時間（1）, ...（50）, 暖房サーモ ON 時間（1）, ...（50）,
能力セーブ量（1）, ...（50）, 冷房能力セーブ量（1）, ...（50）,
暖房能力セーブ量（1）, ...（50）, 按分電力量（1）, ...（50）
目標電力量（1）, ...（50）, MCP 1（1）, ...（50）, MCP 2（1）, ...（50）,
MCP 3（1）, ...（50）, MCP 4（1）, ...（50）,
MCP1,MCP2,MCP3,MCP4</td></tr>
</table>
※ 1　データの区切り文字と小数点の区切り文字は、初期設定用 Web ブラウザの基本システム設定画面で選択された文字が使われます。
※ 2　MCP・MCT の後ろの数字は Ch 番号を表します。
※ 3　（）内の数字は M-NET アドレスを表します。
※ 4　AE-200J/AE-50J への計量用パルス入力の計測値は MCP1 ～ 4 のみで（アドレス）は表示されません。
※ 5　MCP（計量用計測コントローラ）の計測値は、初期設定用 Web ブラウザの計測設定画面で選択された計測単位で表示されます。
※ 6　該当するデータが存在しない場合は数値は表示されません。
※ 7　データは、最大 5 件（5 年分）出力されます。
</td></tr>
</table>

[1] エネルギー管理データ一覧

下記の〔表．データ項目〕は、CSV 形式で出力可能なエネルギー管理に関する項目、計測単位、およびデータ種別ごとのデータ範囲についてまとめたものです。
また〔表．データ期間〕は、各 CSV ファイルに何か月分または何年分のデータを含むことができるかについてまとめたものです。

表 . データ項目

ユニットの種類	項目	データ種別（間隔）					計測単位	データ範囲※11
		5 分	30 分	1 日※6	1 月※7	1 年※8		
室外ユニット	データ 1 ※1	○	○	○	○	○	–	0 ～ 999999.99
	データ 2 ※1	○	○				–	0 ～ 9999.99
	データ 3 ※1	○	○	○	○	○	–	0 ～ 99.99
	外気温度	○	○※2	○※3	○※4		℃ , ℉	-100.0 ～ 1000.0
室内ユニット	冷房設定温度	○	○※2	○※3	○※4		℃ , ℉	-100.0 ～ 1000.0
	暖房設定温度	○	○※2	○※3	○※4		℃ , ℉	-100.0 ～ 1000.0
	室内温度	○	○※2	○※3	○※4		℃ , ℉	-100.0 ～ 1000.0
	FAN 運転時間		○※9	○※10	○※10	○※10	分	0 ～ 2147483647
	冷房運転時間		○※9	○※10	○※10	○※10	分	0 ～ 2147483647
	暖房運転時間		○※9	○※10	○※10	○※10	分	0 ～ 2147483647
	サーモ ON 時間		○※9	○※10	○※10	○※10	分	0 ～ 2147483647
	冷房サーモ ON 時間		○※9	○※10	○※10	○※10	分	0 ～ 2147483647
	暖房サーモ ON 時間		○※9	○※10	○※10	○※10	分	0 ～ 2147483647
	サーモ ON ／ OFF 回数※4		○※9				–	0 ～ 2147483647
	能力セーブ量		○※9	○※10	○※10	○※10	分	0～21474836.47
	冷房能力セーブ量		○※9	○※10	○※10	○※10	分	0～21474836.47
	暖房能力セーブ量		○※9	○※10	○※10	○※10	分	0～21474836.47
	按分電力量		○※9	○※10	○※10	○※10	kWh	0～999999.9999
	目標電力量			○※10	○※10	○※10	kWh	0～214748.3647
MCP（計量用計測コントローラ）/ 計量用パルス入力	MCP 1	○※9	○※9	○※10	○※10	○※10	kWh, m3, MJ," "	0 ～ 999999.99
	MCP 2	○※9	○※9	○※10	○※10	○※10	kWh, m3, MJ," "	0 ～ 999999.99
	MCP 3	○※9	○※9	○※10	○※10	○※10	kWh, m3, MJ," "	0 ～ 999999.99
	MCP 4	○※9	○※9	○※10	○※10	○※10	kWh, m3, MJ," "	0 ～ 999999.99
MCT（環境用計測コントローラ）	MCT 1	○	○※2	○※3	○※4		℃ , %	-100.0 ～ 1000.0
	MCT 2	○	○※2	○※3	○※4		℃ , %	-100.0 ～ 1000.0

※ 1　この数値は工場専用データのため、使用しないでください。
※ 2　この数値は毎時00分と 30 分に計測された温度または湿度数値になります。
※ 3　この数値は毎時00分に計測された温度または湿度数値の一日平均値になります。
※ 4　この数値は毎日計測された温度または湿度数値の月間平均値になります。
※ 5　「サーモ ON ／ OFF 回数」は、ユニットがサーモ OFF からサーモ ON に切り替わった回数を指します。
※ 6　出力データが当日のデータを含む場合、CSV ファイルを出力した時点までのデータが出力されます。
※ 7　当月分のデータは、CSV ファイルを出力した時点までのデータを含みます。
※ 8　当年分のデータは、CSV ファイルを出力した時点までのデータを含みます。
※ 9　数値は運転開始以降の累積値になります。最大値を超えた場合は、ゼロからの積算に戻ります。
※ 10 各数値はそれぞれの測定期間（1 日、1ヶ月、または 1 年）の合計値になります。
※ 11 小数点以下の表示桁数は、データ項目によって異なります。たとえば、データ範囲が「0 ～ 99.99」の場合は、小数点以下 2 桁まで表示されます。

表 . データ期間

データ種別（間隔）	データ期間
5 分単位	最新 2 ヶ月
30 分単位	最新 25 ヶ月
1 日単位	最新 25 ヶ月
1 ヶ月単位	最新 25 ヶ月
1 年単位	最新 5 年

3-7. オプション機能のライセンス登録

オプション機能とライセンス番号の購入方法については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

お知らせ

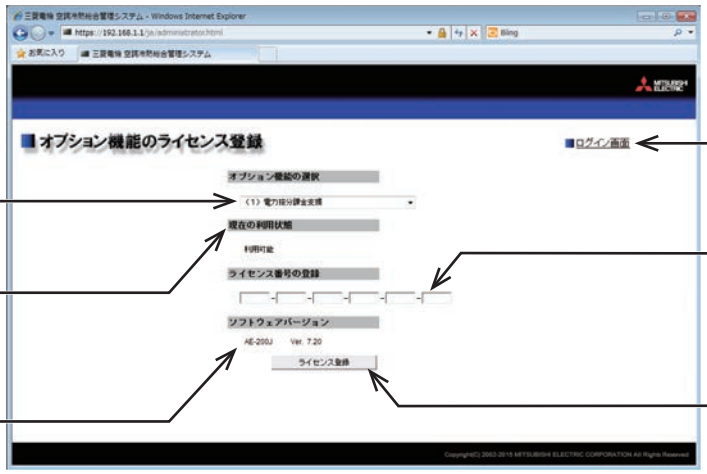
- ライセンス登録には、現在日時設定が必要です。現在日時設定については、「3-5-1. 現在時刻の設定」参照（62 ページ）
- AE-200J、AE-50J、EW-50J それぞれでライセンス登録が必要です。

手順

1. ログイン画面で、**[オプション機能のライセンス登録]** をクリックします。

オプション機能のライセンス登録

オプション機能のライセンス登録画面が表示されます。



ログイン画面
ログイン画面に戻ります。

オプション機能の選択
登録するオプション機能を選択します。

現在の利用状態
オプション機能の利用可否が表示されます。

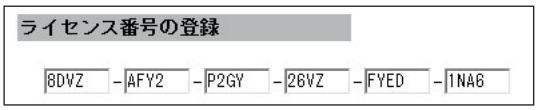
ソフトウェアバージョン

ライセンス番号入力欄

ライセンス登録
ライセンスを登録します。

2. 「オプション機能の選択」で、登録するオプション機能を選択します。現在の利用可否が「現在の利用状態」に表示されます。

3. 「ライセンス番号の登録」で、ライセンス番号を入力し、**[ライセンス登録]** をクリックします。
「現在の利用状態」に、「利用可能」と表示されます。
登録が失敗した場合は、オプション機能とライセンス番号が正しいか確認してください。



お知らせ

- アルファベットの「O」と「I」は、ライセンス番号に使用されません。

4. 保証とアフターサービス

4-1. 保証について

・製品の故障もしくは不具合より発生した、冷却温度上昇による健康障害や食品劣化、水漏れ等による家財破損などの付随的損害の責については、ご容赦ください。

4-2. 機器予防保全の目安・消耗部品の交換周期目安

部品名	保全周期・交換周期
空調冷熱総合管理システム	10年

・保全周期·交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示しています。適切な保全設計のためにお役立てください。
・保全周期・交換周期は、保障期間ではありません。
・上表は、通常のご使用状態の場合であり、下記の項目に適合する場合は「保全周期」の短縮を考慮する必要があります。
① 温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。
② 電源変動（電圧、周波数、波形歪みなど）が大きい場所でご使用される場合。
③ 振動、衝撃が多い場所に設定されご使用される場合。
④ 塵埃、塩分、亜硫酸ガスおよび硫化水素などの有害ガス・オイルミストなど良くない環境でご使用される場合。

4-3. 交換について

・不具合があるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店、または指定のサービス店、またはメーカー指定のお客様相談窓口（空調機器に別添）にご連絡ください。
・以下の内容をご連絡ください。

品名	取扱説明書の表紙に記載
形名	取扱説明書の表紙に記載
故障の状況	
ご住所	
お名前	
電話番号	

・交換料金には、技術料＋部品代＋出張料などで構成されています。

技術料	機器の接続・機器の調整・取り扱い方法の説明等にかかる料金
部品代	交換に使用した部品代金
出張料	製品のある場所へ技術員を派遣する料金

・この製品は、日本国内用ですので、日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

4-4. 移設について

・増改築・引越しのため、製品を取外し、再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が別途必要になります。事前に、お買い上げの販売店、指定のサービス店、またはメーカー指定のお客様相談窓口（空調機器に別添）にご相談ください。

4-5. お問い合わせ

- ご不明な点は、お買い上げの販売店、指定のサービス店、またはメーカー指定のお客様相談窓口（空調機器に別添）にお問い合わせください。
- お買い上げの販売店にご依頼できない場合は、お客様相談窓口（空調機器に別添）へお問い合わせください。
（所在地、電話番号などについては変更になることがありますのでご了承願います。）

お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

• 三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1. お問い合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品の取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問い合わせ（ご依頼）内容に記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客様からご了承をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
   ①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
   ②法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問い合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

5. Web ブラウザ接続時の注意点

Web ブラウザへの接続時、「If you see this you don't have a Java-enabled Web browser. Here's a picture of what you are missing.」や「エラー。クリックして詳細を確認してください。」などが表示され、ログイン画面が表示されない場合、以下の手順で設定変更を行ってください。

お願い

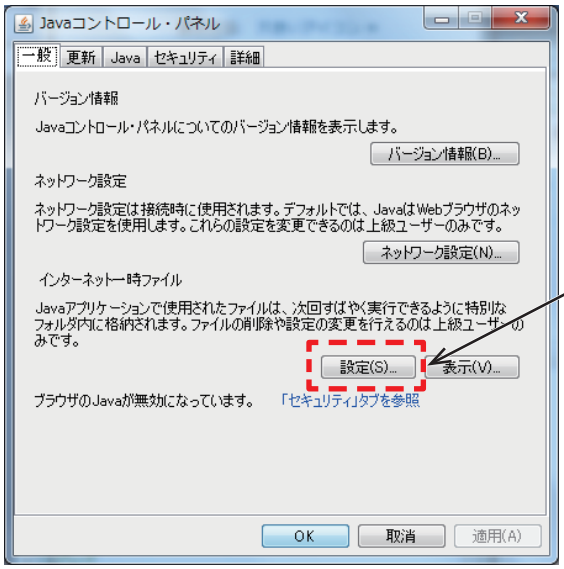
- 「5-2. Internet Explorer をリセットする」は、インターネットエクスプローラの設定内容がリセットされますので、必ず先に「5-1. 一時ファイルを削除する」を行い、改善されなかった場合のみ実施してください。

5-1. 一時ファイルを削除する

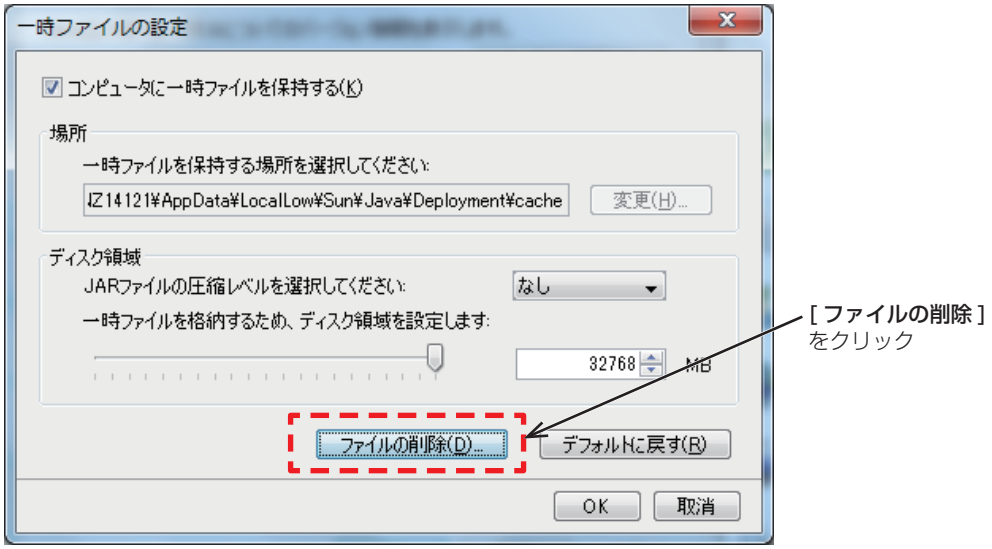
5-1-1. JAVAの一時ファイルを削除する

手順

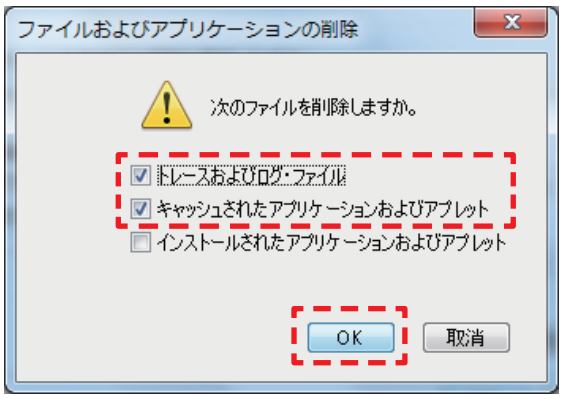
1. **[コントロールパネル]** を開き、画面右上の「表示方式」が **[カテゴリ]** になっている場合、これをクリックして **[大きいアイコン]** または **[小さいアイコン]** に変更してください。
2. **[Java]** をクリックして、Java のコントロールパネルを開いてください。
3. 「インターネット一時ファイル」の **[設定]** をクリックしてください。



4. 一時ファイルの設定画面が開きますので、**[ファイルの削除]** をクリックしてください。



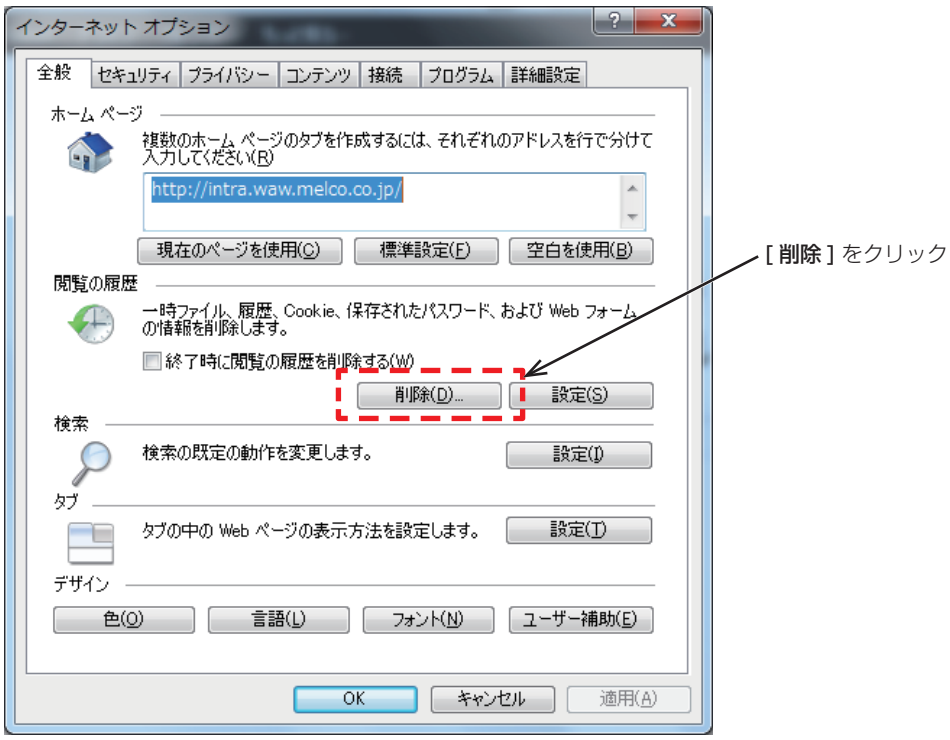
5. ファイルおよびアプリケーションの削除画面が開きますので、
[トレースおよびログ・ファイル]
[キャッシュされたアプリケーションおよびアプレット]
にチェックが入っていることを確認して、**[OK]** を押してください。



5-1-2. Internet Explorerの一時ファイルを削除する

手順

1. Internet Explorer のメニューから、**[ツール]** → **[インターネットオプション]** クリックします。
2. インターネットオプションのダイアログが開きますので、「閲覧の履歴」から **[削除]** をクリックしてください。



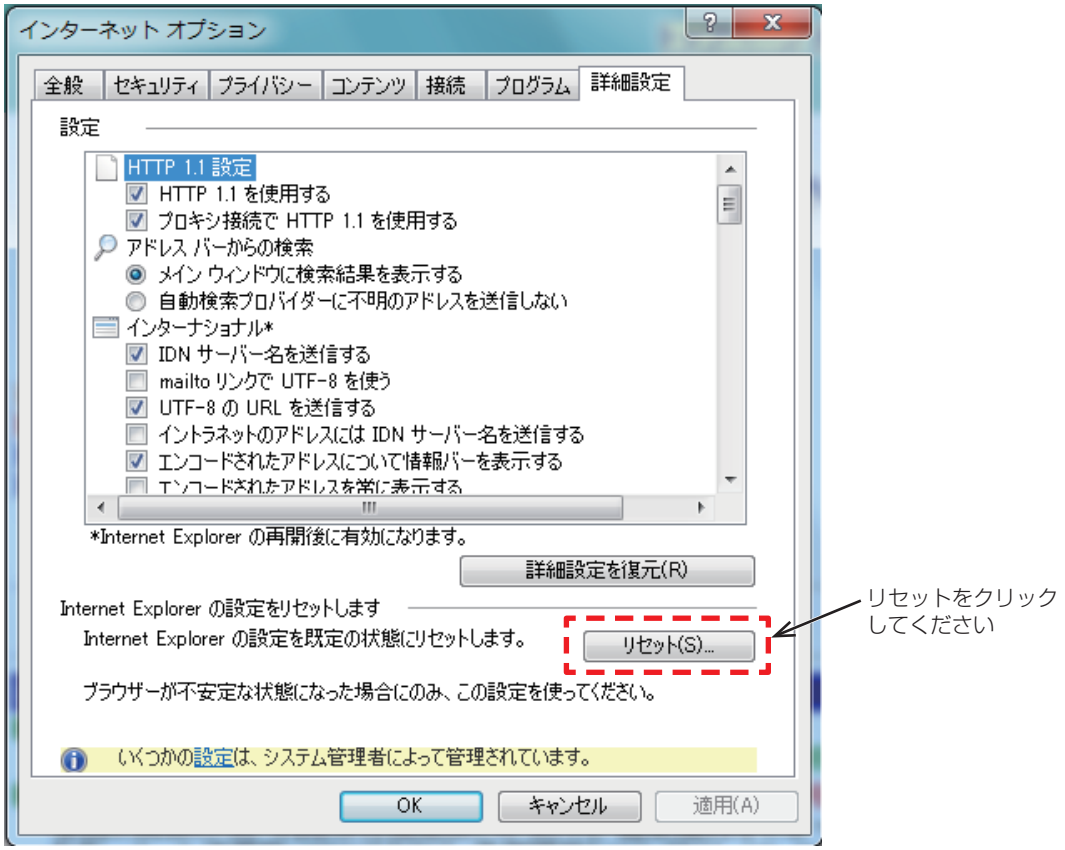
3. キャッシュクリア画面が開きますので、**[インターネット一時ファイル]** にチェックが入っていることを確認して、**[削除]** を押してください。

5-2. Internet Explorer をリセットする

「5-1. 一時ファイルを削除する」を行っても改善されない場合は、Internet Explorer の設定をリセットしてください。

手順

1. Internet Explorer のメニューから、**[ツール]** → **[インターネットオプション]** をクリックします。
2. **[詳細設定]** → **[リセット]** をクリックします。



以下の内容がリセットされます。必要に応じて事前に設定内容を控えるなどしてください。

- ツールバーとアドオンの無効化
- 詳細設定
- 既定の Web ブラウザ設定
- タブブラウズの設定
- プライバシーの設定
- ポップアップの設定
- セキュリティの設定

ご不明な点がございましたらお客様相談窓口にお問い合わせください。

三菱電機冷熱相談センター

0037-80-2224(フリーボイス)/073-427-2224(携帯電話対応)

FAX(365 日・24 時間受付)
0037(80)2229(フリーボイス)・073(428)-2229(通常 FAX)

三菱電機株式会社

〒100-8310　東京都千代田区丸の内二丁目7番3号(東京ビル)

WT07135X02